取扱説明書

SIMPURE L2

FOMA® L602i

ｉモードサービス/SMS をご利用いただくために

FOMA SIMPURE L²
FOMA L602i

'07.4（1版）

■ FOMA SIMPURE L² でご利用可能なi モードサービス/SMS は下記の通りとなります。
サービス内容および操作方法は、「ご利用ガイドブック【i モードサービス編】〈FOMA〉」、または「ご利用ガイドブック【ネットワークサービス編】」をご覧ください。

■ 本紙について、最新の情報はドコモのホームページに掲載しております。

・「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

対応サービス	対応	対応サービス	対応
ｉモード			
サイト接続	○	ｉモーション	○＊1
インターネット接続	○	着モーション／着うた®	○＊2
アクセス制限機能	○	着うたフル®	×
Phone to／AV Phone to／ Mail to／Web to	○	Ｖライブ	×
Bookmark	○	キャラ電	×
画面メモ	○	SSL 通信	○
ｉチャネル	×	赤外線通信機能	○＊3
トクだねニュース便	○	赤外線リモコン機能	×
ドコモコイン	○	FOMA カード動作制限機能	○
Flash（フラッシュ）	×	メッセージR（リクエスト）	○
PDF 対応ビューア	×	メッセージF（フリー）	○
3D サウンド	×	マイプロフィール	×
ミュージックチャネル	×	きせかえツール	×
マチキャラ	×	FirstPass	×
ｉモードメール			
メール送信／メール受信	○＊4	デコメール	×
メール選択受信	○	チャットメール	×

対応サービス	対応	対応サービス		対応
iモードメール				
メールの返信	○	Phone to／AV Phone to／Mail to／Web to		○
メールの転送	○	メールアドレス設定		○
センター問い合わせ	○	メール受信／拒否設定		○
iショット送信／iショットメール受信	○	メールサイズ制限		○
iモーションメールの送信／受信	○	メール機能停止／再開		○
その他添付ファイルの受信	×			
iアプリ				
iアプリ	○	プリインストールアプリ	Gガイド番組表リモコン	×
iアプリDX／メガiアプリ	×			
おサイフケータイ（iモードFeliCa）				
おサイフケータイ	×	プリインストールアプリ	DCMX	×
あんしん				
イマドコサーチ	○＊5	電話帳お預かりサービス		×
ケータイお探しサービス	×			
海外利用				
国際ローミング	○	国際MMS		○
SMS				
SMS送信／SMS受信	○	SMSセンター（SMSC）設定		○
メッセージ有効期限設定	○	送信通知（ステータスレポート）の有無設定		○

＊1：ストリーミングタイプのiモーションは再生できません。また、ASF方式コンテンツのiモーション再生はできません。
　　iモーションによっては、データを取得しても正しく動作しない場合があります。
＊2：音声／テレビ電話着信音のみに設定できます。メール／メッセージR/F／SMS着信音には設定できません。
＊3：赤外線通信機能では、電話帳・Bookmarkを全件送受信することができます。
　　相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。
＊4：2MB大容量メール送受信には対応しておりません。
＊5：GPSは非対応のため、GPSによる位置情報検索には対応しておりません。
※：「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの商標登録です。

P/N: MCDZ0003903

ドコモ W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは、「FOMA L602i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA L602iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

●FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
●公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
●FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
●FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
●このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
●このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1.「安全上のご注意」を確認しましょう→P10
2.電池パックをセットし、充電しましょう→P38、P39、P40
3.電源を入れ、自分の電話番号を確認しましょう→P44、P45
4.本体のボタンなど役割を確認しましょう→P28
5.画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう→P32
6.メニューの操作方法を確認しましょう→P34
7.電話のかけかた受けかたを確認しましょう→P48、P58

●本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書の検索方法やページの構成について説明します。なお、本書に掲載している画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

本書では、次のような方法で目的の機能や説明を探すことができます。

表紙インデックス ▶ 表紙
表紙のインデックスを使用して探します。

索引 ▶ P324
機能名やサービス名などのキーワードから探します。

▶ 次のページで詳しく説明しています。

目次 ▶ P4
機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能 ▶ P6
新機能や便利な機能など、FOMA L602iの特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

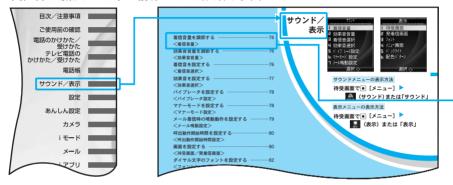
メニュー一覧 ▶ P240
FOMA L602iのメニューをまとめた一覧表から探します。

クイックマニュアル ▶ P334
基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。
また、クイックマニュアル（海外利用編）も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

■海外でご利用になる際は、「海外利用」（P229）の章を参照してください。

- この「FOMA L602i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA L602i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

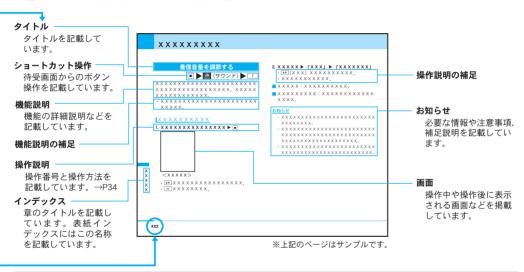
■ 表紙インデックスから

表紙→章扉（章の最初のページ）→説明ページの順で探します。

■ 索引から

機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

本書の見かたについて

本書では、FOMA端末の使いかたを次の構成で説明しています。

※上記のページはサンプルです。

・本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
・本書の操作説明では、キーを押す操作をイラストで表現していますが、次のように省略して表記しています。

実際のキー	本書のキー表記
1 あ@	1

・本書では、主にお買い上げ時の状態で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

目次／注意事項

目　次

FOMA L602iの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の１つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモード機能

サイト表示→P132
簡単なボタン操作でサイトやインターネットホームページに接続し、FOMA端末の画面に表示される情報を閲覧できるオンラインサービスです。

ｉモードメール→P151
ｉモードメールの作成・送信ができます。画像や動画、メロディなどを添付して送信することもできます。

ｉモーション→P137
サイトやインターネットから映像や音楽をFOMA端末に取り込んでいつでも楽しむことができます。

着モーション／着うた®→P76
ｉモードのサイトからｉモーションをFOMA端末に取り込んで着信音や着信画像にできます。
・「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ｉモーションメール→P151、P152
カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取り込んだｉモーションをｉモードメールに添付して送信できます。

ｉアプリ→P162
サイトからｉアプリを取り込んでFOMA端末を便利に活用いただけます。たとえばゲームを取り込むことにより、いろいろなゲームを楽しむことができます。

主な機能

テレビ電話→P58
離れている相手と顔を見ながら会話することができます。相手の声をスピーカから聞こえるようにしたり、カメラを切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。

豊富なネットワークサービス

留守番電話サービス（有料）→P204

転送でんわサービス（無料）→P207

キャッチホン（有料）→P206

SMS（ショートメッセージ）（無料）→P154

迷惑電話ストップサービス（無料）→P208

番号通知お願いサービス（無料）→P209

国際ローミングサービス→P230

本FOMA端末をそのまま海外に持ち出しても、日本で使用している電話番号のまま、音声電話やテレビ電話、SMSを利用できます。また、ｉモード、ｉモードメール、パソコンなどと接続して行うデータ通信も利用できます。留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約いただいている場合は、ネットワークサービスも利用できます。

カメラ機能→P111、P117

アウトカメラ（有効画素数約130万画素、記録画素数約130万画素）とインカメラ（有効画素数約30万画素、記録画素数約30万画素）の2つのカメラを利用して、人物や風景などの撮影だけではなく、お客様ご自身の撮影もできます。
撮影時には、映像の調節や画像の拡大、特殊効果など、さまざまな機能を利用できます。

赤外線通信→P186

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりができます。

電話帳のキャラクター表示→P64

電話帳には、画像だけでなくキャラクターを設定できます。「顔」「髪」「トップス」「ボトムス」「アクセサリー」「背景」を変更してさまざまなキャラクターを作成できます。

待受メモ→P81、P198／日付カウンター→P200

作成したメモの内容や、登録した予定までの日付を待受画面に表示できます。

電話番号の音声読み上げ機能→P77

電話をかけるときに、押したダイヤルボタンの数字を音声で読み上げます。
日本語、英語、韓国語の3種類から、読み上げる言語を選択できます。

海外で利用すると便利な機能

単位変換ツール→P189

通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を、別の単位に変換して数値を表示することができます。
海外で買物をするときに、商品の値段を円に換算して確認するなどの使いかたができます。

世界時計表示→P191

世界58都市の日時を確認することができます。画面には世界地図が表示され、日時と共に都市の位置や国旗も確認できます。旅行中に次の目的地の日時と位置を確認するなどの使いかたができます。

デュアルクロック表示→P81

待受画面に任意の2つの都市の時刻を同時に表示することができます。例えば滞在先の都市を設定しておくことで、滞在先との時差を確認できます。

目次／注意事項

FOMA L602i を使いこなす！

相手の顔を見ながらコミュニケーション「テレビ電話」→P58

スピーカから相手の声を流して楽しく会話できます。

カメラを切り替えて相手に映像を送れます。

シンプルで使いやすいカメラ機能→P110

フレームを追加した画像を撮影できます。→P114

インカメラとアウトカメラで手軽にお好みの画像を撮影できます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック L02
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01／02
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
FOMA 補助充電アダプタ 01

●その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問合わせください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

警告

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

次のページへ続く

目次／注意事項

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

注意

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

次のページへ続く

警告

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

指示

スピーカホンで通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

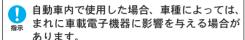
⚠注意

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

FOMA端末を閉じる際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 〈Li-polymer〉	リチウムイオン電池 （リチウムポリマー電池）

⚠危険

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

次のページへ続く

危険

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

次のページへ続く

警告

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面などにご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。

●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

■落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温・低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

故障の原因となります。

カメラについて

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「ｉショット」「着モーション」「デコメール」「メッセージF」「ｉメロディ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「IMCS」「OFFICEED」「musea」「sigmarion」「DoPa」および「FOMA」ロゴ「i - mode」ロゴ「ｉアプリ」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTT ドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- NetFrontおよび **NetFront**® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、MS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows XP、2000のように併記する場合があります。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996 - 2007 ACCESS CO., LTD.
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Adobe、および、Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG - 4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG - 4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG - 4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG - 4ビデオを再生する場合
  - MPEG - LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG - 4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

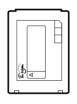
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
5,710,784 5,778,338

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

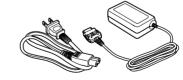
●FOMA L602i本体
（保証書、リアカバーL03含む）

●FOMA L602i用CD-ROM
（PDF版「データ通信マニュアル」を収録しております。）

●電池パック L02
（取扱説明書付き）

●取扱説明書（本書）
・クイックマニュアル添付（P334）

＜主なオプション品＞

●FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

●FOMA海外兼用ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

・その他オプション品について→P312

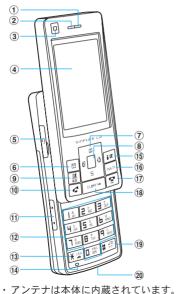
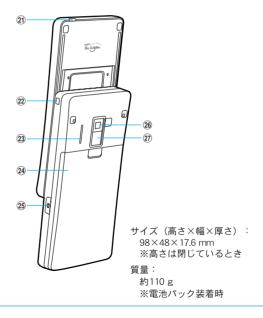
ご使用前の確認

各部の名称と機能

FOMA L602iの各部の名称と機能は次のとおりです。
・本書では、各ボタンでの操作をイラストを使って説明しています。

・アンテナは本体に内蔵されています。

サイズ（高さ×幅×厚さ）：
98×48×17.6 mm
※高さは閉じているとき

質量：
約110 g
※電池パック装着時

① **受話口**
通話中は相手の声がここから聞こえます。

② **LED表示**
着信中や充電中などに点灯／点滅します。点灯／点滅方法は変更できません。

③ **インカメラ**
自分を撮影するときや、テレビ電話で映像を送信するときに使います。

④ **ディスプレイ→P32**

⑤ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをここに接続します。イヤホンマイクカバー※を無理に引っ張らないでください。
※：開いた状態で、手前または奥に回すことができます。

⑥ **メールボタン**
待受画面で押すとメールメニューが表示されます。→P140
待受画面で2秒以上押すと「ｉモード問い合わせ」を行います。→P129、P156
自動キーロック中に押すと自動ロックを解除できます。→P101
ソフトキーエリアに表示されている項目を実行できます。→P34

⑦ **ナビゲーションボタン**
項目を選択するときや、画面をスクロールするときなどに使います。
待受画面から次の操作ができます。
上ボタン：電話帳一覧画面が表示されます。→P67
下ボタン：ショートカットメニュー画面が表示されます。→P186
左ボタン：着信履歴画面が表示されます。→P86
1秒以上押すと受信メール履歴が表示されます。→P88
右ボタン：リダイヤル画面が表示されます。→P87
1秒以上押すと送信メール履歴が表示されます。→P88

⑧ **メニュー／決定ボタン**
待受画面で押すとメインメニューが表示されます。→P34
ソフトキーエリアに表示されている項目を実行できます。→P34

⑨ **テレビ電話ボタン**
テレビ電話をかけるときや受けるときに使います。→P58、P60
待受画面で押すと最近通話した相手が表示されます。
文字入力中は入力モード（絵文字／記号／顔文字）の切り替えなどに使います。→P223
カメラ起動時に押すとインカメラとアウトカメラを切り替えます。

⑩ **開始ボタン**
音声電話をかけるときや受けるときに使います。→P48、P51
待受画面で押すと最近通話した相手が表示されます。1秒以上押すと受信／送信メール履歴がすべて表示されます。
文字入力中は全角／半角の切り替えに使います。→P222

⑪ **ボリュームボタン**
音量の調節などに使います。→P35
待受画面で1秒以上押すとフォトライトが点灯します。→P192

⑫ **ダイヤルボタン**

⑬ **＊（アスタリスク）／公共モード（ドライブモード）ボタン**
文字入力中は「＊」の入力や、大文字／小文字の切り替えなどに使います。→P224
待受画面で1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）を設定／解除します。→P52

⑭ **送話口**
通話中は自分の声をここから相手に伝えます。カメラで動画を撮影するときはマイクになります。

⑮ **ｉモード／ｉアプリボタン**
待受画面で押すとｉモードメニューが表示されます。→P122
待受画面で2秒以上押すとｉアプリのソフト一覧画面が表示されます。→P163
文字入力中は入力モード（ひらがな／カタカナ／英字／数字）の切り替えなどに使います。
ソフトキーエリアに表示されている項目を実行できます。→P34

⑯ **MULTI マルチタスクボタン**
タスクマネージャーが表示されます。
1秒以上押すと新規タスク画面を表示します。→P284

⑰ **電源／終了ボタン**
電源を入れるときに2秒以上押します。切るときは2秒以上押します。→P44
通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。

⑱ **CLEAR/ クリアボタン**
操作を1つ前の状態に戻します。
待受画面（FOMA端末を閉じた状態）で1秒以上押すと自動キーロックをかけることができます。→P100

メールの送信やデータのダウンロードの中止など、機能によっては操作の中止※に使います。
文字入力中は文字を削除するときなどに使います。
※：ただし、中止したタイミングによっては、操作が行われる場合があります。

⑲ **# #（シャープ）／マナーモードボタン**
待受画面で1秒以上押すとマナーモードが設定／解除されます。→P78
文字入力中は「#」や改行の入力などに使います。

⑳ **外部接続端子**
各種アダプタやケーブルをここに接続します。

㉑ **赤外線ポート**
赤外線通信を行うときは、ここを通信相手の機器に向けます。→P186

㉒ **ストラップ取り付け穴**

㉓ **スピーカ**
着信音やアラームなどがここから鳴ります。
スピーカホンを利用して通話をしている場合は、相手の声がここから聞こえます。

㉔ **リアカバー**

㉕ **カメラボタン**
待受画面で押すとフォトモード、1秒以上押すとムービーモードになります。→P111、P117

㉖ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影するときや、テレビ電話で映像を送信するときに使います。

㉗ **フォトライト**
アウトカメラ使用中に点灯できます。静止画／動画撮影時は赤く点灯／点滅します。→P111、P117
ミニライトとして利用することもできます。→P192

FOMA端末を開く／閉じる

待受画面のある本体前面部を上方向にスライドさせて開きます。閉じるときは下方向にスライドさせます。

お知らせ

・乱暴にスライドすると、故障の原因になりますのでご注意ください。

画面の見かた

① 強 ⟷ 弱 ：電波の受信レベル

：圏外

② ：音声電話通話中

：テレビ電話通話中

：スピーカホンで音声通話中

③ （点滅）：ｉモード中

（点滅）：ｉモード通信中

：ダイヤルアップ接続中

：ダイヤルアップ通信中

：SSL対応ページを表示または取得中

④ ：「全着信拒否」を設定中

⑤ ：1つの機能（タスク）を実行中

：複数の機能（タスク）を実行中

（点滅）：通話中やカメラ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中にアラームが起動

⑥ （白）：ｉモードセンターにメールあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメールが満杯

（白）：ｉモードセンターにメッセージRあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメッセージRが満杯

（白）：ｉモードセンターにメッセージFあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメッセージFが満杯

（白）：ｉモードセンターにメールとメッセージR/Fあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメールとメッセージR/Fが満杯

⑦ （白）：未読のメールあり

（白）：未読のSMSあり

（白）：未読のメールとSMSあり

（ピンク）：受信BOXが満杯

：FOMAカードのSMSが満杯

：受信BOXとFOMAカードのSMSが満杯

⑧（黄緑）：留守番電話の伝言メッセージあり

（オレンジ）：留守番電話の伝言メッセージが満杯

⑨（白）：未読のメッセージRあり

（ピンク）：メッセージRが満杯

⑩（白）：未読のメッセージFあり

（ピンク）：メッセージFが満杯

⑪：ｉアプリを起動中

：ｉアプリの自動起動失敗

⑫ 〜 ：電池残量表示

⑬（ピンク）：マナーモードを設定中

（青）：オリジナルマナーモードを設定中

⑭：音声電話とテレビ電話の着信音が鳴り、着信バイブレータが動作しない状態に設定中

：着信バイブレータが「パターン1（バイブのみ）」または「パターン2（バイブのみ）」で動作する状態／音声電話またはテレビ電話の着信音が鳴らず、着信バイブレータが「メロディ+バイブ」で動作する状態に設定中

：音声電話とテレビ電話の着信音が鳴り、着信バイブレータが「メロディ+バイブ」で動作する状態に設定中

：音声電話またはテレビ電話の着信音が鳴らず、着信バイブレータが動作しない状態に設定中

⑮：公共モード（ドライブモード）を設定中

⑯：設定中のアラームあり

：当日のスケジュールあり

：設定中のアラームと当日のスケジュールあり

⑰：FOMAカード未装着／FOMAカードにエラーが発生

⑱日付カウンター→P200

登録した予定までの日数を表示します。

⑲待受メモ→P198

作成した待受メモを表示します。

メニューの操作方法

ここでは「待受画面」の「壁紙」を設定する場合を例にして説明します。

■ で機能を選択する

1. 待受画面で ［メニュー］ ▶ で を反転表示 ▶ ▶ で「待受画面」へカーソルを移動 ▶ ▶ で「壁紙」へカーソルを移動 ▶

■メニュー番号を押して機能を選択する

1. 待受画面で ［メニュー］ ▶ で を反転表示 ▶ ▶ 1 ▶ 1

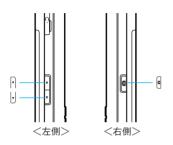
ソフトキーの操作方法

待受画面のソフトキーエリアに表示される項目を実行したいときは、次のように表示に対応するボタンを押します。

お知らせ

・ソフトキーエリアには、 でスクロールや項目の選択が可能な方向を示す （ナビゲーションアイコン）も表示されます。

・ソフトキーエリアに表示される項目は、表示中の画面によって異なります。

サイドボタンの主な操作

・FOMA端末を閉じた状態で、自動キーロック（P100）がかかっている場合は次のようになります。
[▲][▼]：自動ロックを一時的に解除できます。表内を参照してください。
[◎]：動作しません。

FOMA端末の動作	操作方法	FOMA端末の状態
ディスプレイの点灯	ディスプレイ消灯中▶[▲][▼]／[◎]	開/閉
自動キーロックの一時解除	自動キーロック中▶[▲][▼]▶[■]	閉
ボタン確認音量の調節	待受中▶[▲][▼]	開/閉
着信音量の調節	着信中▶[▲][▼]	開/閉

FOMA端末の動作	操作方法	FOMA端末の状態
受話音量の調節	音声電話／テレビ電話通話中▶[▲][▼]	開/閉
着信拒否	着信中▶[◎]を1秒以上	閉
アラームの停止	アラーム／スケジュールアラーム鳴動中▶[▼]	開/閉
一覧画面やサイト画面などをページ単位でスクロール※1	各画面表示中▶[▲][▼]	開/閉
スケジュールの1ヶ月表示画面を月単位で切り替え	スケジュールの1ヶ月表示画面表示中▶[▲][▼]	開/閉
カメラ起動	待受中▶[◎]（フォトモード） 待受中▶[◎]を1秒以上（ムービーモード）	開/閉
ズーム	静止画／動画撮影画面表示中▶[▲][▼]	開/閉
フォトライト点灯／消灯※2	待受中▶[▲]または[▼]を1秒以上（点灯） フォトライト点灯中▶[▲]または[▼]（消灯）	開/閉

次のページへ続く

FOMA端末の動作	操作方法	FOMA端末の状態
動画／メロディ再生時の音量調節	動画／メロディ再生中▶	開/閉
動画／メロディの再生／一時停止	動画／メロディ停止中▶（再生） 動画／メロディ再生中▶（一時停止）	開/閉

※1：画面によっては、カーソルを上下に移動する動作になります。

※2：「ミニライト」（P192）を「使用しない」に設定している場合は動作しません。

FOMAカードを使う

FOMAカードには、お客様の電話番号やご契約のサービス内容などが記録されており、通話や通信を利用する場合は必ずFOMA端末に取り付ける必要があります。

FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

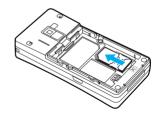
あらかじめFOMA端末の電源を切って、リアカバーと電池パックを取り外した状態（P39）で行います。

・ACアダプタやオプション品なども取り外してください。

取り付ける

1. FOMAカードのIC面を下にして、矢印の方向でガイドの下に差し込む

取り外す

1. FOMAカードを矢印の方向にスライドさせて取り外す

お知らせ

・FOMAカードを取り付ける／取り外す際は、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、FOMAカードのIC面を不用意に触れたり、傷つけたりしないでください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード／PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P107

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。お客様のFOMAカードを取り付けた状態で次のようなデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定され、FOMAカードを取り付けていなかったり、別のFOMAカードを取り付けた場合は、それらのデータやファイルの利用ができなくなります。

- サイトやインターネットホームページから取得した画像（アニメーションを含む）／メロディ／ｉモーション／ｉアプリなどのデータ
- ｉモードメールやメッセージR/Fに添付されているファイル
- 画面メモ

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

■WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができるドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

・2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

次のページへ続く

・2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
・一部ご利用になれない料金プランがあります。
・万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

必ずFOMA L602i専用の電池パック L02を取り付けてご利用ください。

取り付けかた

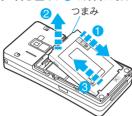
1. リアカバーを矢印❶の方向へ押し付けながら矢印❷の方向へスライドさせ、矢印❸の方向に持ち上げて取り外す

2. 電池パックの製品名が記載されている面を上にして、矢印❶の方向に差し込み、矢印❷の方向に押し込む

3. リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせ、矢印❶の方向へ押し付けながら矢印❷の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む

取り外しかた

1. リアカバーを矢印❶の方向へ押し付けながら矢印❷の方向へスライドさせ、矢印❸の方向に持ち上げて取り外す

2. 電池パックを❶の方向に押し付けながら、つまみを❷の方向へ持ち上げ、❸の方向に取り外します。

お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってからFOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、無理に付け外しをするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
- リアカバーを無理に付け外ししないでください。無理に付け外しをすると、リアカバーの爪の部分などが壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック L02の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

充電する

あらかじめ電池パックをFOMA端末に取り付け(P38)、専用のACアダプタ01／02（別売）を接続して充電します。海外で利用する場合は、別途FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）が必要です。

1. FOMA端末の外部接続端子のカバー※を開く

※：開いた状態で、手前または奥に回すことができます。

2. ACアダプタのコネクタを矢印の見えている面を上にして、FOMA端末と水平になるようにして矢印の方向に接続する

3. ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

AC100V

・充電を開始すると、充電開始音が鳴ります。
電池残量表示（▮▮▮）が順番に点滅して表示され、LEDも赤く点灯します。充電が終了すると、充電終了音が鳴り、電池残量表示の点滅が終了し、LEDの点灯も消えます。
・FOMA端末の電源を切って充電すると、電池残量によって次のように表示されます。
－残量が少ない場合：
「お待ちください」→「充電中」→「充電完了」
－残量がほとんどない場合：
「お待ちください」→「電池が少なくなっています　お待ちください」→「充電中」→「充電完了」

■充電について
・詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
・FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

お知らせ
・FOMA端末を初めてお使いになる場合は、電池パックは十分に充電されていません。最初に充電を完了させてからお使いください。
・ACアダプタをFOMA端末に取り付ける際は、コネクタに無理な力をかけないようにしてください。FOMA端末やコネクタを破損する恐れがあります。
・充電中は、電池パックやFOMAカードを取り外さないでください。
・充電が正しくできない場合は、電源を一度切ってから電池パックを取り外し、再度取り付け直してから充電してください。
・テレビ電話通話中に電池残量が少なくなった場合は、ACアダプタを接続しても充電できずに電源が切れる場合があります。
・海外で充電する場合は、滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）を使用してください。（渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要になります）　また、海外旅行用の変圧器を使用して充電しないでください。

ACアダプタの取り外しかた

充電が完了したらACアダプタをFOMA端末から取り外します。

1. ACアダプタの電源プラグをコンセントから外す

2. コネクタの両脇のリリースボタンを押しながらFOMA端末と水平になるようにして矢印の方向に取り外す

・コネクタを無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

3. FOMA端末の外部接続端子のカバーを閉じる

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・電池残量表示はあくまでも目安としてご利用ください。

- ：十分残っています。
- ：少なくなっています。
- ：電池残量がほとんどありません。充電してください。

充電が必要なときは

電池残量が無くなるとメッセージが表示され、が点滅して電池アラーム音が鳴ります。■を押すとメッセージが消えて電池アラーム音が止まります。

お知らせ

・「マナーモード」に設定中、および「オリジナルマナーモード」で「電池アラーム音」を鳴らない設定にしているときは、電池アラーム音は鳴りません。

電池パックの注意事項

必ず本FOMA端末専用の電池パックをご利用ください。

■電池パックの寿命

・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
・充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

■電源を入れたままでの長時間（数日間）の充電はおやめください。

・充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池アラーム音が鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタから外して、再度セットし直してください。

■電池の使用時間の目安

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

ネットワーク	連続待受時間	連続通話時間
FOMA／3G	静止時：約350時間 移動時：約200時間	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約90分
GSM/GPRS	約260時間	音声電話時：約200分

・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
・連続待受時間とはFOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）、滞在国のネットワークの状況などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、FOMAカードを取り外した状態でFOMA端末の電源をONにしていたり、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリを起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

次のページへ続く

・静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
・移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
・データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラを使用したときも、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

■電池パックの充電時間の目安

FOMA ACアダプタ 01／02	約180分

・充電時間の目安は、電池パックが空の状態で、FOMA端末の電源を切って充電した場合の時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合は、充電時間は長くなります。

■その他の注意事項

・指定のアダプタ以外を使用して充電すると、電池パックの寿命を短くする原因になるので使用しないでください。

電源を入れる

・電源を入れる前に、FOMAカードが取り付けられていることと、電池パックが十分に充電されていることを確認してください。

1. [終話]を2秒以上

・ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

お知らせ

・「PINコードリクエスト」(P101)を「ON」に設定している場合は、PIN1コードの入力が必要になります。
・「オールロック」(P99)を「パワーオン」に設定している場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

電源を切る

1. [終話]を2秒以上

・FOMA端末を閉じている場合は、確認画面で「はい」を選択します。
・終了画面が表示され、電源が切れます。

お知らせ

・FOMA端末の電源が切れるまで時間がかかる場合があります。また、ネットワークの状態により電源が切れるまでの時間が異なります。電源を切る動作が継続している間は、電源を入れ直す操作を行わないでください。

日付／時刻の設定を行う

日付や時刻の設定ができます。詳しい設定方法については、「日付／時刻の設定を行う」（P96）を参照してください。

発信者番号通知サービスを利用する

電話をかけたときにお客様の電話番号を相手に通知することができるサービスです。詳しい設定方法については、「発信者番号通知サービスを利用する」（P208）を参照してください。

自局番号を表示する

FOMAカードに記録されているお客様の電話番号を表示します。

1. 待受画面で[■]▶[0]

・自局番号画面の詳しい設定方法については「自局番号を表示する」（P73）を参照してください。

電話のかけかた／受けかた

電話をかける

1. 電話番号を入力

＜電話番号入力画面＞

- [CLEAR/🔈]：最後の1桁が消えます。1秒以上押すとすべての桁が消えます。
- [■]［保存］：入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。
- [iα]［検索］：入力した電話番号で電話帳を検索します。P67の操作3以降を参照してください。

2. [📞] ▶ 相手が出たら通話する

相手の名前※1
相手の電話番号
通話時間
相手の画像※2

※1：電話帳に登録されていない場合は「発信番号」と表示します。
※2：電話帳に画像が登録されている相手のみ表示します。

＜通話中画面＞

- [CLEAR/🔈]を1秒以上：スピーカホンのON／OFFを切り替えます。

3. 通話が終了したら[📞]

- 通話が切れるときに受話口から確認音が鳴ります。

お知らせ

- 電話番号入力画面（左記）で0～9までの番号を入力して[📞]を押すと、その番号と同じメモリー番号の電話帳に登録されている電話番号に発信します。
- 電話番号は最大42桁まで入力して発信できます。
- 電話番号を16桁以上入力した場合は、先頭の16桁までが表示されて発信します。
- 電話番号の先頭に「184」（非通知）／「186」（通知）を入力して電話をかけることもできます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）装着時には、スピーカホンのON／OFFに関わらず、イヤホンマイクでの通話になります。
- 一部、海外からの発着信時の際には、電話帳に登録されている相手でも、登録名が表示されない場合があります。

電話番号入力画面のサブメニューを利用する

1. 電話番号入力画面（左記）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

番号通知設定
1回の通話のたびに発信者番号を通知するかどうかを設定します。

－**通知しない**：入力した電話番号の先頭に「#31#」を付加し、電話番号を通知しません。

－**通知する**：入力した電話番号の先頭に「＊31#」を付加し、電話番号を通知します。

－**キャンセル**：付加した「#31#」または「＊31#」を削除します。

プレフィックス選択
入力した電話番号の先頭に「プレフィックス設定」（P93）で登録した番号を付加します。

国際電話発信
入力した電話番号の先頭に「国際電話設定」（P93）で登録した国際アクセス番号を付加します。

保存
入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

電話帳検索
入力した電話番号で電話帳を検索します。検索後の操作については「電話帳を検索する」の操作3（P67）以降を参照してください。

通話中画面のサブメニューを利用する

1. 通話中画面（P48）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規発信※1
通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかけます。

通話を終了
電話を切ります。

保留※1**／保留通話解除**※1
通話を保留または保留を解除します。

ミュート設定※2**／ミュート解除**※2
相手に送信する音声を無音または無音を解除します。

※1：キャッチホンをご契約の場合のみご利用になれます。キャッチホンについては「キャッチホンを利用する」（P206）を参照してください。

※2：保留中は表示されません。

発着信履歴から電話をかける

1. 待受画面で[▶]／[◀]／[☎]／[絵/記] ▶ 履歴を選択 ▶ [☎]

お知らせ

・履歴画面のサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。

電話帳から電話をかける

1. 待受画面で[▼]または電話帳を検索（P66） ▶ 電話をかける相手を選択 ▶ [☎]

・複数の電話番号の登録がある場合は、電話帳一覧画面で[☎]を押すと、発信電話番号選択画面が表示されますので、電話番号を選択して[■]［発信］を押します。

お知らせ

・表示する電話帳をFOMA端末本体またはFOMAカードに切り替える場合は、電話帳一覧画面で［メニュー］→「本体電話帳表示」または「UIM電話帳表示」を選択します。

ポーズダイヤルを利用する

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。ポーズ「P」を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送信できます。

1. 電話番号を入力

2. ダイヤルデータを入力

・ポーズ「P」は＊を3回押して入力します。
・入力できる文字は、0～9、#、＊およびポーズ「P」のみです。
・42桁まで入力できます。
・電話番号より先にポーズ「P」を入力すると、電話がかけられません。

3.

・相手に音声電話がかかり、通話中になるとダイヤルデータの最初のポーズ「P」までが表示されます。

4. 相手が応じたことを確認▶ または■［選択］

・最初のポーズ「P」までのダイヤルデータが送信され、次のポーズ「P」までのダイヤルデータが表示されます。 または■［選択］を押すごとに、ポーズ「P」までのダイヤルデータが送信されます。最後の番号を送り終えると通話画面になります。

お知らせ

・相手側の機器によっては、ダイヤルデータを受信できない場合があります。
・テレビ電話では、ポーズダイヤルを利用できません。

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際電話をかけられます。
FOMAサービスのご契約時に合わせてご契約いただいています。（不要のお申し込みをされた方を除きます）
・通話先は世界約240の国と地域です。

■ 通話方法

009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号▶

・一部ご利用になれない料金プランがあります。
・WORLD CALLの申込手数料・月額使用料は無料です。
・WORLD CALLの料金は、毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求させていただきます。

- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、ダイヤルを入力した後に[絵/記]で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
  - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
  - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 地域番号（市外局番）または携帯電話番号が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

簡単な方法で国際電話をかける

- 「自動付加設定」（P93）が「自動」、「国際電話設定」（P93）の番号に「009130010」（WORLD CALL）が設定されていることを確認してください。

1. 待受画面で[0]を1秒以上押して「＋」を入力

2. 国番号→地域番号（市外局番）→相手先の電話番号を入力▶[発信]（[絵/記]）

- 携帯電話にかける場合は、国番号の後に携帯電話番号を入力してください。

3.「はい」

4. 通話が終了したら[終話]

受話音量を調節する

1. 通話中に[上下]または[サイド]を1秒以上押す

お知らせ

- 変更した音量は、通話終了後も保持されます。

電話を受ける

1. 電話がかかってきたら[発信]

相手の画像※1

相手の名前※2

相手の電話番号

※1：電話帳に相手の画像が登録されている場合のみ表示します。

※2：電話帳に登録されていない相手は「未登録」と表示します。

＜着信中画面＞

- [iα]［ミュート］：着信音を消します。さらに[iα]［拒否］を押すと、着信を拒否します。
- [終話]：着信を拒否します。

2. 通話が終了したら[終話]

- 通話が切れるときに受話口から確認音が鳴ります。

お知らせ

- 一部、海外からの発着信時の際には、電話帳に登録されている相手でも、登録名が表示されない場合があります。

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた音声電話／テレビ電話に出られなかったときは、不在着信を示す次の画面が表示され、LEDが約60秒間点滅します。

電話帳に登録されていない場合は表示されません。

<不在着信画面>

- ■［選択］：着信履歴を表示します。
- iα［閉じる］：不在着信画面を閉じます。

着信中画面のサブメニューを利用する

1. 着信中画面（P51）で✉［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

留守番電話※1
留守番電話サービスセンターに接続します。

着信拒否
着信を受けずに電話を切ります。

転送でんわ※2
登録済みの電話番号に転送します。

※1：留守番電話サービスをご契約の場合のみ利用できます。留守番電話については「留守番電話サービスを利用する」(P204) を参照してください。
※2：転送でんわサービスをご契約の場合のみ利用できます。転送でんわについては「転送でんわサービスを利用する」(P207) を参照してください。

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に、運転中もしくは通話を控える必要がある場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

- 公共モードの設定／解除ができるのは、待受画面表示中のみです。（画面に「圏外」が表示されているときも設定／解除はできます）
- 公共モードを設定していても電話をかけることができます。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モードのガイダンスは流れません）

公共モード（ドライブモード）を設定する

1. 待受画面で▶ ＊を1秒以上

・公共モードが設定され、 が表示されます。

■ 公共モードを解除するには

待受画面で＊を1秒以上

公共モードが解除され、 の表示が消えます。

公共モードを設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。不在着信画面（P52）が表示され、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶されます。

・ 音声電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要があるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、切断されます。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）中の動作

公共モード（ドライブモード）とネットワークサービスを同時に利用しているときは、次のように動作します。設定状況や電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、公共モード（ドライブモード）の動作や不在着信の記録や表示が行われません。

■ 留守番電話サービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。※2

■ キャッチホン

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、通話を切断します。	相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスを表示した後、通話を切断します。

■ 転送でんわサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※1 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。

電話のかけかた／受けかた

次のページへ続く

■ 迷惑電話ストップサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
・迷惑電話着信拒否に登録している場合は、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合は、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが流れた後､切断されます。

■ 番号通知お願いサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※1：留守番呼出時間または転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定したときや圏外、電源を切っているときは、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

※2：本FOMA端末は、留守番電話サービス（テレビ電話）には対応しておりません。「1412」へ音声発信（通話料無料）し、テレビ電話非対応に設定してください。

お知らせ

公共モード（ドライブモード）設定中には、次の音が鳴りません。

- 音声電話／テレビ電話着信音
- メール着信音
- メッセージR／メッセージF着信音
- めざましのアラーム音（⏰は点滅します。）※
- スケジュールのアラーム音（⏰は点滅します。）※
- 電池切れアラーム音
- 自動起動の設定によって起動したｉアプリソフトの鳴動
- 充電確認音

※：公共モード（ドライブモード）解除後、アラーム音が鳴ります。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

公共モード（電源OFF）を設定する

1. ＊ 2 5 2 5 1 ▶ 📞
   - 公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません）
   - 公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除するには

＊ 2 5 2 5 0 ▶ 📞

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認するには

＊ 2 5 2 5 9 ▶ 📞

公共モード（電源OFF）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、切断されます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）中の動作

公共モード（電源OFF）とネットワークサービスを同時に利用しているときは、次のように動作します。設定状況や電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、公共モード（電源OFF）の動作や不在着信の記録や表示が行われません。

■ 留守番電話サービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	留守番電話サービスセンターに接続されず、切断されます。※2

■ 転送でんわサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。

次のページへ続く

■ 迷惑電話ストップサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
・相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合は、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合は、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

■ 番号通知お願いサービス

音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※1：留守番呼出時間または転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません。

※2：本FOMA端末は、留守番電話サービス（テレビ電話）には対応しておりません。「1412」へ音声発信（通話料無料）し、テレビ電話非対応に設定してください。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

ドコモのテレビ電話対応端末どうしでなら、お互いの映像を見ながら通話できます。

・ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G−324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）とは、第3世代移動通信システム（IMT−2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：3G−324Mとは、第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

・テレビ電話は、64kbpsの通信速度で行います。

テレビ電話をかける

1. 電話番号を入力

・電話番号入力画面（P48）が表示されます。

2. [絵/記] ▶ 相手が出たら通話する

<通話中画面>

マーク	説　明
[スピーカON] [スピーカOFF]	スピーカホンON／OFF
[X1] [X2]	ズーム倍率

・通話が始まるとスピーカホンがONになり、相手の声がスピーカから聞こえます。

・[CLEAR/スピーカ]を1秒以上：スピーカホンのON／OFFを切り替えます。

・[■]［代替］／［カメラ］：相手に送信する映像を代替画像とカメラ画像で切り替えます。

・[i]［切替］：相手に送信する映像をインカメラまたはアウトカメラの画像に切り替えます。

・[方向キー]：利用しているカメラの映像をズームします。

3. 通話が終了したら[終話]

お知らせ

・国際電話の利用方法については、「国際電話を利用する」（P50）を参照してください。

・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）装着時には、スピーカホンのON／OFFに関わらず、イヤホンマイクでの通話になります。

電話番号入力画面のサブメニューを利用する

利用できるサブメニューについては、音声電話の「電話番号入力画面のサブメニューを利用する」（P48）を参照してください。

通話中画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P257

1. 通話中画面（P58）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

終話
電話を切ります。

保留
通話を保留にします。[iα]［解除］を押して解除します。

代替画像／カメラ画像
相手に送信する映像を代替画像に切り替えます。→P95

カメラ設定
テレビ電話のカメラを設定します。[◆]を押してアイコンを選択します。設定後は[iα]［閉じる］を押します。

－ **ズーム**：カメラ画像をズーム（×1／×2）します。

－ **明るさ**：カメラ画像の明るさ（明るい／標準／暗い）を変更します。

－ **ナイトモード**：暗い場所などで利用するときに設定します。

テレビ電話設定
テレビ電話の表示方法を設定します。設定後は[iα]［完了］を押します。→P94

－**テレビ電話画面設定**：通話中画面の表示方法を設定します。
・両方…相手と自分の画像を表示します。
・相手画像…相手の画像のみ表示します。
・自画像…自分の画像のみ表示します。

－**子画面表示**：「テレビ電話画面設定」を「両方」に設定したときに、それぞれの画面に表示する画像を設定します。
・自画像…子画面に自分、親画面に相手の画像を表示します。
・相手画像…子画面に相手、親画面に自分の画像を表示します。

－**照明設定**：通話中画面のバックライトの点灯方法を設定します。
・常時点灯…通話中は常に点灯します。
・端末設定に従う…「バックライト」の設定内容に従います。→P83

送信画質設定
相手に送信する映像の画質を設定します。

－**標準**：画質、動きともに標準で送信します。

－**動き優先**：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

－**画質優先**：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。

発着信履歴からテレビ電話をかける

1. 待受画面で□／□／□／□ ▶ 履歴を選択 ▶ □

お知らせ

・履歴画面のサブメニューについては「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」(P86) を参照してください。

電話帳からテレビ電話をかける

1. 待受画面で□または電話帳を検索（P66） ▶ 電話をかける相手を選択 ▶ □

・複数の電話番号の登録がある場合は、電話帳一覧画面で□を押すと、発信電話番号選択画面が表示されますので、電話番号を選択して■［発信］を押します。

お知らせ

・表示する電話帳をFOMA端末本体またはFOMAカードに切り替える場合は、電話帳一覧画面で□［メニュー］→「本体電話帳表示」または「UIM電話帳表示」を選択します。

受話音量を調節する

1. 通話中に□／□

お知らせ

・変更した音量は、通話終了後も保持されます。

テレビ電話を受ける

1. 電話がかかってきたら□／□

相手の画像※1
相手の名前※2
相手の電話番号
※1：電話帳に相手の画像が登録されている場合のみ表示します。
※2：電話帳に登録されていない相手は「未登録」と表示します。

<着信中画面>

・■［代替］：電話を受けられます。ただし、相手には代替画像が送信されます。
・□：応答を保留します。相手には保留画像が送信されます。■［応答］を押すと電話を受けられます。

2. 通話が終了したら□

お知らせ

・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）装着時には、スピーカホンのON／OFFに関わらず、イヤホンマイクでの通話になります。

着信中画面のサブメニューを利用する

利用できるサブメニューについては、音声電話の「着信中画面のサブメニューを利用する」（P52）を参照してください。ただし、テレビ電話では「留守番電話」が表示されません。

テレビ電話の設定を行う

（設定）▶ 3

テレビ電話の操作や表示に関する設定をします。設定内容については、設定の「テレビ電話設定を行う」（P94）「テレビ電話の画像を選択する」（P95）を参照してください。

電話帳

電話帳メニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶（電話帳）または「電話帳」

電話帳に登録する

 ▶ （電話帳）▶ 1

電話帳はFOMA端末本体に登録する電話帳と、FOMAカードに登録する電話帳の2種類があります。

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳登録」

＜電話帳登録画面＞

2. 次の登録する項目を選択

本体／FOMAカード（UIM）
電話帳の保存先（FOMA端末本体／FOMAカード）を選択します。

名前
名前を入力します。入力しないと電話帳を保存できません。

フリガナ
フリガナを入力します。「名前」を入力すると自動的に挿入されます。

電話番号1～5※1
電話番号を入力します。入力後に［アイコン］を押すと、マークを以外に変更できます。

メールアドレス1～3※1
メールアドレスを入力します。入力後に［アイコン］を押すと、マークを以外に変更できます。

グループ（本体）／グループ（FOMAカード（UIM））
登録するグループを選択します。

画像設定※2
発着信画面、通話中画面、電話帳一覧画面、電話帳詳細画面で表示される画像を設定します。

－**画像なし**：画像を設定しません。

－**キャラクター**：キャラクターを設定します。を押して部位（顔、髪、トップス、ボトムス、アクセサリー、背景）を選択し、を押して選択中の部位のアイテムを選択します。設定後はを押します。

－**静止画像選択**：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P169

－**静止画像撮影**：カメラを起動します。「静止画を撮影する」の操作2（P112）に進みます。この場合の撮影サイズは「80×96」に固定され変更できません。

電話着信音設定※2
登録した相手から音声電話／テレビ電話を着信したときの着信音を設定します。

－**データBOX**※4：「データBOX」の「メロディ」「iモーション」内に保存されているメロディやiモーションから選択します。→P176、P179

－**端末設定に従う**：「着信音選択」の設定に従います。→P76

メール着信音設定※2※3
登録した相手からメールを受信したときの着信音を設定します。

－**データBOX**：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P179

－**端末設定に従う**：「着信音選択」の設定に従います。→P76

URL※2
URLを入力します。

郵便番号※2
郵便番号を入力します。

自宅住所※2
住所を入力します。

会社名※2
会社名を入力します。

役職名※2
役職名を入力します。

会社住所※2
会社住所を入力します。

テキストメモ※2
メモを入力します。

シークレットコード※2※5
端末暗証番号を入力し、電話番号またはメールアドレスを選択してシークレットコードを設定します。［解除］を押すと、設定を解除します。

※1：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合、登録できるのは1件のみになります。
※2：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合は、表示されません。
※3：SMSの着信音は、「SMS着信音」（P77）の設定に従って鳴ります。
※4：フォルダ一覧画面でCLEARを押して「メロディ」と「iモーション」の切り替えができます。
※5：シークレットコードについては『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください

3. 登録後［保存］▶メモリー番号（0～499）入力▶■

FOMAカードに登録する

1. 電話帳登録画面（P64）で「本体」欄を選択▶で「FOMAカード（UIM）」を選択

2. 必要な項目を登録

・項目内容については、「電話帳に登録する」の操作2（P64）を参照してください。

3. ［保存］

次のページへ続く

お知らせ

・メモリー番号0〜9に登録した電話帳の電話番号（「電話番号1」に登録したもの）は、待受画面で[0]〜[9]を押して[発信]（[テレビ電話]）を押すと、音声電話（テレビ電話）をかけることができます。
・FOMA端末本体には500件、FOMAカードには50件まで電話帳を保存できます。

電話帳を検索する

[■] ▶ [電話帳]（電話帳）▶ [2]

検索方法を指定して、FOMA端末本体／FOMAカード内電話帳を表示できます。

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳検索」

・[iα]［UIM］／［本体］：FOMA端末本体の電話帳検索画面と、FOMAカードの電話帳検索画面を切り替えることができます。

2. 次の検索方法を選択

全件検索
検索する名前の50音に対応したボタン[1]〜[0]（あ行〜わ行）を押して検索します。[＊]を押すとその他を検索します。[◀▶]を押して50音のタブを切り替えられます。

グループ検索
検索するグループ（グループなし、グループ1〜30（FOMA端末本体）／グループ1〜10（FOMAカード））を選択して検索します。検索後は[◀▶]を押してグループを切り替えられます。

フリガナ検索
名前のフリガナに含まれる文字の一部を入力して検索します。

メモリー検索※
メモリー番号（0〜499）から検索します。
[◀▶]を押してメモリー番号のタブを切り替えられます。

電話番号検索
電話番号に含まれる数字の一部を入力して検索します。

ドメイン検索
ドメインを指定して検索します。[◀▶]でドメインを切り替えます。
・指定に利用するドメインは「ドメインリストを作成する」（P71）で作成します。

※：FOMAカードの電話帳検索画面では利用できません。

3. 検索条件を満たした電話帳一覧画面が表示される

・左記は「全件検索」後の画面の一例です。

＜電話帳一覧画面＞

- ／ ：選択中の電話帳に登録されている電話番号に音声電話／テレビ電話をかけます。ただし、複数の電話番号の登録がある場合は、／ を押すと、発信電話番号選択画面が表示されますので、電話番号を選択して■［発信］を押します。
- iα［メール］※：選択中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。電話帳に複数のメールアドレスまたは電話番号の登録がある場合は、iα［メール］を押すと、宛先選択画面が表示されますので、宛先を選択します。

  ※：選択中の電話帳にメールアドレスまたは電話番号が登録されていない場合は利用できません。

4. 目的の電話帳を選択▶■

＜電話帳詳細画面＞

- ／ ：表示中の電話帳に登録されている電話番号に音声電話／テレビ電話をかけます。複数の電話番号が登録されている場合は、発信電話番号選択画面が表示されますので、電話番号を選択して■［発信］を押します。
- ■［発信］：選択中の電話番号に音声電話をかけます。
- ■［メール］：選択中のメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。
- ■［接続］：選択中のURLのホームページに接続します。

電話帳一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P257

1. 電話帳一覧画面（P67）で［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

メール作成／URL接続※2

－**メール作成**：選択中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

－**SMS作成**：選択中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。「SMSを作成する」の操作3（P155）に進みます。

－**URL接続**：選択中の電話帳に登録されているURLのホームページに接続します。

新規作成

電話帳を新規作成します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

編集

選択中の電話帳を編集します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

赤外線送信※3

赤外線送信については、「赤外線通信を利用する」（P186）を参照してください。

－**1件送信**：選択中の電話帳を赤外線で送信します。

－**全件送信**：登録されているすべての電話帳を赤外線で送信します。

コピー

－**FOMAカードへ1件コピー**※4：選択中の電話帳をFOMAカードへコピーします。

－**FOMAカードへ複数件コピー**※4：複数の電話帳を選択してFOMAカードへコピーします。［メニュー］を押すと「全選択」などができます。選択後は［確定］を押します。

－**本体へ1件コピー**※5：選択中の電話帳をFOMA端末本体へコピーします。

－**本体へ複数件コピー**※5：複数の電話帳を選択してFOMA端末本体へコピーします。［メニュー］を押すと「全選択」などができます。選択後は［確定］を押します。

UIM電話帳表示※4**／本体電話帳表示**※5

FOMAカード内電話帳の表示とFOMA端末本体の電話帳の表示を切り替えます。

検索方法選択

別の方法を選択して電話帳を検索します。検索方法については「電話帳を検索する」の操作2（P66）を参照してください。

検索カテゴリ別メニュー※1

－**本体**※4**／FOMAカード**※5**グループ設定**：「グループ検索」後の電話帳一覧画面の上部に表示されているグループの設定を行います。「グループを設定する」の操作2（P72）に進みます。

－**入力文字切替**：「フリガナ検索」後の電話帳一覧画面の上部に表示される文字入力欄の入力モードを切り替えます。

－**ドメインリスト作成**：「ドメイン検索」後の電話帳一覧画面からドメインリストを作成します。「ドメインリストを作成する」の操作2（P71）に進みます。

削除

－**1件削除**：選択中の電話帳を削除します。

－**複数件削除**：複数の電話帳を選択して削除します。［メニュー］を押すと「全選択」などができます。選択後は［確定］を押します。

－**全件削除**※6：登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要になります。

画像表示※7

画像が登録されている電話帳を電話帳一覧画面で選択したときに、画像を表示するかどうかを設定します。→P71

国際電話（日本）※8

選択中の電話帳に登録されている電話番号で日本に電話をかけます。→P233

※1：「グループ検索」（「グループなし」で検索した場合を除く）「フリガナ検索」「電話番号検索」「ドメイン検索」後の電話帳一覧画面からの操作で利用できます。ただし、電話帳の登録状況により利用できない場合があります。

※2：選択中の電話帳に電話番号／メールアドレス／URLが登録されていない場合は利用できません。

※3：FOMAカードの電話帳では利用できません。

※4：FOMA端末本体の電話帳で表示されます。

※5：FOMAカードの電話帳で表示されます。

※6：ｉモードメール／SMS問い合わせ、およびｉアプリ起動中に電話帳全件削除をした場合、使用中の他の機能は中断され、待受画面に戻ります。

※7：FOMAカードの電話帳では画像表示はされません。

※8：海外ローミングサービス中のみ表示されます。国内では表示されません。

電話帳詳細画面のサブメニューを利用する

1. 電話帳詳細画面（P67）で［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

メール作成／URL接続※1

－**メール作成**：表示中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

－**SMS作成**：表示中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。「SMSを作成する」の操作3（P155）に進みます。

次のページへ続く

－**URL接続**：表示中の電話帳に登録されているURLのホームページに接続します。

編集
表示中の電話帳を編集します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

赤外線送信※2
赤外線送信については、「赤外線通信を利用する」（P186）を参照してください。

FOMAカードへ1件コピー※3
表示中の電話帳をFOMAカードへコピーします。

本体へ1件コピー※4
表示中の電話帳をFOMA端末本体へコピーします。

1件削除
表示中の電話帳を削除します。

国際電話（日本）※5
表示中の電話帳に登録されている電話番号で日本に電話をかけます。→P233

※1：表示中の電話帳に電話番号／メールアドレス／URLが登録されていない場合は利用できません。
※2：FOMAカードの電話帳では利用できません。
※3：FOMA端末本体の電話帳を表示中に表示されます。
※4：FOMAカードの電話帳を表示中に表示されます。
※5：海外ローミングサービス中のみ利用できます。

電話帳の登録件数を確認する

■ ▶ （電話帳） ▶ 3

FOMA端末本体とFOMAカードの電話帳に登録されている件数や、残りの登録可能件数を確認できます。

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳登録件数」

電話帳の設定を行う

表示データを設定する

■ ▶ （電話帳） ▶ 4 1

電話帳を表示したときに、FOMA端末本体の電話帳を表示するか、FOMAカードの電話帳を表示するかを設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳設定」▶「表示データ」▶「本体のみ」／「FOMAカードのみ」

ドメインリストを作成する

■ ▶ [電話帳] （電話帳） ▶ 4 2

「ドメイン検索」（P66）を行うときに利用するドメインを登録します。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳設定」▶「ドメインリスト作成」

・[iα]［表示］※1：選択中のドメインリスト欄の登録内容全体を表示します。
・[✉]［削除］※2：選択中のドメインリスト欄の登録内容を削除します。
※1：未登録欄を選択中は利用できません。
※2：「@docomo.ne.jp」欄または未登録欄を選択中は利用できません。

2. ドメインリスト欄を選択 ▶ ■ ▶ ドメインを入力 ▶ ■

検索方法を選択する

■ ▶ [電話帳] （電話帳） ▶ 4 3

待受画面で[□]を押して検索画面を表示したときの検索方法を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳設定」▶「検索方法選択」▶ 検索方法を選択

・検索方法については「電話帳を検索する」の操作2（P66）を参照してください。

お知らせ

・「表示データ」（P70）を「FOMAカードのみ」に設定している場合は、「メモリー検索」を選択できません。

画像を表示する

■ ▶ [電話帳] （電話帳） ▶ 4 4

「[画像]（画像設定）」（P64）で画像が設定されている電話帳を電話帳一覧画面で選択したときに、その画像を表示するかどうかを設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. 電話帳メニュー（P63）から「電話帳設定」▶「画像表示」▶「ON」／「OFF」

グループを設定する

■ ▶ [電話帳] （電話帳） ▶ 5

電話帳のグループにグループ名を登録できます。また、グループごとに着信音を設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. 電話帳メニュー（P63）から「グループ設定」

・グループ設定画面が表示されます。
・[iα]［UIM］／［本体］：FOMA端末本体のグループ設定画面と、FOMAカードのグループ設定画面を切り替えることができます。

2. 設定するグループを選択▶［■］▶ 次の登録する項目を選択▶ 設定後［iα］［完了］

グループ名
グループの名前を登録します。

電話着信音※1
電話の着信時に鳴る着信音を設定します。

－**データBOX※2**：「データBOX」の「メロディ」「iモーション」内に保存されているメロディやiモーションから選択します。→P176、P179

－**端末設定に従う**：「着信音選択」の設定に従います。→P76

メール着信音※1※3
メールの受信時に鳴る着信音を設定します。

－**データBOX**：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P179

－**端末設定に従う**：「着信音選択」の設定に従います。→P76

※1：FOMAカードのグループ設定画面では表示されません。
※2：フォルダ一覧画面で［CLEAR/◀］を押して「メロディ」と「iモーション」の切り替えができます。
※3：SMSの着信音は、「SMS着信音」（P77）の設定に従って鳴ります。

グループ設定画面のサブメニューを利用する

1. グループ設定画面で［✉］［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

リセット※1
選択中のグループ設定内容をリセットします。

移動※2
選択中のグループの並び順を変更します。

編集
選択中のグループを編集します。「グループを設定する」の操作2（左記）に進みます。

オールリセット※3
すべてのグループ設定や並び順をリセットします。

※1：選択中のグループが編集されていない場合は利用できません。
※2：FOMAカードのグループ設定画面では利用できません。
※3：グループが1件も移動／編集されていない場合は利用できません。

自局番号を表示する

■ ▶ 電話帳（電話帳）▶ 6

FOMAカードに記録されているお客様の電話番号を表示します。

1. 電話帳メニュー（P63）から「自局番号」

・自局番号画面が表示されます。

お知らせ

・待受画面で■→0を押しても確認できます。

自局番号の詳細を表示する

1. 自局番号画面で■［詳細］▶ 端末暗証番号入力▶ ■

・詳細画面が表示されます。

・📞／📺：登録されている電話番号（お客様の電話番号を除く）に音声電話／テレビ電話をかけます。複数の電話番号が登録されている場合は、発信電話番号選択画面が表示されますので、電話番号を選択して■［発信］を押します。

・■［発信］※：選択中の電話番号に音声電話をかけます。

※：お客様の電話番号は選択しても利用できません。

・■［メール］：選択中のメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

・■［接続］：選択中のURLのホームページに接続します。

詳細画面のサブメニューを利用する

1. 詳細画面で✉［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

メール作成／URL接続※1

－**メール作成**：自局番号に登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

－**SMS作成**※2：自局番号に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。「SMSを作成する」の操作3（P155）に進みます。

－**URL接続**：自局番号に登録されているURLのホームページに接続します。

編集

お客様の情報を登録します。登録方法については「電話帳に登録する」の操作2（P64）以降を参照してください。ただし、「（自局番号）」に登録されているお客様の電話番号は編集できません。

赤外線送信※3

自局番号と登録情報を赤外線通信で送信します。赤外線送信については、「赤外線通信を利用する」（P186）を参照してください。

電話帳

次のページへ続く

リセット※4
編集した自局番号の登録情報（お客様の電話番号を除く）をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

※1： 電話番号／メールアドレス／URLが登録されていない場合は利用できません。
※2： 自局番号は選択して利用できません。
※3： 通話中は利用できません。
※4： 登録情報がない場合は利用できません。

サウンド／表示

サウンドメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶
（サウンド）または「サウンド」

表示メニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶
（表示）または「表示」

着信音量を調節する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 1

設定項目／お買い上げ時 →P250

1. サウンドメニュー（P75）から「着信音量」▶ 次の調節する項目を選択 ▶ 設定後 iα ［完了］

着信音
音声電話の着信音量を調節します。

テレビ電話着信音
テレビ電話の着信音量を調節します。

メール着信音
メールの着信音量を調節します。

メッセージR着信音
メッセージRの着信音量を調節します。

メッセージF着信音
メッセージFの着信音量を調節します。

SMS着信音
SMSの着信音量を調節します。

お知らせ

・音声電話やテレビ電話を着信した場合は、最初は小さく鳴り、徐々に設定した音量で鳴ってお知らせします。

効果音音量を調節する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 2

設定項目／お買い上げ時 →P250

1. サウンドメニュー（P75）から「効果音音量」▶ 次の調節する項目を選択 ▶ 設定後 iα ［完了］

ボタン確認音
ボタン操作音の音量を調節します。

パワーオン／オフ時音
FOMA端末の電源をオンまたはオフにしたときの音量を調節します。

スライド音
FOMA端末を開閉したときの音量を調節します。

ポップアップ表示時音
ポップアップが表示されたときの音量を調節します。

着信音を設定する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 3

音声電話やテレビ電話、メールなどの着信音を設定します。あらかじめ登録されている着信音やメロディ以外にも、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したメロディやｉモーションも電話着信音に設定できます。設定できるのは、SMFファイル、MFiファイル、MP4ファイルです。

ただし、メロディやｉモーションによっては設定できないものがあります。

・お買い上げ時に登録されているメロディについては「メロディ一覧」（P267）を参照してください。

設定項目／お買い上げ時 →P251

1. サウンドメニュー（P75）から「着信音選択」▶次の設定する項目を選択▶設定後［iα］［完了］

・それぞれ「データBOX」の「メロディ」「ｉモーション」*内に保存されているメロディやｉモーション*から選択します。→P176、P179

＊：「着信音」「テレビ電話着信音」のみ

着信音※
音声電話の着信音を選択します。

テレビ電話着信音※
テレビ電話の着信音を選択します。

メール着信音
メールの着信音を選択します。

メッセージR着信音
メッセージRの着信音を選択します。

メッセージF着信音
メッセージFの着信音を選択します。

SMS着信音
SMSの着信音を選択します。

※：フォルダ一覧画面で［CLEAR/◀］を押して「メロディ」と「ｉモーション」の切り替えができます。

お知らせ

・音声電話／テレビ電話／メール着信音の設定の優先順位は次のとおりです。
　① FOMA端末電話帳で設定した着信音
　　→「電話帳に登録する」（P64）
　② FOMA端末電話帳のグループに設定した着信音
　　→「グループを設定する」（P71）
　③「着信音選択」で設定した着信音→左記

効果音を設定する

［■］▶ （サウンド）▶［4］

設定項目／お買い上げ時 →P251

1. サウンドメニュー（P75）から「効果音選択」▶次の設定する項目を選択▶設定後［iα］［完了］

ボタン確認音
ボタン操作時の効果音を設定します。「日本語」「英語」「韓国語」に設定すると、電話番号入力画面（P48）で入力した数字を読み上げます。「OFF」に設定すると、ボタン確認音は鳴りません。

パワーオン／オフ時音
FOMA端末の電源オン／オフ時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

スライド音
FOMA端末の開閉時の効果音を設定します。

ポップアップ表示時音
ポップアップが表示されたときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。

バイブレータを設定する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 5

設定項目／お買い上げ時 →P251

1. サウンドメニュー（P75）から「バイブレータ設定」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [完了]

音声／テレビ電話
音声電話、テレビ電話を着信したときの振動パターンを設定します。

－**メロディ＋バイブ**：バイブレータが振動し、「着信音量」で設定した音量で着信音が鳴ります。

－**パターン1（バイブのみ）**：パターン1で振動します。「着信音量」の設定に関わらず着信音が鳴らなくなります。

－**パターン2（バイブのみ）**：パターン2で振動します。「着信音量」の設定に関わらず着信音が鳴らなくなります。

－**OFF**：FOMA端末は振動しません。

メール／メッセージ
メール、メッセージR/F、SMSを受信したときの振動パターンを設定します。

－**メロディ＋バイブ**：バイブレータが振動し、「着信音量」で設定した音量で着信音が鳴ります。

－**パターン1（バイブのみ）**：パターン1で振動します。「着信音量」の設定に関わらず着信音が鳴らなくなります。

－**パターン2（バイブのみ）**：パターン2で振動します。「着信音量」の設定に関わらず着信音が鳴らなくなります。

－**OFF**：FOMA端末は振動しません。

マナーモードを設定する

周囲に迷惑がかからないように、着信音やボタン確認音、アラーム音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定します。設定すると、着信やアラームなどをバイブレータでお知らせします。
・マナーモード設定中の動作は「オリジナルマナーモード」で変更できます。→P79

1. 待受画面で # を1秒以上
・FOMA端末本体が振動し、（ピンク／マナーモード）または（青／オリジナルマナーモード）が表示されます。
・マナーモードが設定されている状態で # を1秒以上押すと解除されます。

マナーモードを変更する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 6

マナーモードに設定したときの動作を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P251、P252

1. サウンドメニュー（P75）から「マナーモード設定」 ▶ 次の設定する項目を選択

マナーモード
マナーモードに設定します。

オリジナルマナーモード
オリジナルマナーモードの動作をお好みで設定します。設定後は iα ［完了］を押してください。

－**音声／テレビ電話着信音**：音声電話、テレビ電話を着信したときに着信音を鳴らすかどうかを設定します。

－**音声／テレビ電話バイブ**：音声電話、テレビ電話を着信したときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

－**メール／メッセージ着信音**：メール、メッセージR/F、SMSを受信したときに着信音を鳴らすかどうかを設定します。

－**メール／メッセージバイブ**：メール、メッセージR/F、SMSを受信したときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

－**ボタン確認音**：ボタン操作をしたときにボタン操作音を鳴らすかどうかを設定します。

－**スライド音**：FOMA端末を開閉したときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。

－**電池アラーム音**：電池が切れたときに電池アラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

お知らせ

・マナーモード設定中でも、次の音は鳴ります。
　－カメラ撮影時のシャッター音
　－再接続機能のアラーム音
　－通話品質アラームのアラーム音
・マナーモード設定中に、メロディや動画／iモーションなどを再生しようとすると、確認画面が表示され、音声付きで再生するかどうかを選択することができます。

メール着信時の鳴動動作を設定する

■ ▶ サウンド（サウンド） ▶ 7

メールやSMSを受信したときに着信音を鳴らすかどうかを設定します。着信音を鳴らす時間や回数を設定することもできます。

設定項目／お買い上げ時 →P252

1. サウンドメニュー（P75）から「メール鳴動設定」 ▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 iα ［完了］

メール鳴動設定
メール着信音を鳴らすかどうかを設定します。「ON」に設定したときは、着信音を鳴らす時間や回数を設定します。

メール着信鳴動時間
着信音の鳴動時間や回数を設定します。

－**時間**：[□]を押して「秒」欄を選択して鳴動時間を入力します。

－**回数**：[□]を押して「回」欄を選択して鳴動する回数を入力します。

呼出動作開始時間を設定する

[■] ▶ (サウンド) ▶ [8]

電話帳に電話番号が登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話、テレビ電話がかかってきても、すぐに着信音を鳴らさずに無音でいる秒数を設定します。すぐに切れてしまう迷惑電話（ワン切り）が多いときなどに便利な設定です。

設定項目／お買い上げ時 →P252

1. サウンドメニュー（P75）から「呼出動作開始時間設定」▶ 呼出時間を入力 ▶ [iα]［完了］

お知らせ

・電話帳に電話番号が登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手からの音声電話やテレビ電話の着信が設定した時間内に切れた場合は、着信履歴に記録されません。

画面を設定する

待受画面や発着信時画面の表示を設定します。設定できるのは、画像サイズが1280×1024ドット、ファイルサイズがJPEGファイルは700Kバイトまで、GIFファイルは500Kバイトまでの画像になります。ただし、画像によっては設定できないものがあります。

・お買い上げ時に登録されている待受、発信、着信画面の画像については「お買い上げ時に登録されているデータ」（P264）を参照してください。

待受画面を設定する

待受画面の壁紙と時計表示を設定します。

壁紙

[■] ▶ (表示) ▶ [1][1]

設定項目／お買い上げ時 →P252

1. 表示メニュー（P75）から「待受画面」▶「壁紙」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後[iα]［完了］

タイプ

－**画像**：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像（P169）を「選択」で選択します。

－**待受テーマ**：2種類の待受テーマを「選択」で選択します。

選択
「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像、または待受テーマを選択します。
・「画像」の設定内容により、選択内容が切り替わります。

時計／カレンダー表示

（表示）▶ 1 2

・「壁紙」（P80）の「タイプ」を「待受テーマ」にしている場合は設定できません。

設定項目／お買い上げ時 →P252

1. 表示メニュー（P75）から「待受画面」▶「時計／カレンダー表示」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後［完了］

時計／カレンダー
－**表示しない**：待受画面に時計表示しません。
－**時計**：待受画面にデジタル時計を表示します。「時計表示設定」で時計の種類を選択します。
－**カレンダー＋時計表示**：待受画面にカレンダーと時計を表示します。「時計文字色」で時計の文字色を選択します。
－**デュアルクロック**：待受画面に2つの都市と日時を表示します。下に表示される2つめの時計の都市※を「都市設定」で選択します。

時計表示設定／時計文字色／都市設定
デジタル時計の種類、または時計の文字色、都市を選択します。
・「時計／カレンダー」の設定内容により、選択内容が切り替わります。
・「時計表示設定」で「デジタル時計3」を選択した場合は、「時計文字色」も選択できます。

※：表示する都市は、「世界時計」（P191）でも変更できます。

お知らせ

・［表示］を押すと、設定後の画面を確認できます。

待受メモ

（表示）▶ 1 3

設定項目／お買い上げ時 →P252

1. 表示メニュー（P75）から「待受画面」▶「待受メモ」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後［完了］

画面表示
待受画面に待受メモを表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、以下の項目が設定できません。

次のページへ続く

配置
待受メモの表示位置などを設定します。

フォントカラー
待受メモの文字の色を設定します。

文字枠色
待受メモの文字枠の色を設定します。

背景色
待受メモの背景の色を設定します。

お知らせ

・待受メモとして待受画面に表示する文章は「待受メモ」（P198）で登録してください。登録が1件もない場合は、「表示する」に設定しても表示されません。

電話着信時の画面を設定する

■ ▶ （表示） ▶ 2 1

電話がかかってきたときに表示される画像を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「発着信画面」▶「着信画面」

・「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P169

電話発信時の画面を設定する

■ ▶ （表示） ▶ 2 2

電話をかけたときに表示される画像を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「発着信画面」▶「発信画面」

・「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P169

ダイヤル文字のフォントを設定する

■ ▶ （表示） ▶ 3

電話をかけるときなどに表示されるダイヤル文字のサイズと文字色を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「フォント」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 iα ［完了］

ダイヤル表示サイズ
ダイヤル文字のサイズを設定します。

ダイヤル表示色
ダイヤル文字の色を設定します。

サウンド／表示

メニュー画面を設定する

■ ▶ [表示アイコン]（表示） ▶ 4

待受画面で■［メニュー］を押して表示されるメニュー画面のスタイルを設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「メニュー画面」▶「ピクチャ表示」／「リスト表示」▶ [iα]［完了］

バックライトを設定する

■ ▶ [表示アイコン]（表示） ▶ 5

待受画面が点灯する時間を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「バックライト」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後[iα]［完了］

点灯時間
待受画面の照明の点灯時間を設定します。

明るさ
待受画面の照明の明るさを設定します。

配色パターンを設定する

■ ▶ [表示アイコン]（表示） ▶ 6

待受画面の色調を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

1. 表示メニュー（P75）から「配色パターン」▶ 設定したい配色パターンを選択 ▶ [iα]［完了］

お知らせ

・■［表示］を押すと、設定後の画面を確認できます。

設定

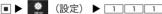
設定メニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶
（設定）または「設定」

通話／応答の設定を行う

通話／メール履歴を確認する

着信履歴を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 1 1 1

かかってきた電話の履歴を表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「通話／メール履歴」▶「着信履歴」

選択中の履歴の相手が電話帳に登録されている場合は、を押して登録内容を確認できます。

＜着信履歴画面＞

マーク	説　明
	音声電話の着信
	テレビ電話の着信
	着信拒否
	不在着信（音声電話）
	不在着信（テレビ電話）

・／：選択中の履歴の相手に電話をかけます。
・［削除］：選択中の履歴を削除します。

2. 履歴を選択 ▶ ■

選択中の履歴が不在着信の場合は、［呼出時間］が表示されます。

＜詳細画面＞

・／：表示中の履歴の相手に電話をかけます。
・［削除］：表示中の履歴を削除します。
・：前後の履歴を表示します。

着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する

1. 着信履歴画面（左記）／詳細画面（上記）で［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

表示※1
選択中の履歴の詳細を表示します。

電話帳登録※2
選択中／表示中の履歴の電話番号を電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

メール作成※3
電話帳に登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

1件削除
選択中／表示中の履歴を削除します。

全件削除※1
履歴をすべて削除します。

リストへ移動※4
着信履歴画面（P86）に戻ります。

国際電話（日本）※5
選択中の電話番号で日本に電話をかけます。→P233

※1：詳細画面のサブメニューでは利用できません。
※2：選択中／表示中の履歴の相手の電話番号が既に電話帳に登録されている場合は利用できません。
※3：着信履歴画面でメール作成を行う場合、画面下に表示される電話番号およびメールアドレスでカーソルが当たっている方が宛先に入力されます。詳細画面でメール作成を行う場合は、電話帳に登録されているメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、メールアドレスが登録されていない場合は、電話番号が宛先に入力されます。
※4：詳細画面のサブメニューで利用できます。
※5：海外ローミングサービス中のみ利用できます。

発信履歴を表示する

■ ▶ 設定（設定） ▶ 1 1 2

かけた電話の履歴を表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「通話／メール履歴」▶「発信履歴」
・発信履歴画面が表示されます。

マーク	説　明
	音声電話の発信
	テレビ電話の発信

2. 履歴を選択 ▶ ■
・詳細画面が表示されます。

お知らせ

・画面の操作方法や、発信履歴画面／詳細画面から利用できるサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。
・待受画面で を押して表示するリダイヤル画面も同様の操作になります。

すべての履歴を表示する

■ ▶ 設定（設定） ▶ 1 1 3

着信履歴と発信履歴をまとめて表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「通話／メール履歴」▶「全履歴」
・全履歴画面が表示されます。

設定

次のページへ続く

2. 履歴を選択 ▶ ■
・詳細画面が表示されます。

お知らせ
・画面の操作方法や、全履歴画面／詳細画面から利用できるサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。

受信メール履歴を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 1 1 4

受信したメールの履歴を表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」 ▶ 「通話／メール履歴」 ▶ 「受信メール履歴」
・受信したメールの履歴が表示されます。

2. 履歴を選択 ▶ ■
・詳細画面が表示されます。

お知らせ
・画面の操作方法や、受信メール履歴画面／詳細画面から利用できるサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。ただし、「国際電話（日本）」は表示されません。

送信メール履歴を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 1 1 5

送信したメールの履歴を表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」 ▶ 「通話／メール履歴」 ▶ 「送信メール履歴」
・送信したメールの履歴が表示されます。

2. 履歴を選択 ▶ ■
・詳細画面が表示されます。

お知らせ
・画面の操作方法や、送信メール履歴画面／詳細画面から利用できるサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。ただし、「国際電話（日本）」は表示されません。

すべてのメール履歴を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 1 1 6

受信したメールと送信したメールの履歴をまとめて表示します。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」 ▶ 「通話／メール履歴」 ▶ 「全メール履歴」
・全メールの履歴が表示されます。

2. 履歴を選択 ▶ ■
・詳細画面が表示されます。

お知らせ

・画面の操作方法や、全メール履歴画面／詳細画面から利用できるサブメニューについては、「着信履歴画面／詳細画面のサブメニューを利用する」（P86）を参照してください。ただし、「国際電話（日本）」は表示されません。

通話時間を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 1 2

通話の種類ごとに通話時間を確認できます。確認できる項目は次のとおりです。

・表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「通話時間表示」

・通話時間表示画面が表示されます。

直前通話時間
最後に通話した電話の通話時間が表示されます。

積算通話時間（着信）
かかってきた電話で通話したときの通話時間が表示されます。

積算通話時間（発信）
電話をかけて通話したときの通話時間が表示されます。

全積算通話時間
通話時間の合計が表示されます。

お知らせ

・通話時間表示は「9999999：59：59」を超えると、「0000000：00：00」に戻ります。

通話時間をリセットする

1. 通話時間表示画面でクリアする通話時間を選択 ▶ [リセット] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ■ ▶「はい」

・すべての通話時間をクリアする場合は、✉［メニュー］→「オールリセット」を選択します。

イヤホン自動応答を設定する

■ ▶ （設定） ▶ 1 3

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続中に電話の着信があったときの応答動作を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P253

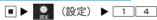
1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「イヤホン自動応答」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 ［完了］

イヤホン自動応答
イヤホンで自動応答するかどうかを設定します。

イヤホン自動応答時間（0-120秒）
電話を着信してから自動で応答するまでの時間を設定します。

お知らせ

・電話番号表示中／電話帳などを選択中にスイッチを押すと電話をかけることができます。
・着信中にスイッチを押すと相手と電話がつながります。
・通話中にスイッチを1秒以上押すと通話を終了します。
・着信中にスイッチを1秒以上押すと着信拒否となります。

着信を拒否／許可するように設定する

電話の着信を拒否するように設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「着信拒否／許可」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ■

・着信拒否／許可画面が表示されます。

2. 次の設定する項目を選択

許可
電話を着信したときは、常に許可します。

リスト指定着信拒否
特定の相手からの着信を拒否します。iα［リスト］を押して拒否動作と、拒否する相手の電話番号を設定（右記）します。

全着信拒否
－**ミュート**：電話を着信したときは、常に着信音を鳴らしません。
－**非接続**：電話を着信したときは、常に着信拒否します。

電話帳登録外拒否
電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手からの電話の着信を拒否します。

お知らせ

・「リスト指定着信拒否」「全着信拒否」「電話帳登録外拒否」で着信を拒否した場合でも、着信履歴が残ります。

着信拒否リストを設定する

1. 着信拒否／許可画面で「リスト指定着信拒否」を選択 ▶ iα［リスト］

・リスト指定着信拒否画面が表示されます。

マーク	説　明
（ミュートマーク）	「着信拒否動作」を「ミュート」に設定
（非接続マーク）	「着信拒否動作」を「非接続」に設定

・✉［メニュー］：設定したリストを編集または1件削除します。

2. iα［追加］▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 iα［完了］

着信拒否動作
－**ミュート**：「着信拒否番号」に設定した相手からの電話を着信したときは、着信音を鳴らしません。

－**非接続**：「着信拒否番号」に設定した相手からの電話を着信したときは、着信を拒否します。

着信拒否番号
電話を受けたくない相手の電話番号を入力します。■［検索］※を押すと電話帳から電話番号を選択できます。

※：リスト指定着信拒否画面から✉［メニュー］→「編集」で編集している場合は利用できません。

応答方法を設定する

■ ▶ （設定）▶ 1 5

音声電話がかかってきたときに☎以外のボタンを押して電話を受けられるように設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「通話／応答」▶「応答設定」▶ 次の設定する項目を選択

スライドアンサー
FOMA端末を開くことで電話を受けられます。既に開いていた場合は☎で電話を受けられます。

エニーキーアンサー
✉、iα、☎、▲|▼、◘を除くボタンを押して電話を受けられます。

通話ボタンアンサー
☎のみで電話を受けられます。

お知らせ

・本設定はテレビ電話には無効です。

通話機能の設定を行う

再接続機能を設定する

■ ▶ （設定） ▶ 2 1

電波の状態が悪くなり通話が一時的に途切れたときに、再接続するまでのアラームを設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「再接続機能」▶ 次の設定する項目を選択

アラーム高音
高音のアラームを鳴らします。

アラーム低音
低音のアラームを鳴らします。

アラームなし
アラームを鳴らしません。

お知らせ

- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間（最長10秒）は異なります。
- 再接続されるまでの時間も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

品質アラームを設定する

■ ▶ （設定） ▶ 2 2

電波の状態が悪くなり通話が途切れそうになったときに、アラームでお知らせするように設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「通話品質アラーム」▶ 次の設定する項目を選択

アラーム高音
高音のアラームを鳴らします。

アラーム低音
低音のアラームを鳴らします。

アラームなし
アラームを鳴らしません。

通話時間通知を設定する

■ ▶ （設定） ▶ 2 3

音声通話中、約1分ごとに音を鳴らし、時間の経過を知らせます。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「通話時間通知」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 本設定はテレビ電話には無効です。

プレフィックス設定を行う

■ ▶ 設定（設定） ▶ 2 4

国際アクセス番号や「184」「186」などの電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号を登録します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. **設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「プレフィックス設定」**
   ・プレフィックス設定画面が表示されます。
2. **入力するプレフィックス欄を選択 ▶ 番号を入力 ▶ iα［完了］**

国際ダイヤルを設定する

自動付加設定をする

■ ▶ 設定（設定） ▶ 2 5 1

国際電話をかけるとき、電話番号の先頭に入力した「＋」を自動的に「009130010」などの国際アクセス番号に置き換えるかどうかを設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. **設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「国際ダイヤル設定」▶「自動付加設定」▶「自動」／「付加なし」**

国際電話設定をする

■ ▶ 設定（設定） ▶ 2 5 2

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. **設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「国際ダイヤル設定」▶「国際電話設定」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 iα［完了］**

名称
国際電話サービスの名称を入力します。

番号
国際アクセス番号を入力します。

通話中クローズを設定する

■ ▶ 設定（設定） ▶ 2 6

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. **設定メニュー（P85）から「通話機能」▶「通話中クローズ設定」▶ 次の設定する項目を選択**

通話終了
電話を切ります。

次のページへ続く

継続
通話を継続します。

テレビ電話の設定を行う

テレビ電話の操作や表示に関する設定をします。

テレビ電話設定を行う

■ ▶ （設定）▶ 3 1

テレビ電話をかけたときの動作や、画面の表示方法について設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P254

1. 設定メニュー（P85）から「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後［完了］

音声自動再発信
相手がテレビ電話を受けられないとき、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけ直すかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定
通話中画面の表示方法を設定します。
－**両方**：相手と自分の画像を表示します。
－**相手画像**：相手の画像のみ表示します。
－**自画像**：自分の画像のみ表示します。

子画面表示
「テレビ電話画面設定」を「両方」にしたときに、それぞれの画面に表示する画像を設定します。
－**自画像**：子画面に自分、親画面に相手の画像を表示します。
－**相手画像**：子画面に相手、親画面に自分の画像を表示します。

発信時自画像送信
相手に自分の映像を送信するかどうかを設定します。「OFF」に設定すると、相手には代替画像が送信されます。

送信画質設定
－**画質優先**：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
－**標準**：画質、動きともに標準で送信します。
－**動き優先**：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

照明設定
－**常時点灯**：通話中は常に点灯します。
－**端末設定に従う**：「バックライト」の設定内容に従います。→P83

テレビ電話ハンズフリー設定
テレビ電話通話でハンズフリーをできるようにするかどうかを設定します。

テレビ電話の画像を選択する

代替画像を変更する

■ ▶ [設定アイコン]（設定）▶ 3 2 1

テレビ電話通話中に自分の映像の代わりに送信する代替画像を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「テレビ電話」▶「テレビ電話画像選択」▶「代替画像」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [完了]

画像

－**標準画像**：お買い上げ時の画像です。

－**選択画像**：標準以外の画像を「画像一覧」で選択します。

画像一覧

「画像」を「選択画像」に設定した場合の画像を選択します。「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P169

応答保留画像を変更する

■ ▶ [設定アイコン]（設定）▶ 3 2 2

テレビ電話の応答保留中に表示する画像を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「テレビ電話」▶「テレビ電話画像選択」▶「応答保留画像」

- 以降の操作は、「代替画像を変更する」（左記）を参照してください。

保留画像を変更する

■ ▶ [設定アイコン]（設定）▶ 3 2 3

テレビ電話の保留中に表示する画像を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「テレビ電話」▶「テレビ電話画像選択」▶「保留画像」

- 以降の操作は、「代替画像を変更する」（左記）を参照してください。

日付／時刻の設定を行う

時刻を設定する

 ▶ （設定）▶ 4 1

「世界時計」（P191）で「ホーム設定」に設定している都市（お買い上げ時は東京）の時刻を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

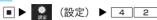
1. 設定メニュー（P85）から「日付／時刻設定」▶「時刻設定」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [iα]［完了］

時刻設定
[◀▶] を押して入力項目（時、分、秒、am／pm※）を選択し、ダイヤルボタンで入力します。am／pm※は[■]を押すたびに切り替わります。

時刻表示形式
時刻表示を12時間制で表示するか、24時間制で表示するかを設定します。

時刻お知らせ
毎正時（00分）に合わせて音を鳴らすかどうかを設定します。鳴らす音を設定すれば、その音で鳴ります。鳴らさないときは「OFF」に設定します。

※：「時刻表示形式」を「12時間表示」にした場合に表示されます。

日付を設定する

日付を設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「日付／時刻設定」▶「日付設定」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [iα]［完了］

日付設定
[◀▶] を押して入力項目（年、月、日）を選択し、ダイヤルボタンで入力します。

日付表示形式
日付の表示形式（「DD/MM/YYYY」「MM/DD/YYYY」「YYYY/MM/DD」）※を選択します。

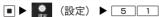
※：YYYYは年、MMは月、DDは日付を表しています。

お知らせ

・「日付設定」に設定できる日付は、2000年1月1日から2099年12月31日までです。

ネットワークの設定を行う（海外利用）

ネットワークサーチ設定をする

（設定）▶ 5 1

海外で利用するときに、接続先のネットワーク（通信事業者）が切り替わった場合のネットワークの設定方法を選択します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「ネットワーク」▶「ネットワークサーチ設定」▶ 次の設定する項目を選択

自動
ネットワークを自動的に検索して設定します。

手動
ネットワークの検索画面が表示され、検索後に一覧表示されるネットワークを選択して設定します。

お知らせ

・ネットワークの検索には時間がかかる場合があります。
・「自動」に設定した場合は、次の状態になると自動でネットワークを検索します。
　－電源をONにしたとき　－圏外になったとき
・「手動」でネットワークを検索中に検索を中止すると、設定は「自動」に変更されます。

ネットワークモードを設定する

■ ▶ （設定）▶ 5 2

「ネットワークサーチ設定」の設定に従ってネットワークが検索されたとき、検索するネットワークの種類を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「ネットワーク」▶「3G/GSM切替」▶ 次の設定する項目を選択

自動
接続できるすべてのネットワークを検索します。

3G
3Gに対応したネットワークのみを検索します。

GSM/GPRS
GSM/GPRSに対応したネットワークのみを検索します。

お知らせ

・GSMネットワーク内でも、GPRSに対応していない場合はパケット通信を行うことができません。
・日本国内、または3Gネットワーク利用可能エリア内においては、電池消費を減らすために、「3G/GSM切替」設定を「3G」に設定することを推奨します。

優先的に接続するネットワークを登録する

■ ▶ （設定） ▶ 5 3

優先ネットワークを設定する

ネットワークを自動で検索する場合に優先的に接続するネットワーク（通信事業者）を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」

・FOMAカードに登録されているネットワークが優先度の高いものから順に、上から表示されます。

・ ［削除］：選択中のネットワークを削除します。

2. ［メニュー］ ▶ 次の設定する項目を選択

新規追加

－**ネットワーク検索**：FOMA端末に登録されているネットワーク一覧から選択して登録します。

－**新規ネットワーク**：「国番号（MCC）」と「ネットワーク番号（MNC）」を入力して登録します。設定後は ［完了］を押してください。

削除

選択中のネットワークを削除します。

上へ移動※

選択中のネットワークを上に移動します。ネットワークの優先順位が高くなります。

下へ移動※

選択中のネットワークを下に移動します。ネットワークの優先順位が低くなります。

※：登録されているネットワークが複数ある場合に利用できます。

お知らせ

・ネットワークが1件も登録されていない場合は、優先ネットワーク設定画面のソフトキーエリアに［メニュー］［削除］は表示されません。ネットワークを登録するには ［追加］を押し、ネットワークを選択して登録します。

・登録したデータはFOMAカードに保存されます。

ネットワーク名を表示する

■ ▶ （設定） ▶ 5 4

待受画面に、現在設定されているネットワーク名を表示するかどうかを設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「ネットワーク」▶「ネットワーク名表示」▶「ON」／「OFF」

ｉモードから接続先を変更する

接続先を設定／変更する

（設定）

※通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外の各種プロバイダのサービスをご利用になる場合に接続先を設定できます。接続先を変更した場合は、ｉモードをご利用できなくなります。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「接続先選択」▶接続先選択画面で[iα]［追加］▶端末暗証番号を入力▶[■]▶次の設定する項目を選択▶設定後[iα]［完了］

・設定後は接続先選択画面に設定した接続先が表示され、✔がつきます。

接続先名称
接続先選択画面で表示される名前を入力します。

接続先アドレス
接続先のアドレスを入力します。

接続先
接続先を入力します。

お知らせ

・接続先を「ｉモード」に戻す場合やその他の接続先に変更する場合は、接続先選択画面で「ｉモード」／その他の接続先を選択して[■]を押します。
・接続先選択画面で[✉]［メニュー］を押すと、設定した接続先を編集／削除／表示することができます。ただし、お買い上げ時に登録されている「ｉモード」は編集／削除することができません。
・「接続先アドレス」欄には、PDPタイプのIPアドレスを入力してください。

ロック／セキュリティの設定を行う

オールロックを設定する

FOMA端末をロックして、端末暗証番号を入力しないと操作できないようにします。設定中は待受画面に「オールロック」と表示されます。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー（P85）から「ロック／セキュリティ」▶「オールロック」▶次の設定する項目を選択

パワーオン
電源を入れたときにロックされるように設定します。設定には端末暗証番号の入力が必要になります。

即時
すぐにオールロックを設定します。設定には端末暗証番号の入力が必要になります。

次のページへ続く

ロック解除
オールロックを解除します。解除には端末暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

- オールロック中は、メールやメッセージR/Fを受信してもｉモードセンターに保存だけ行われ、オールロックを解除後、ｉモードセンターにメールまたはメッセージR／Fありのアイコンが表示されます。
- オールロック中は、SMSを受信してもSMSセンターに保存だけ行われ、オールロックを解除後、受信します。
- オールロック中はパソコンをつないだパケット通信はできません。
- オールロック中は、電話がかかってきても着信動作はされず、話中音がながれます。オールロック解除後、不在着信として表示されます。
- オールロック中はアラーム音は鳴らず、アイコンのみ表示されます。オールロック解除後、アラーム音が鳴ります。

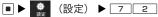
オールロックを解除する

1. [1]〜[0]のいずれかを押す ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [■]

- ロック中の画面で[iα]［緊急呼］：緊急通報（110／118／119）※に電話をかけることができます。（FOMAカード未挿入時を除く）
  ※：お使いのFOMAカードによって表示が異なる場合があります。

お知らせ

- 誤った端末暗証番号を5回連続して入力すると、自動的にFOMA端末の電源が切れます。再びFOMA端末に電源を入れると、端末暗証番号の入力ができます。

自動キーロックを設定する

FOMA端末を閉じてから設定した時間が過ぎると、ボタン操作を無効にして誤動作を防ぎます。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー（P85）から「ロック／セキュリティ」▶「自動キーロック設定」▶ 自動的にキーロックするまでの時間を選択 ▶ [■]

- 自動キーロックをかけたくない場合は、「OFF」に設定します。
- FOMA端末を閉じてから設定した時間が過ぎると、ソフトキーエリアに🔒が表示され、[▲▼][✉]を除く各ボタンがロックされます。

お知らせ

- 設定した時間に関係なく自動キーロックをかけたい場合は、待受画面（FOMA端末を閉じた状態）でCLEARを1秒以上押します。
- 待受画面以外の画面を表示中は、FOMA端末を閉じても自動キーロックはかかりません。
- 自動キーロック中でも、かかってきた電話を受けることができます。

自動キーロックを解除する

FOMA端末を開くと自動キーロックは解除されますが、閉じたままでも解除することができます。

1. またはメール［ロック解除］▶■

PINコードリクエストを設定する

■▶（設定）▶ 7 3

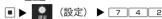
FOMA端末の電源を入れるたびに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー（P85）から「ロック／セキュリティ」▶「PINコードリクエスト」▶「ON」／「OFF」▶PIN1コードを入力▶■

パスワードを変更する

PIN1コード／PIN2コードを変更する

■▶（設定）▶ 7 4 2

PIN1コード／PIN2コードを変更します。PIN1コードを変更するには、「PINコードリクエスト」を「ON」に設定しておく必要があります。ご契約時には「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。

1. 設定メニュー（P85）から「ロック／セキュリティ」▶「パスワード変更」▶「PIN1コード」／「PIN2コード」

<PIN1コード変更画面>

2. 現在のPIN1コード／PIN2コードを入力 ▶ ■
3. 新しいPIN1コード／PIN2コードを入力 ▶ ■
4. 操作3で入力したコードをもう一度入力 ▶ ■

お知らせ

・PINコード入力を3回連続で間違えると、PINコードが自動的にロックされますのでご注意ください。PINロックの解除については「PINロック解除コード」(P107)を参照してください。

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号を変更します。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー(P85)から「ロック／セキュリティ」▶「パスワード変更」▶「端末暗証番号」
   - 以降PIN1コード／PIN2コード変更の操作(P101)と同様に、現在の端末暗証番号を入力し、新しい端末暗証番号と確認用にもう一度番号を入力します。

バイリンガルを設定する

FOMA端末の表示言語を日本語または英語に切り替えることができます。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー(P85)から「Bilingual」▶「日本語」／「English」

お知らせ

・本設定内容はFOMA端末と差し込まれたFOMAカードに記憶されます。本設定内容が記憶されている別のFOMAカードを差し込んだ場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

その他の設定を行う

メモリーの状況を確認する

■ ▶ （設定） ▶ 9 1

FOMA端末本体やFOMAカードのメモリー状況を確認できます。

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「メモリー状況」▶ 次の項目を選択

データBOX
データBOX（「メロディ」「マイピクチャ」「ｉモーション」）の使用済み領域と空き領域（目安）を確認できます。

個人情報
個人情報（「電話帳」「スケジュール」「メモ」「日付カウンタ」）の使用済み領域と空き領域（目安）を確認できます。

FOMAカード（UIM）メモリー
FOMAカードメモリー（「電話帳」「SMS」）の使用済み領域と空き領域（目安）を確認できます。

設定をリセットする

メモリーをすべて削除する

■ ▶ （設定） ▶ 9 2 1

FOMA端末本体に記録されているすべてのデータを削除できます。

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「設定リセット」▶「メモリー全削除」▶ 次の項目を選択

・削除には端末暗証番号の入力が必要になります。

データBOX
データBOXに保存されているデータ（プリインストールデータ、保存されているｉアプリを除く）をすべて削除します。

個人情報
発着信履歴／スケジュール／メモ／電話帳（本体）／自局番号（お客様の電話番号を除く）データやアラーム設定をすべて削除します。

すべての設定をリセットする

■ ▶ （設定） ▶ 9 2 2

「ｉモード設定」「メール設定」を除くFOMA端末の各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「設定リセット」▶「設定リセット」▶「はい」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ■

お知らせ

・日付と時間がリセットされると、再生期間・再生期限が設定されているｉモーションや、ファイルによっては、表示または再生ができなくなります。

SMSセンターの設定を行う

■ ▶ (設定) ▶ 9 3

※通常は設定を変更する必要はありません。

利用するSMSセンターを変更できます。

設定項目／お買い上げ時 →P256

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「SMSセンター」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [完了]

SMSセンター

－**DoCoMo**：ドコモのSMSセンターを利用します。

－**その他**：他社のSMSセンターを利用します。

アドレス

「SMSセンター」を「その他」に設定した場合に、SMSセンターのアドレスを入力します。

スケジュールの休日設定をすべてリセットする

■ ▶ (設定) ▶ 9 4

FOMA端末のスケジュール（P194）に設定した休日設定をすべて元に戻すことができます。

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「休日リセット」▶「はい」

あんしん設定

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けてFOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

・ 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
・ 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。
・ ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
・ 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書の裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時には「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更方法については「端末暗証番号を変更する」（P102）を参照してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書の裏表紙の裏面を参照してください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うには4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

ｉモードパスワードは、ご契約時には「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから変更する場合は「ｉモードパスワードを変更する」（P138）を参照してください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード／PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時には「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更方法については「PINコードリクエストを設定する」（P101）「PIN1コード／PIN2コードを変更する」（P101）を参照してください。

■PIN1コード

第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

■PIN2コード

積算通話料金リセット、ユーザ証明書の利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

※ 本FOMA端末にはPIN2コードを利用する機能はありません。

お知らせ

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定したPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。
- 誤ったPIN1／PIN2コードを3回連続して入力すると、PINコードが自動的にロックされます。解除するには、PINロック解除コードの入力が必要になります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード／PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。その場合は、ご利用中のFOMAカード、ご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただくことが必要になりますので、ご注意ください。

携帯電話の操作や機能を制限する

FOMA端末には、FOMA端末に保存されている情報やデータなどを保護するために、携帯電話の操作や機能を制限するセキュリティ機能があります。

オールロックを設定する

FOMA端末をロックして、端末暗証番号を入力しないと操作できないようにします。設定方法については、「オールロックを設定する」(P99)を参照してください。

メールを無断で表示できないように設定する

メールメニューの受信・送信・未送信BOXにセキュリティを設定します。設定方法については「メールの設定を行う」の「表示」(P159)を参照してください。

その他のあんしん設定について

この章で紹介した以外にも、次のようなあんしん設定があります。

目　的	機能／サービス	参照先
迷惑電話を受けない	迷惑電話ストップサービス	P208
発信者番号を通知しない電話を受けない	番号通知お願いサービス	P209
FOMA端末のソフトウェアを更新する	ソフトウェア更新	P315
必要なメールだけを受信する	メール選択受信	P157
メールアドレスを変更／確認する	メールアドレス変更／確認	※
メール本文に特定のURLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策(URL付きメール拒否設定)	※
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否する	迷惑メール対策(受信／拒否設定)	※
指定したドメインからのメールを受信／拒否する	迷惑メール対策(受信／拒否設定)	※
指定したアドレスからのメールを受信／拒否する	迷惑メール対策(受信／拒否設定)	※
1日に1台のｉモード端末から大量のメールが送信されている場合に200通目以降のメールを拒否する	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	※
未承諾の広告メールを拒否する	未承諾広告※メール拒否	※
SMSを受信したくない	迷惑メール対策(SMS拒否設定)	※
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	※
災害時に安否情報を登録／確認する	ｉモード災害用伝言板サービス	※
メール機能を一時的に停止	メール機能停止	※
メール機能の設定状況確認	設定状況確認	※

※：『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

カメラ

カメラメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶

（カメラ）または「カメラ」

カメラを使用するにあたってのご注意

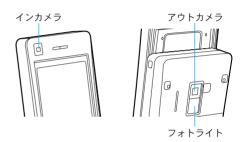
・レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
・レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色し映像が変色することがあります。
・FOMA端末を暖かい場所に長時間置いた後で撮影したり、画像を保存したりすると、画質が劣化することがあります。
・撮影の際、レンズを指などで覆わないでください。
・電池残量が少ないと、カメラを起動できない場合があります。
・速く動いている被写体を撮影すると、撮影した時にディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれる場合があります。
・手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマーを使用して撮影してください。
・撮影の際、手ぶれをおこしたり、動きの激しいものを撮影したりすると画像が乱れることがあります。
・直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、常時明るく見える点や線、暗く見える画素や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、若干粗く見えたり、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
・撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
・カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間使用したり、起動したまま放置したりしないでください。
・設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・盗撮防止のため、シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。また、FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取り付けている場合でも、スピーカからシャッター音が鳴ります。

著作権肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

> カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラの使いかた

撮影状況に合わせてインカメラとアウトカメラを切り替えて使います。カメラの切り替え方法について
→P114、P119

静止画を撮影する

■ ▶ (カメラ) ▶ 1

静止画を撮影できます。撮影した静止画はFOMA端末本体の「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダおよびその下位フォルダに保存することができます。保存先は「自動保存設定」(P120)で設定します。

次のページへ続く

カメラ

1. 待受画面で[key]

＜静止画撮影待機画面＞

・[key]／[key]：画像のズーム倍率を設定します。
・[key]：画像の明るさを設定します。
・[key]［アルバム］：「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダ内を表示します。
・[key]：インカメラとアウトカメラを切り替えます。

2. 被写体を確認し、[key]または[key]

＜静止画撮影終了画面＞

・[key]［メール］：撮影した画像を添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。
・[key]［OK］：静止画撮影待機画面に戻ります。
・[key]［メニュー］：サブメニューから削除などの操作ができます。→P115
・[CLEAR]：撮影した静止画を保存せずに静止画撮影待機画面に戻ります。

■「自動保存設定」（P120）をOFFに設定したときは

撮影直後に[key]［保存］を押してから、次の操作を行います。撮影した画像を保存しない場合は、[key]［キャンセル］を押します。

＜静止画保存画面＞

・[key]［保存］：保存するフォルダを決定した後、静止画撮影終了画面が表示されます。
・[key]［開く］：選択されているフォルダを開きます。
・[key]［メニュー］：サブメニューが表示されます。→P116

マルチショット撮影後の画面について

マルチショット（P114）を設定して複数の画像を撮影後、撮影した画像が一覧表示されます。

選択中のファイルサイズ

<マルチショット撮影終了画面>

- ■［表示］：選択中のファイルを表示してズームすることができます。
- iα［メール］：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。
- CLEAR/◀：静止画撮影待機画面に戻ります。

静止画撮影待機画面の表示について

- 静止画撮影の設定状況を表示します。

表示例	説　明	
📷	フォトモード（静止画撮影モード）	
SF　F　N ※1	ファイルサイズ選択	制限なし
100		100KB
9		9KB
SF	保存画質設定	スーパーファイン
F		ファイン
N		標準
Off	ライト	OFF
A		自動
		常時点灯
		撮影時
3 ～ 9 ※1	マルチショット	
3 ～ 10 ※1	セルフタイマー	
×1 ～ ×10 ※1	ズーム	
-2.0 ～ +2.0 ※1	明るさ	
1280x1024 ～ 80x96 ※1	サイズ	
169※2	撮影可能枚数	

※1：設定した値が表示されます。
※2：撮影可能枚数は、撮影の設定状況に応じて変わります。サイズを「128X96」、保存画質設定を「標準」に設定した場合の保存可能枚数の目安は、約8000枚です。

静止画撮影待機画面のサブメニューを利用する

静止画を撮影するための機能を設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P258

1. 静止画撮影待機画面（P112）で［メニュー］▶で次のサブメニュー項目を選択 ▶ 設定項目を選択 ▶ ▶ ［閉じる］

カメラ切替
インカメラとアウトカメラを切り替えます。
静止画撮影待機画面でを押しても切り替えられます。

サイズ
撮影サイズを設定します。

保存画質設定
撮影した静止画を保存するときの画質を設定します。

ライト
アウトカメラ使用時のフォトライトの点灯方法を設定します。

マルチショット
シャッターを押して連続で撮影できるように連続撮影回数を設定します。

ズーム
画像のズーム倍率を設定します。

明るさ
画像の明るさ（露出）を設定します。

ホワイトバランス
画像の色合いを補正できます。撮影画像が不自然な色合いのときに設定します。

ナイトモード
暗い場所などで撮影するときに設定します。

フレームショット
被写体にフレームを付けて撮影するときに設定します。「フレーム選択」を選択後、でフレームを選択→を押してください。

セルフタイマー
セルフタイマーを設定します。シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を選択します。
・撮影時は、撮影されるまでの秒数が画面上部に表示され、フォトライトが点滅（撮影1秒前は早く点滅）します。カウントダウン音は鳴りません。

撮影効果
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

ファイルサイズ選択
撮影した静止画を保存するときのサイズを制限します。

お知らせ

- 「サイズ」を「1280×1024」(アウトカメラ)「640×480」(インカメラ)に設定して撮影する場合は、ズームが利用できません。
- インカメラ使用時は「サイズ」を「1280×1024」には設定できません。また、「ライト」は設定できません。
- 「マルチショット」を設定すると「自動保存設定」をOFFに設定した場合でも、自動保存されます。
- 「マルチショット」を設定すると「サイズ」は自動的に「320×240」に変わります。「マルチショット」設定後は、「サイズ」の変更はできません。
- 「フレームショット」を設定すると、「サイズ」は自動的に「176×220」に変わります。「フレームショット」設定後は、「サイズ」の変更はできません。
- 「マルチショット」と「フレームショット」は同時に設定できません。
- 「ファイルサイズ選択」で設定したサイズで保存できない場合は、自動的に解像度を下げて保存します。
- 「ファイルサイズ選択」を「9KB」に設定した場合
  - 「保存画質設定」「マルチショット」「フレームショット」は設定できません。
  - 「サイズ」は「電話帳」「128×96」「176×144」のみ設定できます。
- 「ファイルサイズ選択」を「100KB」に設定した場合
  - 「保存画質設定」は設定できません。
  - 「サイズ」は「1280×1024」は設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフレーム画像については「お買い上げ時に登録されているデータ」の「フレーム」(P266)を参照してください。

静止画撮影終了画面のサブメニューを利用する

設定項目/お買い上げ時 →P259

1. 静止画撮影終了画面(P112)/マルチショット撮影終了画面(P113)で[✉][メニュー]▶次のサブメニュー項目を選択

写真撮影
静止画撮影画面に戻ります。

選択/解除※
マルチショットで撮影したファイルを選択して削除します。選択後は[✉][メニュー]→「削除」を選択してください。

－**選択**:ファイルを1件ずつ選択します。

－**全件選択**:すべてのファイルを選択します。

－**解除**:「選択」「全件選択」で選択したファイルを1件ずつ解除します。

－**全件解除**:「選択」「全件選択」で選択したすべてのファイルの選択を解除します。

メール作成
撮影した静止画を添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2(P152)に進みます。

削除(1件削除※)
撮影した静止画を削除します。

カメラ

壁紙に設定
待受画面の壁紙として設定します。

スライドショー※

－**開始**：マルチショットで撮影した静止画を順に表示します。

－**設定**：スライドショーの「表示方法」と「間隔（秒）」を設定します。設定後は[iα]［完了］を押してください。

アニメーション作成※
マルチショットで撮影したファイルを選択してアニメーションを作成します。選択後は[iα]［作成］を押してください。

並べ替え※
ファイルを並べ替えます。

表示※
ファイルの表示方法を変更します。

情報表示※
選択中のファイルの名前、サイズ、種類などを表示します。

※：マルチショット撮影後のみ表示されます。

静止画保存画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. 静止画保存画面（P112）で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

開く
選択中のフォルダを開きます。

現在のフォルダに保存
現在選択中のフォルダを保存先に決定した後、静止画撮影画面が表示されます。

新規フォルダ
フォルダを作成します。

フォルダ削除※
選択中のフォルダを削除します。

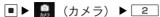
並べ替え
フォルダを並べ替えます。

表示
フォルダの表示方法を変更します。

メモリー情報
「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

フォルダ情報
選択中のフォルダの名前、サイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

※：お買い上げ時に登録されているフォルダでは利用できません。

動画を撮影する

動画を撮影できます。撮影した動画はFOMA端末本体の「データBOX」内「ｉモーション」の「カメラ」フォルダおよびその下位フォルダに保存することができます。保存先は「自動保存設定」（P120）で設定します。

1. 待受画面で を1秒以上

＜動画撮影待機画面＞

- ／ ：画像のズーム倍率を設定します。
- ：画像の明るさを設定します。
- ［アルバム］：「ｉモーション」の「カメラ」フォルダ内を表示します。
- ※：インカメラとアウトカメラを切り替えます。

※：動画撮影中は「カメラ切替」が利用できません。

2. 被写体を確認し、 または

＜動画撮影中画面＞

- ／ ：画像のズーム倍率を設定します。
- ：画像の明るさを設定します。
- CLEAR/ ：撮影中の動画を保存せずに動画撮影待機画面に戻ります。
- ［ストップ］／ ：撮影を終了し、操作3の画面が表示されます。

3. 撮影が終了する

＜動画撮影終了画面＞

カメラ

次のページへ続く

- [iα]［メール］：撮影した動画を添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。
- [■]［OK］：動画撮影待機画面に戻ります。
- [✉]［メニュー］：サブメニューから削除などの操作ができます。→P119
- [CLEAR/◀]：撮影した動画を保存せずに動画撮影待機画面に戻ります。

■「自動保存設定」（P120）をOFFに設定したときは

撮影直後に[■]［保存］を押してから、次の操作を行います。撮影した動画を保存しない場合は、[iα]［キャンセル］を押します。

＜動画保存画面＞

- [iα]［保存］：保存するフォルダを決定した後、動画撮影終了画面が表示されます。
- [■]［開く］：選択されているフォルダを開きます。
- [✉]［メニュー］：サブメニューが表示されます。→P120

動画撮影待機画面の表示について

表示例	説　明	
[ムービーモードアイコン]	ムービーモード（動画撮影モード）	
[メールアイコン]	録画時間（メール用）※	
[音声＋映像アイコン]	撮影種別	音声＋映像
[映像のみアイコン]		映像のみ
[音声のみアイコン]		音声のみ

・そのほかの表示については、「静止画撮影待機画面の表示について」（P113）を参照してください。

※：録画時間は最大30分まで設定可能です。
画質を「標準」、撮影種別を「音声＋映像」に設定した場合、合計録画時間の目安は約60分未満です。
保存可能な時間は、撮影の設定状況やメモリーの使用状況に応じて変わります。

動画撮影待機画面のサブメニューを利用する

動画を撮影するための機能を設定できます。

設定項目／お買い上げ時 →P259

1. 動画撮影待機画面（P117）で[✉]［メニュー］▶[✥]で次のサブメニュー項目を選択▶設定項目を選択▶[■]▶[iα]［閉じる］

カメラ切替
インカメラとアウトカメラを切り替えます。
動画撮影待機画面で[絵/記]を押しても切り替えられます。

保存画質設定
撮影した動画を保存するときの画質を設定します。

ライト
アウトカメラ使用時のライトの点灯方法を設定します。

ズーム
画像のズーム倍率を設定します。

明るさ
画像の明るさ（露出）を設定します。

ホワイトバランス
画像の色合いを補正できます。撮影画像が不自然な色合いのときに設定します。

ナイトモード
暗い場所などで撮影するときに設定します。

撮影効果
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

録画時間
動画の撮影時間を設定します。

撮影種別
動画を撮影するときの映像・音声の有無を設定します。

お知らせ

- 「録画時間」を「メール用」に設定した場合は、「保存画質設定」の設定により録画時間が変わります。
- インカメラ使用時は「ライト」を設定できません。

動画撮影終了画面のサブメニューを利用する

1. 動画撮影終了画面（P117）で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

ビデオ撮影
動画撮影待機画面に戻ります。

メール作成
撮影した動画を添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

削除
撮影した動画を削除します。

動画保存画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. 動画保存画面（P118）で［✉］［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

開く
選択中のフォルダを開きます。

現在のフォルダに保存
現在選択中のフォルダを保存先に決定した後、動画撮影終了画面が表示されます。

新規フォルダ
フォルダを作成します。

フォルダ削除※
選択中のフォルダを削除します。

並べ替え
フォルダを並べ替えます。

表示
フォルダの表示方法を変更します。

メモリー情報
「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

フォルダ情報
選択中のフォルダの名前、サイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

※：お買い上げ時に登録されているフォルダでは利用できません。

カメラを設定する

［■］▶［カメラ］（カメラ）▶［3］

静止画や動画を撮影するときのカメラの機能を設定できます。

1. カメラメニュー（P109）から「カメラ設定」▶ 次の設定する項目を選択

自動保存設定
撮影した静止画や動画を自動で保存するかどうかを設定します。［◙］でON／OFFを切り替えます。「ON」にした場合は、静止画と動画の保存先を設定します。設定後［iα］［完了］を押してください。

シャッター音
静止画像撮影時にシャッターを押したときの音を設定します。
・項目を選択するとサンプル音が鳴ります。

ちらつき調整
画面のちらつきを抑えるときに設定します。

お知らせ

・撮影環境や被写体の色合いなどによっては、「ちらつき調整」を設定しても、ちらつきが完全に消えない場合があります。

ｉモード

ｉﾓｰﾄﾞ
1 ｉMenu
2 Bookmark
3 画面ﾒﾓ
4 ﾗｽﾄURL
5 Internet
6 ﾒｯｾｰｼﾞ
7 ｉﾓｰﾄﾞ 問い合わせ
8 ｉﾓｰﾄﾞ 設定
選択

ｉモードメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶（ｉモード）または「ｉモード」

iモードメニューについて

各種サイトやインターネットホームページを見るときなどの基本画面です。iモードメニューからiモードの各機能を利用できます。

メニュー項目	内　容
iMenu	iモードセンターに接続します。
Bookmark	お気に入りのサイトやインターネットホームページを表示します。
画面メモ	FOMA端末に保存したサイトなどの画面を表示します。
ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します。
Internet	URLを入力してインターネットに接続します。
メッセージ	受信したメッセージR/Fの一覧を表示します。
iモード問い合わせ	iモードセンターにメール、メッセージR/Fが保管されていないかを問い合わせます。
iモード設定	iモードに関するFOMAの機能を設定します。

iモードとは

iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』に記載されているすべてのサービスには対応していません。『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』の各サービスの対応機種記載をご確認ください。

iMenu画面を表示する

■ ▶ iモード（iモード） ▶ 1

iMenuから各iモードサイトに接続できます。

1. iモードメニュー（P121）から「iMenu」

- iMenu画面に表示される項目については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 以降の操作については、「サイトを表示する」（P132）を参照してください。

ブックマークからサイトを表示する

[■] ▶ [iモード]（iモード）▶ [2]

ブックマークからお気に入りのサイトに直接接続します。

・ブックマークの登録方法については、「サイト画面のサブメニューを利用する」（P132）を参照してください。

1. iモードメニュー（P121）から「Bookmark」

＜Bookmark一覧画面＞

2. ブックマークを選択 ▶ [■]

・サイトに接続します。

Bookmark一覧画面のサブメニューを利用する

1. Bookmark一覧画面（上記）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

接続
選択中のブックマークのサイトに接続します。

ブックマーク編集
選択中のブックマークのタイトルとURLを編集します。編集後は[iα]［完了］を押してください。

削除
選択中のブックマークを削除します。

選択削除
複数のブックマークを選択して削除します。選択後は[✉]［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
登録されているすべてのブックマークを削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

URL表示
選択中のブックマークのURLを表示します。

URLコピー
選択中のブックマークのURLをコピーします。コピーについては、「コピー／切り取り／貼り付けを行う」（P225）を参照してください。

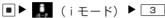
iモードメール作成
選択中のブックマークのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。「iモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

赤外線1件送信
選択中のブックマークを赤外線で送信します。※

赤外線全件送信
登録されているすべてのブックマークを赤外線で送信します。※

※：赤外線送信については「赤外線通信を利用する」（P186）を参照してください。

画面メモを表示する

（iモード）▶ 3

iモードに接続せずに保存したサイト画面を表示します。

・サイト画面の保存方法については、「サイト画面のサブメニューを利用する」（P132）を参照してください。

1. iモードメニュー（P121）から「画面メモ」

＜画面メモ一覧画面＞

マーク	説　明
	保護されていない画面メモ
	保護されている画面メモ

2. 画面メモを選択▶ ■

・画面メモ表示画面が表示されます。

画面メモ一覧画面のサブメニューを利用する

1. 画面メモ一覧画面（左記）で✉［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

表示
選択中の画面メモを表示します。

タイトル編集
選択中の画面メモのタイトルを編集します。

削除
選択中の画面メモを削除します。

選択削除
複数の画面メモを選択して削除します。選択後は✉［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
保存されているすべての画面メモを削除します。削除には端末暗証番号入力→■［OK］が必要となります。

URL表示
選択中の画面メモのURLを表示します。

保護／保護解除
選択中の画面メモを保護または保護解除します。保護された画面メモは削除できません。

画面メモ表示画面のサブメニューを利用する

1. 画面メモ表示画面（P124）で［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

画像保存※1
画面メモに含まれている画像を選択して保存します。保存した画像は「データBOX」の「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダで確認できます。→P169

詳細表示

－**URL表示**：表示中の画面メモのURLを表示します。

－**ページ情報**：表示中の画面メモのページ情報を表示します。

－**証明書**※2：表示中の画面メモで使われている証明書を表示します。

リトライ※3
GIFアニメーションを最初から再生します。

タイトル編集
表示中の画面メモのタイトルを編集します。

削除
表示中の画面メモを削除します。

保護／保護解除
表示中の画面メモを保護または保護解除します。保護された画面メモは削除できません。

※1：表示中の画面メモに画像が含まれていない場合は利用できません。
※2：表示中の画面メモに証明書が使われていない場合は利用できません。
※3：表示中の画面メモにGIFアニメーションが含まれていない場合は利用できません。

ラストURLを使って表示する

■▶（ｉモード）▶4

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記録されます。「ラストURL」を使って最後に表示したサイトやインターネットホームページに接続します。

1. ｉモードメニュー（P121）から「ラストURL」▶［完了］

お知らせ

・ラストURL画面で■を押すと、ラストURLを編集できます。

インターネットホームページを表示する

■▶（ｉモード）▶5

URLを入力してｉモード対応のホームページに接続したり、これまでに表示したサイトの履歴から直接サイトに接続できます。

1. ｉモードメニュー（P121）から「Internet」▶次の項目を選択

次のページへ続く

URL入力
URLを入力してｉモード対応のインターネットホームページに接続します。入力後に[iα]［完了］を押すと接続できます。

URL履歴
URL履歴画面が表示され、これまでに表示したサイトのURL履歴を選択して直接サイトに接続します。

お知らせ

- 「URL入力」では半角で256文字まで入力できます。
- 「URL履歴」では履歴が50件まで記録されます。
- 接続するインターネットホームページによっては正しく表示されないことがあります。
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されないことがあります。

URL履歴画面のサブメニューを利用する

1. URL履歴画面で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

接続
選択中のURL履歴のサイトに接続します。

URL編集
選択中のURL履歴のURLを編集して接続します。

削除
選択中のURL履歴を削除します。

全削除
登録されているすべてのURL履歴を削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

ｉモードメール作成
選択中のURL履歴のURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

メッセージR/Fを表示する

[■]▶[iモード]（ｉモード）▶[6]

受信したメッセージR/Fを表示します。

- メッセージR：
  メッセージサービスを提供する各サイトで購読を申し込むと、自動的に届けられるメッセージです。
- メッセージF：
  オプション設定で受信設定※すると、通信料無料で届けられるメッセージです。設定方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※：2004年10月１日以降にFOMAサービスを新規契約された方は、初期設定が「受信する」になっています。

1. iモードメニュー（P121）から「メッセージ」▶「メッセージR」／「メッセージF」

受信日時※
件名

※：受信当日は時刻、当日以外は日付で表示します。

＜メッセージR/F一覧画面＞

・／：ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。

2. 表示するメッセージR/Fを選択▶

＜メッセージR/F表示画面＞

・：前後のメッセージR/Fを表示します。
・：画面単位でスクロールします。

お知らせ

・メッセージRを最大100件まで、メッセージFを最大50件まで保存できます。ただし、メッセージR/Fの内容により保存できる件数は少なくなります。
・受信したメッセージR/Fにメロディが付けられている場合は、表示するときに自動的に再生されます。

メッセージR/F一覧画面およびメッセージR/F表示画面のマークについて

マーク	説　明
／	未読のメッセージR/F
／	既読のメッセージR/F
	保護されているメッセージR/F
	ファイルが添付または貼り付けられたメッセージR/F
Sub	件名
	受信日時
	メロディが貼り付けられています。
	メロディが添付されています。
	画像が添付されています。
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルが添付されています。

メッセージR/F一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P260

1. メッセージR/F一覧画面（P127）で[✉][メニュー]▶次のサブメニュー項目を選択

削除
選択中のメッセージR/Fを削除します。

選択削除
複数のメッセージR/Fを選択して削除します。選択後は[✉]［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
すべてのメッセージR/Fを削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

保護／保護解除
選択中のメッセージR/Fを保護または保護解除します。保護されたメッセージR/Fは削除できません。

ソート
一覧画面に表示されるメッセージR/Fを並べ替えます。

フィルタ
一覧画面に表示されるメッセージR/Fの種類を変更します。

メッセージR/F表示画面のサブメニューを利用する

1. メッセージR/F表示画面（P127）で[✉][メニュー]▶次のサブメニュー項目を選択

削除
表示中のメッセージR/Fを削除します。

保護／保護解除
表示中のメッセージR/Fを保護または保護解除します。保護されたメッセージR/Fは削除できません。

電話帳登録※1
メッセージR/Fに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

添付ファイル保存※2
表示中のメッセージR/Fに添付されたメロディ（♪）または画像（▣）を保存します。保存したメロディまたは画像は「データBOX」の「メロディ」／「マイピクチャ」→「i モード」フォルダで確認できます。→P169、P179

※1：登録する電話番号やメールアドレスを選択してから操作してください。登録できる項目がない場合は利用できません。
※2：保存するファイルを選択してから操作してください。保存するファイルがない場合は利用できません。

メッセージR/Fを自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にメッセージR/Fが送られてきます。

1. メッセージRまたはメッセージFを受信する

・ R（白）または F（白）が表示されます。

2. 受信結果画面が表示される

・受信したメッセージR/Fをすぐに確認する場合は、「メッセージR」／「メッセージF」を選択して■を押します。

・ CLEAR/ ：受信する前の画面に戻ります。

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

■ ▶ （ｉモード） ▶ 7

圏外にいたり、電源を切っていたときにｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが届いているかどうかを問い合わせることができます。

1. 待受画面で［メール］を2秒以上

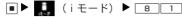
・問い合わせ結果画面が表示されます。受信したメッセージR/Fをすぐに確認する場合は、「メッセージR」／「メッセージF」を選択して■を押します。

お知らせ

・ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが保管されている場合は、マーク（P32）が表示されます。ただし、FOMA端末の電源が入っていないときなどにｉモードセンターに保管された場合は、マークが表示されないことがあります。

ｉモードの設定を行う

ｉモードやメッセージR/Fなどの設定をします。

ホーム

「ホーム」(P133) を選択したときに、表示するホームページのURLと「ホーム」の有効／無効を設定します。

設定項目／お買い上げ時 →P240

1. iモードメニュー(P121)から「iモード設定」▶「ホーム」

2.「有効」または「無効」

3. URL欄を選択▶■▶URLを入力▶■

・「◉無効」の場合、URLは入力できません。

4. [完了]

表示

■▶(iモード)▶ 8 2

サイトや画面メモの表示に関わる設定をします。

設定項目／お買い上げ時 →P240、P241

1. iモードメニュー(P121)から「iモード設定」▶「表示」▶次の設定する項目を選択▶設定後 [完了]

文字サイズ
サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文の文字サイズを設定します。

画像表示設定
サイトや画面メモに含まれる画像を表示するかどうかを設定します。※

スクロール
サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文を表示している画面で を押したときにスクロールする行数を設定します。

メッセージ一覧表示
メッセージR/F一覧画面の表示方法(行数)を設定します。

※:メッセージR/Fでは、本設定内容に関わらず画像が表示されます。

証明書

■▶(iモード)▶ 8 3

SSLに対応したサイトを表示するときに使用する証明書の設定をします。

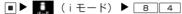
1. iモードメニュー(P121)から「iモード設定」▶「証明書」▶ [メニュー]▶次の設定する項目を選択

証明書参照
選択中の証明書を表示します。

有効／無効
選択中の証明書の有効／無効を設定します。
・証明書の状態は次のマークで確認できます。
:有効 :無効

お知らせ

・「有効／無効」を「無効」に設定すると、その証明書を持っているサイトは表示できなくなります。

その他

ｉモードの接続待ち時間や問い合わせ項目などを設定したり、ｉモード設定の設定内容などの確認もできます。

設定項目／お買い上げ時 →P241

1. ｉモードメニュー（P121）から「ｉモード設定」▶「その他」▶次の設定する項目を選択

接続待ち時間設定
サイトの内容を取得するまで、しばらく時間がかかることがあります。その場合に取得を中止するまでの時間を設定します。設定後は［完了］を押してください。

ｉモーション自動再生
サイトから標準タイプのｉモーションを取得したときに、自動再生するかどうかを設定します。設定後は［完了］を押してください。

ｉモード問い合わせ
「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる内容（メール／メッセージR／メッセージF）を設定します。設定後は［完了］を押してください。

ｉモード設定確認
「ｉモード設定」の各項目の設定状況を確認します。

ｉモード設定リセット
「ｉモード設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットには端末暗証番号入力→［OK］が必要となります。

ｉモードデータリセット
メッセージR/Fを除くすべてのｉモードデータ（ブックマークや画面メモ、URL履歴など）を削除します。リセットには端末暗証番号入力→［OK］が必要となります。

お知らせ

・「接続待ち時間設定」を「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

サイトを表示する

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。（別途申し込みが必要なことがあります）

1. iモードメニュー（P121）から「iMenu」

＜iMenu画面＞

- iモード通信中は画面上部の が点滅します。
- ：画面単位でスクロールします。
- ：iモードを終了できます。

2. 項目（リンク先）を選択▶

お知らせ

- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。ただし、サイトによっては接続できない場合があります。
- サイトによっては画像を表示できない場合があります。
- 接続先のサイトによっては、携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されることがあります。送信するお客様の携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイト画面のサブメニューを利用する

1. サイト画面（左記）で［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

ブックマーク登録
表示中のサイトのURLをブックマークに登録します。Bookmark画面（タイトルの編集ができます）が表示され、［完了］を押して登録します。登録したブックマークから直接サイトに接続できます。→P123

画面メモ保存
表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。保存した画面はiモードに接続せずに表示できます。→P124

画像保存※1
サイトに含まれている画像を選択して保存します。
→P136

詳細表示

－**URL表示**：表示中のサイトのURLを表示します。

－**ページ情報**：表示中のサイトのページ情報を表示します。

－**証明書**[※2]：表示中のサイトで使われている証明書を表示します。

ブックマーク一覧

「ブックマーク登録」したブックマークを一覧表示します。選択すると直接サイトに接続できます。

Internet

－**URL入力**：URLを入力してｉモード対応のホームページに接続します。入力後に[iα]［完了］を押すと接続できます。

－**URL履歴**：これまでに表示したサイトのURL履歴を選択して直接ホームページに接続します。

画面メモ一覧

「画面メモ保存」で保存した画面メモを一覧表示します。選択すると画面メモを表示できます。

ｉMenu

ｉMenu画面を表示します。

ホーム

「ホーム」登録（P130）したホームページを表示します。

再読み込み

サイトのデータを再読み込みします。サイトが更新されていれば、この操作をするたびにサイトの内容が最新の情報に更新されます。

ｉモードメール作成

表示中のサイトのURLまたは選択中のリンク先のURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

文字コード変換

文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換して表示します。

電話帳登録[※3]

サイトに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

リトライ[※4]

GIFアニメーションを最初から再生します。

※1：表示中のサイトに、保存できる画像が含まれていない場合や「画像表示設定」（P130）を表示しない設定にしている場合は利用できません。

※2：サイトで証明書が使われていない場合は利用できません。

※3：登録する電話番号やメールアドレスを選択してから操作してください。登録できる項目がない場合は利用できません。

※4：表示中のサイトに、GIFアニメーションが含まれていない場合は利用できません。

次のページへ続く

お知らせ

- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。
- 「文字コード変換」をしても正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、繰り返しても正しく表示されないことがあります。また、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 正しく表示されているときに「文字コード変換」をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

SSLサイトについて

SSLサイトとは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き換えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができるサイトです。

- SSLに対応したサイトを表示しようとすると、SSL通信開始メッセージが表示されます。SSLサイトを表示すると、 が表示されます。
- SSLサイトから通常のサイトへ移動するときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、通常のサイトが表示され、 が消えます。

サイトの見かたと操作

サイトで入力・選択する

サイト利用時には、文字を入力したり（テキストボックス）、複数の選択肢の中から項目を選択する（ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー）場合があります。

表示例	名　称	説　明
：非選択状態 ：選択状態	ラジオボタン	項目などの選択に使用します。1つの項目のみ選択できます。
：非選択状態 ：選択状態	チェックボックス	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
ID パスワード	テキストボックス	文字を入力できます。
東京 埼玉 神奈川	プルダウンメニュー	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選択すると、選択できる項目の一覧が表示されます。

取得済みのページに戻る／進む

FOMA端末では、直前に表示していたサイトの画面データを最新の画面から数画面記憶しています。

1. 前のページを表示させるときは▶□
次のページを表示させるときは□◀

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトやメール、メッセージR/Fなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を選択して電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりできます。

Phone To機能／AV Phone To機能

表示されている電話番号などの情報を選択して電話をかけます。

・サイトによってはPhone To／AV Phone To機能を利用できない場合があります。

1. 電話番号などの情報を選択▶■

2.「電話発信」／「テレビ電話発信」

・以降、画面に従って発信者番号通知などを設定して発信します。

お知らせ

・サイト画面に表示されている電話番号情報は、サイト画面のサブメニューから電話帳に登録することができます。

Mail To機能

表示されているメールアドレスなどの情報を選択してメールを送信します。

・サイトによってはMail To機能を利用できない場合があります。

1. メールアドレスなどの情報を選択▶■

・「iモードメールを作成する」の操作3（P152）に進みます。

お知らせ

・サイト画面に表示されているメールアドレス情報は、サイト画面のサブメニューから電話帳に登録することができます。

Web To機能

表示されているURLなどの情報を選択してサイトを表示します。

・サイトによってはWeb To機能を利用できない場合があります。

1. URLなどの情報を選択▶■

・接続するかどうかの確認画面が表示された場合はiα［はい］を押します。

ｉアプリTo機能

表示されているURL（リンク）を選択してｉアプリを起動します。

1. ｉアプリの情報を選択▶［■］▶［iα］［はい］

お知らせ

・「ｉアプリTo設定」(P164) を「許可しない」に設定している場合は、この方法でｉアプリの起動はできません。

サイトから画像をダウンロードする

表示中のサイト、画面メモから画像を保存します。保存した画像は「データBOX」の「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダ（P169）で確認できます。

1. サイト表示中／画面メモ表示画面▶［✉］［メニュー］▶「画像保存」▶［■］▶画像を選択▶［■］▶「はい」

お知らせ

・画像によっては保存できません。
・保存できる画像が含まれていない場合や「画像表示設定」(P130) を表示しない設定にしている場合は、「画像保存」を利用できません。

サイトからｉメロディをダウンロードする

サイトからメロディをダウンロードします。保存したメロディは「データBOX」の「メロディ」→「ｉモード」フォルダ（P179）で確認できます。

1. メロディダウンロードが可能なサイトを表示▶メロディを選択▶［■］

・ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2.「保存」

・「再生」：ダウンロードしたメロディを再生します。
・「情報表示」：ダウンロードしたメロディの情報を表示します。
・「戻る」：メロディを保存せずにサイト画面に戻ります。

お知らせ

・接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
・ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。

サイトからｉモーションを取得する

ｉモーションとは、映像や音が含まれた動画ファイルで、ｉモーション対応サイトから取得します。取得したｉモーションは「データBOX」の「ｉモーション」→「ｉモード」フォルダ（P176）で確認できます。

・詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1. ｉモーション取得可能なサイトでｉモーションを選択▶■

・ｉモーションの取得が開始されます。

・取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。

2. 取得完了後にCLEAR/🔈▶「保存」

・「再生」：取得したｉモーションを再生します。

・「情報表示」：取得したｉモーションの情報を表示します。

・「戻る」：ｉモーションを保存せずにサイト画面に戻ります。

お知らせ

・ｉモーション取得中の再生方法を設定できます。→P131

・ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できない場合があります。

・ストリーミングタイプおよびASF形式のｉモーションを取得することはできません。

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

マイメニューに登録する

1. 登録したいサイトを表示▶「マイメニュー登録」を選択▶■

2. ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶■▶ｉモードパスワードを入力▶■▶「決定」

・ｉモードパスワードについては、「ｉモードパスワードを変更する」（P138）を参照してください。

お知らせ

・マイメニューに登録できないサイトもあります。

・メニュー／検索内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1. 待受画面でiα［ｉモード］▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶接続したいサイトを選択▶■

ｉモードパスワードを変更する

メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）がｉモードパスワードとして設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

1. 待受画面で［ｉα］［ｉモード］▶「ｉMenu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「ｉモードパスワード変更」

2.「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶［■］▶ｉモードパスワード（4桁）を入力▶［■］

・ご契約時は「0000」となっていますので、初回は「0000」を入力します。

3.「新パスワード」のテキストボックスを選択▶［■］▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶［■］

4.「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶［■］▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力▶［■］▶「決定」

・操作3で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

・ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモショップ窓口において確認書類（運転免許証など）によりご契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」へリセットさせていただくことになります。

メール

▶

メール
1 受信BOX
2 送信BOX
3 未送信BOX
4 新規メール作成
5 iモード問い合わせ
6 メール選択受信
7 SMS問い合わせ
8 メール設定
選択

メールメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶ （メール）または「メール」

メールメニューについて

メールメニューにはFOMA端末に用意されているメールの機能が表示されます。

メニュー項目	内　容
受信BOX	受信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。
送信BOX	送信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。
未送信BOX	一時保存したｉモードメールやSMSの内容を確認できます。
新規メール作成	ｉモードメールやSMSを作成する画面を表示します。
ｉモード問い合わせ	ｉモード問い合わせを行って、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを受信します。
メール選択受信	ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除できます。
SMS問い合わせ	SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信します。
メール設定	FOMA端末のメールに関する各機能の設定をします。

ｉモードメールとは

ｉモード端末はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」の契約が必要です。
・詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
・『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』に記載されているすべてのサービスには対応していません。『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』の各サービスの対応機種記載をご確認ください。

SMS（ショートメッセージ）について

ｉモードを契約していなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信ができます。
ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
・詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

受信BOXのメールを表示する

■ ▶ （メール） ▶ 1

受信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを振り分けて管理できます。受信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。

1. メールメニュー（P139）から「受信BOX」

＜受信メールフォルダ一覧画面＞

2. フォルダを選択▶ ■

※1：受信当日は時刻、当日以外は日付で表示します。
※2：電話帳に登録されている場合はその名前を表示します。
※3：SMSは「SMS」と表示します。

＜受信メール一覧画面＞

- iα［即返信］：簡単返信語句（P158）に登録されている定型文をメール本文にして返信します。定型文選択後、すぐにメールが送信されます。
- ／ ：ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。

3. メールを選択▶ ■

※：受信メール一覧画面の※2、※3と同様に表示されます。

＜受信メール表示画面＞

- iα［返信］：返信方法を選択して送信元などに返信します。
  「簡単返信」…受信メール一覧画面のiα［即返信］の説明を参照してください。
  「簡単返信」以外…「iモードメールを作成する」の操作3（P152）／「SMSを作成する」の操作3（P155）に進みます。
- ：前後のメールを表示します。
- ：画面単位でスクロールします。

お知らせ

- 「セキュリティ」（P159）が設定されたBOX内を表示するときは、端末暗証番号入力→■［OK］が必要です。
- 本FOMA端末で受信したデコメールは、本文とデコメールのURLを記載したメールとして受信し、URLを選択するとデコメールを閲覧できます。→P146
- 最大400件まで受信メール／SMSを保存できます。ただし、メール／SMSの内容により保存できる件数は少なくなります。

受信メールのフォルダ一覧画面のマークについて

マーク	説　明
（グレー）	未読のメール／SMSが無いフォルダ
（グレー）	未読のメール／SMSがあるフォルダ
（ブルー）	未読のメール／SMSが無い作成したフォルダ
（ブルー）	未読のメール／SMSがある作成したフォルダ

受信メール一覧画面および表示画面のマークについて

マーク	説　明
	未読のメール
	既読のメール
	未読のSMS
	既読のSMS
	未読のSMS送達通知
	既読のSMS送達通知
	FOMAカード内の未読SMS
	FOMAカード内の既読SMS
	保護されているメール／SMS
	転送したメール
	返信したメール
	ファイルが添付または貼り付けられているメール

マーク	説　明
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルが添付されているメール
	件名
※	送信元からToタイプで受信
※	送信元からCcタイプで受信
※	送信元からBccタイプで受信
※	Toタイプの同報メールアドレス
※	Ccタイプの同報メールアドレス
※	受信日時
※	メロディが貼り付けられています。
※	ｉアプリの起動情報が貼り付けられています。
※	メロディが添付されています。
※	10000バイトまでの画像が添付されています。
※	ｉショットのURLが記載されています。
※	ｉモーションのURLが記載されています。
※	貼り付けられたメロディが破損しています。
※	添付ファイルが破損しています。

※：受信メール表示画面でのみ表示されます。

受信メールフォルダ一覧画面のサブメニューを利用する

1. 受信メールフォルダ一覧画面（P141）で［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

フォルダ追加
フォルダを追加します。

フォルダ名編集※
選択中のフォルダの名前を編集します。

フォルダ削除※
選択中のフォルダを削除します。メールが保存されているフォルダは削除できません。

自動振り分け※
選択中のフォルダに振り分け条件を設定します。「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」の操作2（P145）に進みます。

※：受信BOXを選択している場合には利用できません。

受信メール一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P260

1. 受信メール一覧画面（P141）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

フォルダ移動※1
選択中のメールを他のフォルダに移動します。

削除
選択中のメールを削除します。

選択削除
複数のメールを選択して削除します。選択後は[✉]［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
フォルダ内のメールをすべて削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

保護／保護解除※1
選択中のメールを保護または保護解除します。保護されたメールは移動／削除できません。

ソート
一覧画面に表示されるメールを並べ替えます。

フィルタ
一覧画面に表示されるメールの種類を変更します。

FOMAカード※2
選択中のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末に移動／コピーします。

簡単返信
簡単返信語句（P158）に登録されている定型文をメール本文にして返信します。定型文選択後、すぐにメールが送信されます。

※1：FOMAカード内のSMSでは利用できません。
※2：ｉモードメール、保護されたSMS／SMS送達通知では利用できません。

受信メール表示画面のサブメニューを利用する

1. 受信メール表示画面（P141）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

メール

返信
表示中のメールの送信元に返信します。次の項目(「簡単返信」を除く)を選択した後は「iモードメールを作成する」の操作3(P152)／「SMSを作成する」の操作3(P155)に進みます。

－**返信**：送信元に返信します。

－**引用返信**※1：送信元に受信メールの本文を引用して返信します。

－**すべてへ返信**※1：送信元とすべての宛先に返信します。

－**すべてへ引用返信**※1：送信元とすべての宛先に受信メールの本文を引用して返信します。

－**簡単返信**：簡単返信語句(P158)に登録されている定型文をメール本文にして返信します。定型文選択後、すぐにメールが送信されます。

転送
表示中のメールを他の相手に転送します。「iモードメールを作成する」の操作2(P152)／「SMSを作成する」の操作2(P155)に進みます。

フォルダ移動※2
表示中のメールを他のフォルダに移動します。

削除
表示中のメールを削除します。

保護／保護解除※2
表示中のメールを保護または保護解除します。保護されたメールは移動／削除できません。

アドレス登録
表示中のメールの送信元(その他の宛先含む)のメールアドレス／電話番号を電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2(P64)に進みます。

電話帳登録※3
表示中のメール本文に記載されたメールアドレス／電話番号を電話帳に新規／追加登録します。「電話帳に登録する」の操作2(P64)に進みます。

添付ファイル保存※1※4
表示中のメールに添付されたメロディ(♪)または10000バイトまでの画像(▣)を保存します。保存したメロディ／画像は「データBOX」の「メロディ」／「マイピクチャ」→「iモード」フォルダで確認できます。→P169、P179

コピー
・次の項目を選択した後のコピー方法は、「コピー／切り取り／貼り付けを行う」(P225)を参照してください。

－**本文**：本文をコピーします。

－**題名**※1：題名をコピーします。

－**アドレス**：送信元のメールアドレスや電話番号をコピーします。

FOMAカード※5
表示中のSMSをFOMAカードにコピー／移動したり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末からコピー／移動します。

簡単返信
簡単返信語句（P158）に登録されている定型文をメール本文にして返信します。定型文選択後、すぐにメールが送信されます。

※1：SMSでは表示されません。
※2：FOMAカード内のSMSでは利用できません。
※3：登録するメールアドレス／電話番号を選択してから操作してください。登録できるものが含まれていない場合は利用できません。
※4：保存するファイルを選択してから操作してください。保存できるファイルがない場合は利用できません。
※5：ｉモードメール、保護されたSMSでは利用できません。

お知らせ

・SMS送達通知／留守番着信通知表示画面のサブメニュー項目は、「フォルダ移動」「削除」「保護／保護解除」「電話帳登録」となります。

受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメール／SMSを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダにのみ設定できます。

1 受信メールフォルダ一覧画面（P141）で条件を設定するフォルダを選択▶ ［メニュー］ ▶「自動振り分け」

・自動振り分け設定画面が表示されます。

2 ［メニュー］ ▶ 次のサブメニュー項目を選択

アドレス※1
フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を入力します。
－**電話帳参照**：電話帳から検索して設定します。
－**アドレス入力**：直接入力します。メールアドレスを入力する場合は、ドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。

題名※1※2
フォルダに振り分けるメールの題名を入力します。

解除
選択中の振り分け条件を解除します。

全件解除
すべての振り分け条件を解除します。

※1：受信したメールが複数の条件を含む場合は、該当する条件が設定されたフォルダ一覧画面の一番上のフォルダに振り分けられます。
※2：同じフォルダに複数の条件を設定することはできません。

ｉモードメール／SMSを自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にｉモードメール／SMSが送られてきます。

1. メール／SMSを受信する

・ （白）または （白）が表示されます。

メール

2. 受信結果画面が表示される

- 受信したｉモードメールをすぐに確認する場合は、「ｉモードメール」を選択して■を押します。
- 受信したSMSをすぐに確認する場合は■を押します。
- CLEAR/🔈：受信する前の画面に戻ります。

10000バイトを超える画像を保存する

10000バイトを超えるJPEG画像データは、受信してもFOMA端末に取り込まれないため、メール本文に付与されている画像閲覧のためのURLからｉショットセンターに接続してデータを取り込んでから保存します。

1. 受信メール表示画面（P141）でURLを選択▶■▶ iα ［はい］

- 画像の保存方法は、「サイトから画像をダウンロードする」（P136）を参照してください。

お知らせ

- 受信したデコメールの内容は、この方法で閲覧できます。

ｉモーションメールからｉモーションを取得する

ｉモーションメールのデータは、受信してもFOMA端末に取り込まれていないため、メールの本文に付与されているｉモーション閲覧のためのURLからｉモーションメールセンターに接続してデータを取り込んでから保存します。保存したｉモーションは「データBOX」の「ｉモーション」→「ｉモード」フォルダ（P176）で確認できます。

1. 受信メール表示画面（P141）でURLを選択▶■▶ iα ［はい］

- ｉモーションの取得が開始されます。
- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。

2. 取得完了後に CLEAR/🔈 ▶「保存」

- 「再生」：取得したｉモーションを再生します。
- 「情報表示」：取得したｉモーションの情報を表示します。
- 「戻る」：ｉモーションを保存せずに受信メール表示画面に戻ります。

送信BOXのメールを表示する

■▶ メール （メール）▶ 2

送信メール一覧画面を表示します。送信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。

1. メールメニュー（P139）から「送信BOX」

送信日時※1 送信先※2
件名※3

※1：送信当日は時刻、当日以外は日付で表示します。
※2：電話帳に登録されている場合はその名前を表示します。
※3：SMSは「SMS」と表示します。

＜送信メール一覧画面＞

・ ／ ：ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。

2. メールを選択▶ ■

送信先※
送信日時
件名※

※： 送信メール一覧画面の※2、※3と同様に表示されます。

＜送信メール表示画面＞

・ ：前後のメールを表示します。
・ ：画面単位でスクロールします。

お知らせ

・「セキュリティ」（P159）が設定されたBOX内を表示するときは、端末暗証番号入力→■［OK］が必要となります。
・最大400件まで送信メール／SMSを保存できます。ただし、メール／SMSの内容により保存できる件数は少なくなります。

送信メールの一覧画面および表示画面のマークについて

マーク	説　明
	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	送信に成功したSMS
	送信に失敗したSMS
	FOMAカード内の送信SMS
	保護されているメール／SMS
	ファイルが添付されているメール
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルが添付されているメール
Sub	件名
To ※	Toタイプで送信に成功したメールアドレス
To ※	Toタイプで送信に失敗したメールアドレス
Cc ※	Ccタイプで送信に成功したメールアドレス
Cc ※	Ccタイプで送信に失敗したメールアドレス
Bcc ※	Bccタイプで送信に成功したメールアドレス

メール

次のページへ続く

マーク	説　明
※	Bccタイプで送信に失敗したメールアドレス
※	送信日時
※	貼り付けメロディファイルが添付されています。
※	ｉアプリ起動情報ファイルが添付されています。
※	メロディが添付されています。
※	10000バイトまでの画像が添付されています。
※	10000バイトを超えるJPEG形式の画像が添付されています。
	動画が添付されています。
※	破損した貼り付けメロディファイルが添付されています。
※	破損した添付ファイルが添付されています。

※： 送信メール表示画面でのみ表示されます。

送信メール一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P260

1. 送信メール一覧画面（P147）で[メール]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

再編集
選択中のメールを再編集します。「ｉモードメールを作成する」（P152）／「SMSを作成する」（P155）の操作2に進みます。

削除
選択中のメールを削除します。

選択削除
複数のメールを選択して削除します。選択後は[メール]［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
送信BOX内のメールをすべて削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

保護／保護解除※1
選択中のメールを保護または保護解除します。保護されたメールは削除できません。

ソート
一覧画面に表示されるメールを並べ替えます。

フィルタ
一覧画面に表示されるメールの種類を変更します。

FOMAカード※2
選択中のSMSをFOMAカードにコピー／移動したり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末からコピー／移動します。

※1：FOMAカード内のSMSでは利用できません。
※2：ｉモードメール、保護されたSMSでは利用できません。

送信メール表示画面のサブメニューを利用する

1. 送信メール表示画面（P147）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

再編集
表示中のメールを再編集します。「ｉモードメールを作成する」（P152）／「SMSを作成する」（P155）の操作2に進みます。

削除
表示中のメールを削除します。

保護／保護解除※1
表示中のメールを保護または保護解除します。保護されたメールは削除できません。

アドレス登録
表示中のメールの送信先のメールアドレス／電話番号を電話帳に登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

電話帳登録※2
表示中のメール本文に記載されたメールアドレス／電話番号を選択して電話帳に登録します。「電話帳に登録する」の操作2（P64）に進みます。

コピー※3
・次の項目を選択した後のコピー方法は、「コピー／切り取り／貼り付けを行う」（P225）を参照してください。

－**本文**：本文をコピーします。
－**題名**：題名をコピーします。

FOMAカード※4
表示中のSMSをFOMAカードにコピー／移動したり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末からコピー／移動します。

※1：FOMAカード内のSMSでは利用できません。
※2：登録するメールアドレス／電話番号を選択してから操作してください。登録できるものが含まれていない場合は利用できません。
※3：SMSでは表示されません。
※4：ｉモードメール、保護されたSMSでは利用できません。

未送信BOXのメールを表示する

[■]▶[メール]（メール）▶[3]

未送信メール一覧画面を表示します。送信せずに保存したｉモードメールやSMSの内容を確認できます。

メール

1. メールメニュー（P139）から「未送信BOX」

保存日時※1 送信先※2
件名※3

※1：保存当日は時刻、当日以外は日付で表示します。
※2：電話帳に登録されている場合はその名前を表示します。
※3：SMSは「SMS」と表示します。

＜未送信メール一覧画面＞

・ ／ ：ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。

2. メールを選択▶■

＜未送信メール表示画面＞

お知らせ

・「セキュリティ」（P159）が設定されたBOX内を表示するときは、端末暗証番号入力→■［OK］が必要となります。
・最大400件まで未送信メール／SMSを保存できます。ただし、メール／SMSの内容により保存できる件数は少なくなります。

未送信メールの一覧画面および表示画面のマークについて

マーク	説　明
	未送信メール
	未送信SMS
	ファイルが添付されているメール
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルが添付されているメール
	件名
※	Toタイプの宛先
※	Ccタイプの宛先
※	Bccタイプの宛先
※	添付ファイル
※	貼り付けメロディファイルが添付されています。
※	ｉアプリ起動情報ファイルが添付されています。
※	メロディファイルが添付されています。
※	10000バイトまでの画像ファイルが添付されています。
※	動画ファイルが添付されています。
※	破損した貼り付けメロディファイルが添付されています。
※	破損した添付ファイルが添付されています。
※	本文

※：未送信メール表示画面でのみ表示されます。

未送信メール一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P261

1. 未送信メール一覧画面（P150）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

送信
選択中のメールを送信します。

削除
選択中のメールを削除します。

選択削除
複数のメールを選択して削除します。選択後は[✉]［メニュー］→「削除」を選択します。

全削除
未送信BOX内のメールをすべて削除します。削除には端末暗証番号入力→[■]［OK］が必要となります。

ソート
一覧画面に表示されるメールを並べ替えます。

フィルタ
一覧画面に表示されるメールの種類を変更します。

未送信メール表示画面のサブメニューを利用する

未送信メール表示画面（P150）で[✉]［メニュー］を押し、サブメニュー項目を選択します。利用できるサブメニューについては「メール作成画面のサブメニューを利用する」（P152）／「SMS作成画面のサブメニューを利用する」（P155）を参照してください。

メールを作成する

ｉモードメールを作成する

[■] ▶ [メール]（メール）▶ [4][1]

ｉモードメールを新規に作成して送信します。

1. メールメニュー（P139）から「新規メール作成」▶「ｉモードメール作成」

＜メール作成画面＞

2. [To]（宛先）欄を選択▶[■]▶「アドレス入力」▶宛先を入力▶[■]

・宛先欄を選択したときに表示されるメニューについては「メール作成画面のサブメニューを利用する」の「宛先メニュー」（P153）を参照してください。

3. [Sub]（件名）欄を選択▶[■]▶件名を入力▶[■]

・ファイルを添付しない場合は、操作5に進みます。

4. [添付]（添付ファイル）欄を選択▶[■]▶「添付ファイル追加」

・「データBOX」の「マイピクチャ」（P169）／「iモーション」（P176）／「メロディ」（P179）内に保存されているファイルから選択します。

・添付ファイル欄を選択したときに表示されるメニューについては「メール作成画面のサブメニューを利用する」の「添付ファイルメニュー」（P153）を参照してください。

・ファイルが添付されているときは、[iα]［再生］を押して表示／再生することができます。

5. [本文]（本文）欄を選択▶[■]▶本文を入力▶[■]

6. [iα]［送信］

お知らせ

・電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。

・iモード端末どうしのメールのやりとり以外で半角カタカナ、絵文字を使用したときは正しく表示されない場合があります。

・シークレットコードが設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。

メール作成画面のサブメニューを利用する

1. メール作成画面（P151）で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

送信
作成中／編集中のiモードメールを送信します。

保存
作成中／編集中のiモードメールを未送信BOXに保存します。

宛先追加
宛先を追加します。宛先を追加すると、同じ内容のiモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。

－**電話帳参照**：電話帳から検索して設定します。

－**アドレス入力**：直接入力します。

－**受信履歴参照**：受信メール履歴から選択して設定します。

－**送信履歴参照**：送信メール履歴から選択して設定します。

宛先メニュー※1
－**電話帳参照**：電話帳から検索して設定します。
－**アドレス入力**：直接入力します。
－**Toに変更**：選択中の宛先をToタイプに変更します。
－**Ccに変更**：選択中の宛先をCcタイプに変更します。
－**Bccに変更**：選択中の宛先をBccタイプに変更します。
－**アドレス削除**：選択中の宛先を削除します。
－**受信履歴参照**：受信メール履歴から選択して設定します。
－**送信履歴参照**：送信メール履歴から選択して設定します。

添付ファイルメニュー
－**添付ファイル追加**：「データBOX」の「マイピクチャ」（P169）／「ｉモーション」（P176）／「メロディ」（P179）内に保存されているファイルから選択します。
－**静止画撮影**※3：静止画撮影待機画面になります。→P112
撮影終了画面で■［添付］で、添付ファイルに追加されます。
－**動画撮影**※4：動画撮影待機画面になります。→P117
撮影終了画面で■［OK］で、添付ファイルに追加されます。
－**添付ファイル削除**※2：添付したファイルを削除します。
－**添付ファイル再生／表示**※2：添付ファイルしたファイルを再生／表示します。

署名貼付
署名をメール本文の最後に挿入します。
・署名を登録しておく必要があります。→P158

本文消去
本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。

メール削除
作成中／編集中のｉモードメールを削除します。

※1：To／Cc／Bcc（宛先）欄を選択してから操作してください。
※2：添付（添付ファイル）欄を選択してから操作してください。
※3：既に静止画撮影で5000バイト以上の画像を添付ファイルに追加している場合は選択できません。
※4：既に動画／ｉモーションもしくは10000バイトを超えるJPEG形式の画像を添付ファイルに追加している場合は選択できません。

お知らせ

・宛先の種類について
－To…　通常の宛先です。
－Cc…　直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。
－Bcc…他の送信相手に知られたくないときに指定します。

・添付可能なファイルについて

ファイルの種類	添付可能な最大件数
メロディ	合計10件※1
10000バイト以下の画像（JPEG、GIF）	
10000バイトを超える画像（JPEG）	どちらか1件※2
動画／ｉモーション	

※1：メロディと画像の合計と本文を合わせたデータ量が全角5000文字分（10000バイト）までで最大10件です。

※2：最大100Kバイトまでの画像もしくは動画／ｉモーションのどちらか1件のみ添付できます。メロディ、10000バイト以下の画像とは別に1件として数えます。

・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
・10000バイトを超えるJPEG形式の画像もしくはｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字（半角200文字）分少なくなります。
・GIF形式の画像、メロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
・添付ファイルによっては、ｉモードセンターで削除されたり、相手側で正しく受信できなかったり、表示または再生できない場合があります。

メール作成中の文字入力画面のサブメニューを利用する

メール作成中の文字入力画面で[✉]［メニュー］を押し、サブメニュー項目を選択します。利用できるサブメニューについては「文字入力画面のサブメニューを利用する」（P224）を参照してください。

SMSを作成する

[■]▶[メール]（メール）▶[4][2]

SMSを新規に作成して送信します。
ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1. メールメニュー（P139）から「新規メール作成」▶「SMS作成」

＜SMS作成画面＞

2. To（宛先）欄を選択▶■▶アドレス入力▶相手の電話番号を入力▶■
・宛先欄を選択したときに表示されるメニューについては「SMS作成画面のサブメニューを利用する」の「宛先メニュー」（右記）を参照してください。

3. ▤（本文）欄を選択▶■▶本文を入力▶■

4. iα［送信］

宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

「+」（＊を2回押す）▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」

または

「010」▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」

・携帯電話番号が0で始まる場合には、「0」を除いて入力します。

お知らせ

・電波状況により、相手に文字が正しく送信されないことがあります。
・海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
・受信側がmovaの場合、ｉモード契約をしていればFOMAから送られたSMSをｉモードメールとして受信することができます。
・送信元が非通知設定（公衆電話／通知不可能の場合を含む）のSMSには返信できません。
・ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様に送信する場合は、半角英数字のご利用をおすすめします。
・お客様が国際SMSの送信を行った場合に通信料が発生します（国際SMSを受信する場合、通信料は発生しません）。ただし、宛先エラーなどにより送信が完了していない場合においても、通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

SMS作成画面のサブメニューを利用する

1. SMS作成画面（P154）で✉［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

送信
作成中／編集中のSMSを送信します。

保存
作成中／編集中のSMSを未送信BOXに保存します。

宛先メニュー
－**電話帳参照**：電話帳から検索して設定します。
－**アドレス入力**：直接入力します。
－**受信履歴参照**：受信メール履歴から選択して設定します。
－**送信履歴参照**：送信メール履歴から選択して設定します。

次のページへ続く

SMS送達通知要求
作成中／編集中のSMSの送達通知を要求するかどうかを設定します。送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするSMSです。

SMS有効期間
作成中／編集中のSMSを送信した相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を設定します。

本文消去
本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先は削除されません。

SMS削除
作成中／編集中のSMSを削除します。

SMS作成中の文字入力画面のサブメニューを利用する

SMS作成中の文字入力画面で［メニュー］を押し、サブメニュー項目を選択します。利用できるサブメニューについては「文字入力画面のサブメニューを利用する」(P224) を参照してください。

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいたり、電源を切っていたときにiモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fが届いているかどうかを問い合わせることができます。

1. 待受画面で［メール］を2秒以上
- 問い合わせ結果画面が表示されます。受信したiモードメールをすぐに確認する場合は、「iモードメール」を選択してを押します。

お知らせ

- iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fが保管されている場合は、マーク (P32) が表示されます。ただし、FOMA端末の電源が入っていないときなどにiモードセンターに保管された場合は、マークが表示されないことがあります。
- 「メール選択受信設定」を「ON」にしている場合は、この方法でiモードセンターに保管されているすべてのメールが受信されます。受信したくない場合は、「メール設定」の「iモード問い合わせ」(P158) で「メール」のチェックを外してから問い合わせてください。

メールを選択して受信する

■▶ （メール）▶ 6

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」（右記）を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

1. メールメニュー（P139）から「メール選択受信」
- サイトに接続し、メール選択受信画面が表示されます。

2. メールごとにプルダウンメニューを選択▶■▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶■

3.「受信／削除」を選択▶■
- 確認画面が表示されます。

4.「決定」を選択▶■
- 操作2で「受信」を選択したメールはすぐに受信されます。

SMSがあるかどうかを問い合わせる

■▶ （メール）▶ 7

圏外にいたり、電源を切っていたときにSMSセンターにSMSが届いているかどうかを問い合わせることができます。

1. メールメニュー（P139）から「SMS問い合わせ」
- 問い合わせ結果画面が表示されます。受信したSMSをすぐに確認する場合は■を押します。

メールの設定を行う

通信

■▶ （メール）▶ 8 1

メールやSMSの通信に関わる設定をします。

設定項目／お買い上げ時 →P245

1. メールメニュー（P139）から「メール設定」▶「通信」▶次の設定する項目を選択▶設定後 [完了]

メール選択受信設定
ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、ｉモードメールを自動的に受信できません。

次のページへ続く

添付ファイル
ｉモードメールに添付されている画像やメロディを受信するかどうかを設定します。

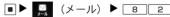
ｉモード問い合わせ
「ｉモード問い合わせ」をして受信するときに、問い合わせる内容（メール／メッセージR／メッセージF）を設定します。

SMS送達通知設定
SMSを送信したときに、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするSMSです。

SMS有効期間設定
SMSを送信した相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を設定します。

お知らせ

・「添付ファイル」設定で□に設定した項目の添付ファイルは、ｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
・「添付ファイル」設定で「メロディ」を□に設定しても、メール本文に貼り付けられたMFi形式のメロディは受信されます。

編集

メール本文に貼り付ける署名や、メール返信時の引用符、簡単返信時に本文として挿入する定型文に関わる設定をします。

設定項目／お買い上げ時 →P245

1. メールメニュー（P139）から「メール設定」▶「編集」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [完了]

署名
本文の最後に自分の名前や住所など（署名）を自動的に貼り付けするかどうかと、貼り付けする署名の内容を設定します。

引用符
「引用返信」するときに引用するメール本文の先頭につける記号や文章（引用符）を設定します。

簡単返信語句
簡単返信時に本文として挿入する定型文を設定します。
・ ［追加］：定型文を新規入力して最大13件まで追加できます。

お知らせ

・あらかじめ「簡単返信語句」に登録されている定型文の内、1～3は編集および削除が、4～7は削除ができません。

表示

■ ▶ （メール） ▶ 8 3

メールやSMSの表示に関わる設定をします。

設定項目／お買い上げ時 →P245

1. メールメニュー（P139）から「メール設定」▶「表示」▶ 次の設定する項目を選択 ▶ 設定後 [完了]

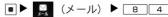
文字サイズ
メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

スクロール
メール表示画面で を押したときにスクロールする行数を設定します。

メール一覧表示
メール一覧画面でメールの表示方法（行数／表示内容）を設定します。

セキュリティ
メールメニューの受信・送信・未送信BOXにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したBOX内を表示するには、端末暗証番号入力→■ ［OK］が必要となります。

メロディ自動再生
メール表示画面で、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

その他

「メール設定」で設定した内容の確認や、設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1. メールメニュー（P139）から「メール設定」▶「その他」▶ 次の設定する項目を選択

メール設定確認
「メール設定」の設定状況を確認します。

メール設定リセット
「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットには端末暗証番号入力→■ ［OK］が必要となります。

メールデータリセット
FOMA端末に保存されているすべてのメールとメッセージR/Fを削除します。リセットには端末暗証番号入力→■ ［OK］が必要となります。

ｉアプリ

ソフト一覧画面の表示方法

待受画面で■［メニュー］▶ （ｉアプリ）または「ｉアプリ」

iアプリとは

サイトからさまざまなソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存し、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだりすることができます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』に記載されているすべてのサービスには対応していません。『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』の各サービスの対応機種記載をご確認ください。

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

1. iアプリダウンロード可能なサイトを表示 ▶ ソフトをダウンロードできる項目を選択 ▶ ■

2. ダウンロードが完了したら■

- ダウンロード完了後に通信設定画面が表示されることがあります。設定後にiα［完了］を押します。
- ソフトによっては、ダウンロード完了後すぐに起動することがあります。その場合、ソフトによっては保存されていません。ソフトを終了すると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「はい」を選択します。

3.「はい」／「いいえ」

- 「はい」：iアプリが起動します。
- 「いいえ」：サイト画面に戻ります。

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ソフトをダウンロードするときに、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を利用するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

ｉアプリを起動する

■ ▶ α（ｉアプリ）

1. 待受画面で［ｉモード］を2秒以上押す

＜ソフト一覧画面＞

・お買い上げ時は、「九九で頭の体操」のみが収録されています。

2. 起動したいソフトを選択 ▶ ■

・ ：ｉアプリを終了します。

ソフト一覧画面のマークについて

マーク	説　明
（ブルー）	作成したフォルダ
	通常のｉアプリ
	SSLサイトからダウンロードしたｉアプリ
	自動起動が設定されているｉアプリ

・異なるFOMAカードでダウンロードまたはバージョンアップしたｉアプリ（FOMAカード動作制限機能付き）は、各マークがうすく表示されます。

お知らせ

・ソフトによっては、ダウンロードした後も通信を行う場合があります。「通信設定」で通信しないようにすることもできます。

ソフト一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P261

・ソフトによっては利用できないサブメニュー項目があります。

1. ソフト一覧画面（左記）で［メニュー］ ▶ 次のサブメニュー項目を選択

フォルダ作成※
フォルダを作成します。

フォルダ削除※
選択中のフォルダを削除します。ソフトが保存されているフォルダは削除できません。

フォルダ名編集※
選択中のフォルダの名前を編集します。

フォルダ移動
選択中のソフトを他の作成したフォルダに移動します。

バージョンアップ
選択中のソフトをバージョンアップします。

削除
選択中のソフトを削除します。

選択削除
複数のソフトを選択して削除します。選択後は［メニュー］→「削除」を選択します。

全件削除
すべてのソフトを削除します。削除には端末暗証番号入力→■［OK］が必要となります。

ソート
一覧画面に表示されるソフトを並べ替えます。

ソフト情報
選択中のソフトのソフト名、ソフトサイズなどを表示します。

証明書表示
選択中のソフトに使われている証明書の所有者、発行元、有効期限などを表示します。

通信設定
選択中のソフトを起動中に通信するかどうかを設定します。設定後は［完了］を押してください。

ｉアプリTo設定
サイトやメールなどから選択中のソフトを起動させるかどうかを設定します。設定後は［完了］を押してください。

アイコン情報設定
ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外アイコンなどの情報を選択中のソフトが利用するかどうかを設定します。設定後は［完了］を押してください。

自動起動設定
選択中のソフトを自動起動させるかどうかを設定します。時刻設定を「する」に設定した場合は、「編集」を選択して起動方法と起動する時間を設定します。設定後は［完了］を押してください。

ソフト情報表示設定
ｉアプリダウンロード時にソフト情報を表示するかどうかを設定します。設定後は［完了］を押してください。

自動起動失敗履歴
ｉアプリが自動起動に失敗した場合の情報を確認します。

トレース情報
トレース機能に対応したｉアプリがエラーなどで終了した場合の情報を確認します。

システム情報
ｉアプリのメモリー使用状況などのシステム情報を表示します。

※：作成したフォルダ内では利用できません。

お知らせ

- 「通信設定」で通信しない設定にした場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- ソフトを「バージョンアップ」するときに、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を利用するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話番号／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのバージョンアップは無償のため、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を利用するかどうかの確認画面は表示されません。
- 「アイコン情報設定」を「利用する」に設定すると、ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外アイコンなどの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

九九で頭の体操

落ちてくる数字ブロックをすばやくかけ算して、計算結果と同じ数字ブロックにくっつけて消していくゲームです。

1. ソフト一覧画面（P163）で「九九で頭の体操」を選択 ▶ [■] ▶ 次のメニューを選択

- [iα]［Quit］：ゲームを終了します。

スタート※1

ゲームがスタートします。

ステージ※1

[◀▶]を押してステージ（01～10）を選択します。

コンティニュー※2

中断しているゲームを再開します。

キーインフォ

ゲーム中に使用するボタンの説明を表示します。表示後は[iα]［Menu］を押すとメニューに戻ります。

ヘルプ

ブロックの消し方についての説明を表示します。説明画面は2画面あり、[◀▶]を押して切り替えます。[iα]［Menu］を押すとメニューに戻ります。

ランク

得点ランキングなどを表示します。表示後は[iα]［Menu］を押すとメニューに戻ります。

次のページへ続く

サウンド
ゲームの音を鳴らすかどうかを設定します。■を押すたびに、ON／OFFが切り替わります。

※1：ゲーム中断時のメニューでは表示されません。
※2：ゲーム中断時のメニューのみ表示されます。

ゲーム中画面について

・✉［Pause］／［Resume］：ゲームを一時停止（ポーズ）します。もう一度押すと再開します。
・iα［Menu］：ゲームを中断してメニュー画面を表示します。

ゲーム中のボタン操作

メニューの「キーインフォ」（P165）で確認してください。

ブロックの消し方

落ちてくる数字ブロックを、次のような条件になるようにくっつけて消していきます。左から4行目～7行目にブロックがいっぱいになると、ゲームオーバーになります。

＜例：ブロック②②④が並んだ場合＞

縦に並んだとき

3つのブロックがすべて消えます。

横に並んだとき

・かけ算結果が2桁の場合は、1の位と同じ数字のブロックにくっつけます。
・数字以外のブロックについては、メニューの「ヘルプ」（P165）で確認してください。

■ゲームオーバーになったときは

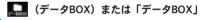
ゲームオーバー画面が表示されます。■を押すとランク画面が表示され、スコアを確認できます。iα［Menu］を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

・ゲーム中にFOMA端末を閉じてもゲームは継続されます。電話がかかってきたときは、ゲームを一時停止（ポーズ）します。

データBOX

データBOXメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶

（データBOX）または「データBOX」

データBOXについて

データBOXには次のような項目とフォルダがあります。（お客様が追加したフォルダは含みません）

メニュー項目	フォルダ	内　容
マイピクチャ	カメラ	カメラで撮影した静止画など
	データ交換	データ通信で取得した静止画など
	アイテム	フレームやスタンプに使用できる静止画
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている静止画
	iモード	サイトやメールから取得した静止画など
iモーション	カメラ	ビデオカメラで撮影した動画など
	データ交換	データ通信で取得した動画など
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
	iモード	サイトやメールから取得したiモーションなど
メロディ	データ交換	データ通信で取得したメロディなど
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ
	iモード	サイトから取得したメロディなど

画像を表示／管理／編集する

■▶ データBOX（データBOX）▶ 1

撮影した静止画、サイトやiモードメールから取得した静止画などを表示します。

表示可能なファイル形式について

・FOMA端末で表示できるファイルは次のとおりです。

ファイル形式※	JPEG、GIF
画素数	1280×1024ドット以下
ファイルサイズ	JPEGファイル：700Kバイト以下、 GIFファイル：500Kバイト以下
拡張子	jpg、gif

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

画像を表示する

1. データBOXメニュー（P167）から「マイピクチャ」

＜フォルダ一覧画面＞

- [iα]［切替］：フォルダの表示方法を変更します。

2. フォルダを選択 ▶ [■]

＜画像ファイル一覧画面＞

- [iα]［メール］：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」 の操作2（P152）に進みます。

3. ファイルを選択 ▶ [■]

＜画像表示画面＞

- [■]［全画面］：画像をディスプレイ全体に表示します。
- [iα]［メール］：表示中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。
- [◀▶]：前のファイル／次のファイルを表示します。

画像ファイル一覧画面に表示されるマークについて

マーク	説　明
（フォルダアイコン）	１つ上の一覧画面を表示
（鍵アイコン）	制限※が設定されているファイル
（?アイコン）	認識できないファイル

※：本FOMA端末外への出力が禁止されていたり、ファイルの編集が制限されています。

データBOX

フォルダ一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. フォルダ一覧画面（P169）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

開く
選択中のフォルダを開きます。

新規フォルダ
フォルダを作成します。

フォルダ削除※1
選択中のフォルダを削除します。

並べ替え※2
フォルダを並べ替えます。

表示
フォルダ一覧画面の表示方法を変更します。

メモリー情報
「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

フォルダ情報
選択中のフォルダの名前、サイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

※1：お買い上げ時に登録されているフォルダでは利用できません。
※2：作成したフォルダは自動的に名前順に並べられます。「日付」「種類」を選択しても、並べ替えることはできません。

お知らせ

・待受画面や電話帳、テレビ電話に設定している画像が含まれているフォルダ、または着信音やアラーム、スケジュールに設定しているメロディが含まれているフォルダを削除すると、それぞれの画像やメロディはお買い上げ時の設定に戻ります。

画像ファイル一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. 画像ファイル一覧画面（P169）でファイルを選択 ▶ [✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規フォルダ※1
フォルダを作成します。

ファイル※1
－**表示**：選択中のファイルを表示します。
－**編集**※2：選択中のファイルを編集します。→P173
－**移動**※3：選択中のファイルを他のフォルダに移動します。移動先フォルダを選択→[iα]［貼付］を押してください。
－**コピー**※3：選択中のファイルを他のフォルダにコピーします。コピー先フォルダを選択→[iα]［貼付］を押してください。

－**1件削除**：選択中のファイルを削除します。

－**全件削除**：フォルダ内のファイルをすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要になります。

－**名称変更**：選択中のファイルの名前を変更します。

選択／解除※1
複数のファイルを選択して移動、コピー、削除します。選択後は[メール]［メニュー］→「ファイル」→「移動」／「コピー」／「削除」を選択してください。

－**選択**：ファイルを1件ずつ選択します。

－**全件選択**：すべてのファイルを選択します。

－**解除**：「選択」「全件選択」で選択したファイルを1件ずつ解除します。

－**全件解除**：「選択」「全件選択」で選択したすべてのファイルの選択を解除します。

メール作成※1※4
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

壁紙に設定
待受画面の壁紙として設定します。

スライドショー

－**開始**：フォルダ内のファイルを順に表示します。

－**設定**：スライドショーの「表示方法」と「間隔（秒）」を設定します。設定後は[iα]［完了］を押してください。

アニメーション作成※1※4
10個までのファイルを選択してアニメーションを作成します。選択後は[iα]［作成］を押してください。

並べ替え
ファイルを並べ替えます。

表示
ファイル一覧画面の表示方法を変更します。

メモリー情報
「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

情報表示
選択中のファイルの名前、サイズ、種別、保存日時、解像度、制限状態を表示します。

※1：「アイテム」「プリインストール」フォルダ内では利用できません。
※2：JPEGファイル（制限が設定されているファイルを除く）のみ利用できます。
※3：「アイテム」「プリインストール」フォルダには移動、コピーできません。
※4：制限が設定されているファイルでは利用できません。

次のページへ続く

お知らせ

・待受画面や電話帳、テレビ電話に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。また、電話帳に設定している画像は、別のフォルダに移動した場合もお買い上げ時の設定に戻ります。

画像表示画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. 画像表示画面（P169）で[メール]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

ファイル※1

－**1件削除**：表示中のファイルを削除します。

－**名称変更**：表示中のファイルの名前を変更します。

－**編集**※2：表示中のファイルを編集します。→P173

メール作成※1※3

表示中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

全画面表示

ソフトキー表示などを消して、画像をディスプレイ全体に表示します。

・[左右]：前の画像／次の画像を表示します。

・[CLEAR]：全画面表示を解除します。

ズーム

画像を拡大して表示します。

・[メール]［＋］：押すごとに拡大します。

・[iα]［－］：拡大した画像を、1つ前の倍率に戻します。

・[上下左右]：拡大した画像の表示位置を移動します。

・[CLEAR]：ズーム表示を解除します。

壁紙に設定

待受画面の壁紙として設定します。

スライドショー

－**開始**：フォルダ内のファイルを順に表示します。

－**設定**：スライドショーの「表示方法」と「間隔（秒）」を設定します。設定後は[iα]［完了］を押してください。

リストへ移動

画像ファイル一覧画面（P169）に戻ります。

情報表示

表示中のファイルの名前、サイズ、種別、保存日時、解像度、制限状態を表示します。

※1：「アイテム」「プリインストール」フォルダ内では利用できません。

※2：JPEGファイル（制限が設定されているファイルを除く）のみ利用できます。

※3：制限が設定されているファイルでは利用できません。

お知らせ

・待受画面や電話帳、テレビ電話に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。また、電話帳に設定している画像は、別のフォルダに移動した場合もお買い上げ時の設定に戻ります。

静止画を編集する

静止画を編集します。編集できるファイルはJPEGファイルのみです。ただし、ファイルによっては編集できない場合があります。編集した静止画は、編集元の静止画があるフォルダに保存されます。

設定項目／お買い上げ時 →P262

1. 画像ファイル一覧画面（P169）でファイルを選択／画像表示画面（P169）で[✉]［メニュー］▶「ファイル」▶「編集」

・画像編集画面が表示されます。

2. 編集画面で[✉]［メニュー］▶次の編集方法を選択▶編集後[■]［保存］▶「新規ファイル」／「元のファイル」▶[■]

・編集後の画面では次の操作ができます。
 －[✉]［メニュー］：編集メニューを表示します。
 －[iα]［Undo］：編集を元に戻します。

保存※
編集した静止画を保存します。

回転
静止画を左や右に回転させせます。

1)「左」／「右」

・[✉]［回転］：左／右に90度ずつ回転します。
・[iα]［キャンセル］：編集を中止します。

2)[■]

サイズ変更
静止画のサイズを変更します。

挿入

－**テキスト**：静止画にテキストを貼り付けます。

・テキストボックス選択画面で[✉]［メニュー］を押すと、フォントサイズとフォントカラーを設定できます。

1)テキストボックスを選択▶[■]

2)テキストを入力▶[■]

・[✉]［テキスト］：テキストボックスを変更します。
・[iα]［キャンセル］：1つ前の操作に戻ります。

3)[■]▶[✥]でテキストの位置を選択▶[■]

－**フレーム**：静止画にフレームを付けます。

1) フレームを選択 ▶ [■]

・[✉]［回転］：フレームを180度ずつ回転します。

・[iα]［キャンセル］：1つ前の操作に戻ります。

2) [■]

－**スタンプ**：静止画にスタンプを貼り付けます。

・スタンプ選択画面で[✉]［メニュー］を押すと、スタンプサイズを設定できます。

1) スタンプを選択 ▶ [■]

2) [✣]でスタンプを貼り付けたい位置を選択 ▶ [■]

・続けて同じスタンプを貼り付ける場合は操作2を繰り返します。

・[✉]［追加］：別のスタンプに変更します。

3) [iα]［完了］

トリミング

1) トリミングサイズを選択 ▶ [■]

・トリミング範囲は赤い枠で表示されます。

2) [✣]を押してトリミングする位置を選択 ▶ [■]

・「ユーザ設定サイズ」を選択した場合は、[✣]を押して赤色のカーソルを移動し、トリミング範囲の始点と終点で[■]を押して確定してください。

撮影効果

－**白黒**：白黒に変換します。

－**セピア**：セピア調に変換します。

－**ネガ**：ネガ調に変換します。

－**白黒ネガ**：白黒のネガ調に変換します。

－**カラーバランス**：「赤」「緑」「青」を選択後、[✣]を押して色の濃淡を調節します。

－**コントラスト**：コントラストを強調したり、弱くしたりします。

－**シャープネス**：輪郭を強調します。

－**ソフトネス**：輪郭をぼかします。

－**モザイク**：モザイクをかけます。「四角」／「丸」を選択後、[✣]を押して赤い枠を移動し、モザイクをかける範囲の始点と終点で[■]を押して確定してください。

鏡像

左右が反転した鏡像表示にします。

元に戻す※

編集したファイルを元に戻します。

※：編集前のファイルでは利用できません。

お知らせ

・「サイズ変更」は、編集元の静止画より大きいサイズには変更できません。また、編集元のサイズによっては、変更できない場合があります。

・「サイズ変更」で選択したサイズが、編集元の静止画の縦横比と異なる場合は、元の画像の比率を保ったまま「サイズ変更」で指定したサイズに画像が入るように変更されます。
・画像サイズが「1280×1024」の静止画は、「挿入」「撮影効果」は設定できません。
・「フレーム」を設定できる画像サイズは、「352×288」「320×240」「176×220」「176×144」「128×96」です。それ以外のサイズは「フレーム」を設定できません。
・「トリミング」は、編集元の静止画より大きいサイズは選択できません。
・お買い上げ時に登録されているテキストボックス、フレーム、スタンプについては「お買い上げ時に登録されているデータ」の「テキストボックス」(P267)、「フレーム」(P266)、「スタンプ」(P267)を参照してください。

動画／iモーションを再生／管理する

■ ▶ データBOX（データBOX）▶ 2

撮影した動画、サイトやiモードメールから取得した動画を再生します。

再生可能なファイル形式について

・FOMA端末で再生できるファイルは次のとおりです。

ファイル形式※	MP4
符号方式	MP4ファイル（映像：MPEG4、H263／音声：AAC、AMR）
拡張子	3gp

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

お知らせ

・1つのフォルダ内にファイル数が 3000個以上登録されている場合、このフォルダ内にある動画／iモーションを再生しようとすると、メモリー不足で再生ができなくなる場合があります。この場合は、ファイルを他のフォルダに移動またはコピーしてから再生してください。

動画／ｉモーションを再生する

1. データBOXメニュー（P167）から「ｉモーション」

＜フォルダ一覧画面＞

- ［切替］：フォルダ一覧画面の表示方法を変更します。

2. フォルダを選択▶

・画面に表示されるマークについては、「画像ファイル一覧画面に表示されるマークについて」（P169）を参照してください。

＜動画ファイル一覧画面＞

- ［メール］：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

3. ファイルを選択▶

＜動画再生画面＞

- ［再生］／［ポーズ］／：再生／ポーズ（一時停止）
- ［ストップ］：停止
- ［キャプチャ］（ポーズ中）：一時停止中の画像を静止画として保存→P178
- ：前のファイル／次のファイルを再生
- （押し続ける）：押している間、映像を早送り／早戻し
- ／：音量調節

フォルダ一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P263

利用できるサブメニューについては、画像の「フォルダ一覧画面のサブメニューを利用する」（P170）を参照してください。

データBOX

動画ファイル一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P263

1. **動画ファイル一覧画面（P176）でファイルを選択▶ [✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択**

再生
選択中のファイルを再生します。

新規フォルダ※1
フォルダを作成します。

ファイル※1
－**移動**※2：選択中のファイルを他のフォルダに移動します。移動先フォルダを選択→[iα]［貼付］を押してください。
－**コピー**※2：選択中のファイルを他のフォルダにコピーします。コピー先フォルダを選択→[iα]［貼付］を押してください。
－**1件削除**：選択中のファイルを削除します。
－**全件削除**：フォルダ内のファイルをすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要になります。
－**名称変更**：選択中のファイルの名前を変更します。

選択／解除※1
複数のファイルを選択して移動、コピー、削除します。選択後は[✉]［メニュー］→「ファイル」→「移動」／「コピー」／「削除」を選択してください。
－**選択**：ファイルを1件ずつ選択します。
－**全件選択**：すべてのファイルを選択します。
－**解除**：「選択」「全件選択」で選択したファイルを1件ずつ解除します。
－**全件解除**：「選択」「全件選択」で選択したすべてのファイルの選択を解除します。

メール作成※1※3
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

着信音
音声通話とテレビ電話の着信音を設定します。
－**音声通話**：選択中のファイルを音声通話の着信音に設定します。
－**テレビ電話**：選択中のファイルをテレビ電話の着信音に設定します。

並べ替え
ファイルを並べ替えます。

表示
ファイルの表示方法を変更します。

メモリー情報
「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

情報表示
選択中のファイルの名前、サイズ、種別、保存日時、再生時間、制限状態、トラック状態、着信音に設定可能／不可能、タイトル、作成者、コピーライト、説明を表示します。

※1：「プリインストール」フォルダ内では利用できません。
※2：「プリインストール」フォルダには移動、コピーできません。
※3：制限が設定されているファイルでは利用できません。

動画再生画面のサブメニューを利用する

・ 映像が録画されていない音声のみのMP4ファイルは、「メロディ再生画面のサブメニューを利用する」（P181）を参照してください。

設定項目／お買い上げ時 →P263

1. 動画再生画面（P176）で［メール］［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

ポーズ※3（**再生**※5）
再生中の動画を一時停止します。

メール作成※1※2
ファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

拡大再生※3
ソフトキー、プレーヤーなどの表示を消して、動画をディスプレイ全体に表示して再生します。
・ CLEAR/🔈：拡大表示を解除します。

キャプチャ※2※4
一時停止中の画像を静止画として保存します。キャプチャした画像は「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。→P169

ミュート設定（ミュート解除）
音を消して動画を再生します。

情報表示
再生中の動画ファイルの名前、サイズ、種別、保存日時、再生時間、制限状態、トラック状態、着信音に設定可能／不可能、タイトル、作成者、コピーライト、説明を表示します。

※1：「プリインストール」フォルダ内では利用できません。
※2：制限が設定されているファイルでは利用できません。
※3：再生中のみ利用できます。
※4：一時停止中のみ利用できます。
※5：一時停止中、再生終了後に利用できます。

メロディを再生／管理する

■▶ データBOX（データBOX）▶ 3

お買い上げ時に登録されているメロディや、サイトなどから取得したメロディを再生します。

再生可能なファイル形式について

・FOMA端末で表示できるファイルは次のとおりです。

ファイル形式※1	SMF、MFi、MP4※2
拡張子	mid、mld

※1：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
※2：音声フォーマットがAAC、AMRのファイルは、「ｉモーション」フォルダに3gpファイルとして保存されます。

お知らせ

・1つのフォルダ内にファイル数が 3000個以上登録されている場合、そのフォルダ内にあるメロディを再生しようとすると、メモリー不足で再生ができなくなる場合があります。この場合は、ファイルを他のフォルダに移動またはコピーしてから再生してください。

メロディを再生する

1. データBOXメニュー（P167）から「メロディ」

フォルダ名、フォルダ内にあるファイル数

<フォルダ一覧画面>

・iα［切替］：フォルダの表示方法を変更します。

2. フォルダを選択▶■

・画面に表示されるマークについては、「画像ファイル一覧画面に表示されるマークについて」（P169）を参照してください。

ファイル名、ファイルサイズ

<メロディファイル一覧画面>

・iα［メール］：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

3. ファイルを選択▶■

＜メロディ再生画面＞

- ■［再生］／［ポーズ］／ ：再生／ポーズ（一時停止）
- ：前のファイル／次のファイルを再生
- （押し続ける）：押している間、メロディを早送り／早戻し
- ／ ：音量調節
- ［ストップ］：メロディ再生を停止します。

お知らせ

・自動繰り返し再生が設定されたMFi形式のメロディファイルを再生する場合、2回目以降の繰り返し再生中に■を押してもポーズ（一時停止）できません。ポーズする場合は、サブメニューから「ポーズ」を選択してください。→P181

フォルダ一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P263

利用できるサブメニューについては、画像の「フォルダ一覧画面のサブメニューを利用する」（P170）を参照してください。

メロディファイル一覧画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P263

利用できるサブメニューについては、「動画ファイル一覧画面のサブメニューを利用する」（P177）を参照してください。

お知らせ

・着信音やアラーム、スケジュールに設定しているメロディを削除すると、それぞれのメロディはお買い上げ時の設定に戻ります。

メロディ再生画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P263

1. メロディ再生画面（P180）で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

ポーズ※4（再生※5）
再生中のメロディを一時停止します。

メール作成※1※2
ファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成する」の操作2（P152）に進みます。

着信音※2※3
音声電話またはテレビ電話の着信音として設定します。

ミュート設定（ミュート解除）
音を消してメロディを再生します。

再生設定※3
メロディの繰り返し再生方法を設定します。

－**なし**：繰り返し再生を解除します。

－**現在のファイル（[1曲リピート]）**：再生中のメロディを繰り返し再生します。

－**全ファイル（[全曲リピート]）**：フォルダ内のすべてのメロディを繰り返し再生します。

－**シャッフル（Shuffle）**：フォルダ内すべてのメロディをシャッフル再生します。

情報表示
再生中のメロディファイルの名前、サイズ、種別、保存日時、再生時間、着信音に設定可能／不可能、制限状態、タイトルを表示します。

※1：「プリインストール」フォルダ内では利用できません。
※2：制限が設定されているファイルでは利用できません。
※3：映像が録画されていない音声のみのMP4ファイルでは利用できません。
※4：再生中のみ利用できます。
※5：一時停止中、再生終了後に利用できます。

お知らせ

・着信音の設定はメロディファイル一覧画面でも設定できます。メロディファイル一覧画面（P179）で[✉]［メニュー］→「着信音」を選択してください。

LifeKit

LifeKitニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶
（LifeKit）または「LifeKit」

アラームを利用する

(LifeKit) ▶ 1

指定した時刻にアラームを鳴らすように設定します。スヌーズやアラーム音の設定もできます。

アラームを設定する

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. LifeKitメニュー（P183）から「アラーム」

マーク	説　明
	アラームが「ON」に設定
	アラームの繰り返しが設定

＜アラーム一覧画面＞

・ ［ON］／［OFF］：選択中のアラームをON／OFFします。

2. 編集するアラームを選択 ▶ ▶ 次の編集する項目を選択 ▶ ▶ 編集後 ［完了］

ON／OFF設定
「ON」または「OFF」を選択します。アラームを設定する場合は「ON」を選択してください。

時刻設定
アラームを鳴らす時刻を設定します。

繰り返し設定
繰り返しの種類を選択します。
・「日／祝／休日除く」に設定すると、日曜日と「休日設定」（P196）で設定した休日にはアラームを通知しません。

メロディ
アラーム音を選択します。
・「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P179

メモ
アラームの名前を入力します。

ターボアラーム
アラームが最大音量で鳴り、バイブレータが最大で振動するように設定します。
ターボアラームを設定しない場合は「OFF」を選択してください。

スヌーズ
スヌーズ通知する時間の間隔を選択します。スヌーズ通知を設定したくない場合は「OFF」を選択してください。
「ON」に設定すると、最大12回まで繰り返し通知します。※

※：アラーム中に ［スヌーズ］を押してアラームを止めた場合は、最後に ［スヌーズ］を押してから最大12回まで繰り返し通知します。

アラームを設定した時刻になると

アラームをお知らせする画面が表示され、FOMA端末からアラーム音が鳴ります。
アラームを止めるには次の操作を行います。

- ■［解除］：アラーム音が止まります。スヌーズを設定している場合は、スヌーズも解除されます。
- iα［スヌーズ］／☎／FOMA端末を閉じる：アラーム音が止まります。スヌーズ通知は継続されます。
- 何も操作しなかった場合、アラーム音は約1分後に止まります。アラームにスヌーズが設定されている場合は、時間間隔の設定に関係なく、約5分後に再びアラームを通知します。

■音声電話またはテレビ電話通話中のときは

アラーム設定時刻になると通話中画面の上部に⏰が点滅し、アラーム音は鳴りません。通話を終了した後に、アラームをお知らせする画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

- アラーム通知中に音声電話またはテレビ電話を着信した場合は、アラームをいったん停止し、通話を終了した後に再びアラームを通知します。

■動画、メロディ再生中／カメラ、ビデオカメラ起動中／iアプリ起動中のときは

アラーム設定時刻になると画面の上部に⏰が点滅し、アラーム音は鳴りません。再生／撮影／起動画面を終了した後に、アラームをお知らせする画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

お知らせ

- FOMA端末の電源が入っていない場合は、アラームを通知しません。

アラーム一覧画面のサブメニューを利用する

1. アラーム一覧画面（P184）で✉［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

編集
選択中のアラームを編集します。「アラームを設定する」の操作2（P184）に進みます。

ON（OFF）
設定したアラームをON／OFFします。

選択／解除
編集したアラームを複数選択して「ON」または「OFF」します。選択後は✉［メニュー］→「ON」／「OFF」を選択してください。

－**選択**：アラームを1件ずつ選択します。
－**全件選択**：すべてのアラームを選択します。
－**解除**：「選択」「全件選択」で選択したアラームを1件ずつ解除します。
－**全件解除**：「選択」「全件選択」で選択したすべてのアラームの選択を解除します。

ショートカットメニューを設定する

ショートカットメニューは待受画面で[]を押すだけで表示できるので、よく利用する機能などを登録することで、すばやく起動できます。

設定項目／お買い上げ時 →P248

1. LifeKitメニュー（P183）から「ショートカットメニュー」

<ショートカットメニュー画面>

- [■]［選択］：選択中の機能を起動します。
- [iα]［編集］：登録した機能を変更します。

2. 未登録のメニューを選択 ▶ [iα]［追加］

- ショートカットメニューに登録できる機能が一覧表示されます。

3. 機能を選択 ▶ [■]

- 既に登録済みの機能は選択できません。

ショートカットメニュー画面のサブメニューを利用する

1. ショートカットメニュー画面（左記）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規追加※1
機能一覧から登録した機能を追加します。「ショートカットメニューを設定する」の操作3（左記）に進みます。

開く※2
選択中の機能を起動します。

編集※2
登録済みの機能を変更します。「ショートカットメニューを設定する」の操作3（左記）に進みます。

1件削除※2
登録済みの機能を削除します。

全件削除
登録済みの機能をすべて削除します。

※1： 未登録のメニューを選択中に表示されます。
※2： 登録済みの機能を選択中に表示されます。

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと、赤外線通信を利用して電話帳やブックマークなどのデータを送受信できます。

赤外線通信で送受信できるデータ

データの種類	内　容
電話帳	1件および全件送信／受信（FOMA端末本体の電話帳） 送信／受信できるデータは、名前／電話番号／メールアドレス／メモ／アドレス／ホームページです。 （vCardの項目）
	自局番号
ブックマーク	赤外線１件および赤外線全件送信／受信（FOMA端末本体のブックマーク） 赤外線送信／受信できるデータは、タイトル／URLです。 （vBookmarkの項目）

赤外線通信を行うには

FOMA端末の赤外線ポートと相手側の赤外線ポートが平行に向き合うように置きます。

・FOMA L602iの赤外線ポートは、FOMA端末の上側にあります。→P28
・机などの安定した台の上に置き、通信中はFOMA端末を動かさないでください。
・赤外線通信の通信距離は約20cm以内でご利用ください。
・赤外線通信角度は中心からの角度を±15度以内でご利用ください。

お知らせ

・赤外線通信中に電池パックを取り外さないでください。取り外した場合は、データは転送されずに赤外線通信を中止します。
・電池残量が少ないと、赤外線通信ができません。赤外線通信を行う前にFOMA端末の電池が十分に残っているかどうか確認してください。
・データを保存するメモリーの空き容量によって、受信できるデータ量は異なります。データを受信できないときは、不要なデータなどを削除してから赤外線通信をやり直してください。
・赤外線通信を行う前に、相手の機器と赤外線通信ができるかどうかを確認してください。
・相手側の機器が赤外線通信機能を搭載した機器でも、データを転送できない場合があります。
・赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

データを送信する

受信側を受信状態にしてから、次の手順で 約30秒以内に送信を開始します。

<例：電話帳を送信する場合>

1. 送信したいデータの画面 ▶ [✉] [メニュー] ▶ 「赤外線送信」※ ▶ 「1件送信」／「全件送信」 ▶ 「はい」

※：ブックマークを送信する場合は表示されません。

2. 受信側の受信状態を確認▶ 「はい」

・全件送信の場合は、端末暗証番号（P106）と認証パスワード※を入力します。
※：受信側の機器と同じ認証パスワードを入力します。

データを受信する

1. LifeKitメニュー（P183）から「赤外線受信」

2. 送信側の機器で送信操作を行う

3.「1件受信」／「全件受信」 ▶「はい」

・全件受信の場合は、端末暗証番号（P106）と認証パスワード※を入力します。
※：送信側の機器と同じ認証パスワードを入力します。

・ブックマークの1件受信の場合は、Bookmark登録画面が表示されるので、確認して［完了］を押します。

・電話帳は、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。

・ブックマークは、ブックマーク一覧の先頭に登録されます。

・受信後電話帳は、「電話帳検索」（P66）ブックマークは、「Bookmark」（P123）で確認できます。

・ブックマークの赤外線受信中に電池パックの取り外しや電源OFFなどが発生し、受信が中断された場合は、受信が中断する前までに受信されたブックマークは保存されません。

電卓を利用する

▶（LifeKit）▶

足し算や引き算、掛け算、割り算などの計算ができます。ダイヤルボタンで数字を入力します。

1. LifeKitメニュー（P183）から「電卓」

四則演算（+、−、×、÷（/））
／を押して操作します。

＜電卓画面＞

・［＊］：小数点を入力します。
・［#］：カッコを入力します。
・［CLEAR］：入力した数字を後ろから消去します。
・［AC］：数字、計算をすべて消去します。

電卓画面の機能メニューを利用する

1. 電卓画面（上記）で［機能］▶ 次の機能メニュー項目を選択

＋／−
正数と負数を切り替えます。
操作2には進みません。

sin
三角関数の計算に使用します。

cos
三角関数の計算に使用します。

tan
三角関数の計算に使用します。

log
対数関数の計算に使用します。

ln
自然対数の計算に使用します。
指定された正の数値の自然対数（底をeとする対数）を計算します。

exp
指数関数の計算に使用します。

sqrt
平方根（ルート）の計算に使用します。

deg
角度の単位を「度」に指定します。

rad
角度の単位を「ラジアン」に指定します。
ラジアンは、定数π（180°がπラジアン）で角度を表します。
1ラジアンは(360度/2π)=約57.29578度、1度は(2π/360度)=約0.01745ラジアン(π=3.141592653)

2. 数値を入力▶ ■ [=]

単位変換ツールを利用する

通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を利用する単位に変換できます。

通貨の単位を変換する

手持ちの円をドルに変換するときなどに便利な機能です。

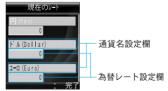
設定項目／お買い上げ時 →P249

為替レートを設定する

変換操作をする前に、為替レートを設定します。

1. LifeKitメニュー（P183）から「単位変換ツール」▶「通貨」

・通貨の変換画面（P190）が表示されます。

2. 通貨欄を選択▶ [レート]

＜為替レート設定画面＞

3. 次の設定項目を選択 ▶ 設定後［iα］［完了］

通貨名設定欄
通貨の名前を設定します。［■］を押すと編集できます。ただし、「円」は編集できません。

為替レート設定欄
為替レートを設定します。例えば米ドルと円で変換する場合（例：1ドル⇔120円）は、「円」に120を設定し、「米ドル」に1を設定します。
- ［#］：小数点を入力します。
- ［CLEAR/◀］：入力した数字を後ろから消去します。

通貨を変換する

為替レートを設定した通貨を他の通貨へ変換します。上下2つの入力欄のどちらからでも入力が可能で、入力をしていない方の欄には変換後の数値が表示されます。

1. LifeKitメニュー（P183）から「単位変換ツール」▶「通貨」

<通貨の変換画面>

2. 次の項目を選択

通貨単位欄
変換元／変換後の通貨を選択します。

数値入力欄
変換したい通貨の数値を入力します。入力をしていない方には変換後の数値が表示されます。
- ［#］：小数点を入力します。
- ［CLEAR/◀］：入力した数字を後ろから消去します。
- ［iα］［リセット］：入力した数字をすべて消去します。

面積の単位を変換する

［■］▶ （LifeKit）▶ ［5］［2］

面積の単位を変換します。上下2つの入力欄のどちらからでも入力が可能で、入力をしていない方の欄には変換後の数値が表示されます。

設定項目／お買い上げ時 →P249

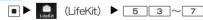
1. LifeKitメニュー（P183）から「単位変換ツール」▶「面積」

<面積の単位変換画面>

面積単位欄
変換元／変換後の面積の単位を選択します。

数値入力欄
変換したい面積の数値を入力します。入力していない方には変換後の数値が表示されます。

- ＃ ：小数点を入力します。
- CLEAR ：入力した数字を後ろから消去します。
- iα ［リセット］：入力した数字をすべて消去します。
- 入力最大値は、整数10桁、小数点以下8桁です。ただし、実数入力時は小数点を含め10桁となります。
- 出力最大値は、整数10桁、小数点以下6桁です。ただし、小数点以下7桁から四捨五入した値となります。

長さ／重量／温度／容積／速度の単位を変換する

設定項目／お買い上げ時 →P249、P250

1. LifeKitメニュー（P183）から「単位変換ツール」▶「長さ」／「重量」／「温度」／「容積」／「速度」

- 以降の操作は、「面積の単位を変換する」（P190）と同様に操作してください。

世界時計を利用する

世界の主要都市の日時を確認したり、サマータイムを設定したりできます。「ホーム設定」に設定した都市の時間は、「日付／時刻の設定を行う」（P96）で設定した時間になります。

1. LifeKitメニュー（P183）から「世界時計」

確認している都市名と日時
・サマータイムが設定されている都市には、が表示されます。→P192

ホーム（自国）の日時

＜世界時計画面＞

- ■［一覧］：都市のリストを表示して選択します。

2. で確認したい都市を選択

- iα ［設定］：選択中の都市をホームに設定します。

世界時計画面のサブメニューを利用する

設定項目／お買い上げ時 →P250

1. 世界時計画面（P191）で［✉］［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

都市選択
都市を選択します。選択後は■を押してください。

ホーム設定※1※2
選択中の都市をホームに設定します。

サマータイム設定／サマータイム解除※3
選択中の都市にサマータイムを設定／解除します。

※1：ホームに設定されている都市を選択している場合は、表示されません。
※2：ホームに設定した都市の日付がサマータイム設定などのために2000年1月1日以前になる場合は2000年1月1日に、2099年12月31日以降になる場合は2099年12月31日に、それぞれ自動的に設定されます。
※3：ホームに設定されている都市に設定した場合は、「時刻設定」（P96）にもサマータイムが適用されます。

ストップウォッチを利用する

 ▶   （LifeKit）▶ 7

FOMA端末をストップウォッチとして利用できます。

1. LifeKitメニュー（P183）から「ストップウォッチ」

・■［開始］／［停止］：計測を開始／停止します。
・［iα］［リセット］：計測結果を消去します。
・計測中は次の操作ができます。
　－［iα］［Lap］：ラップを記録し、画面の下部に表示します。
　－［✉］［履歴］：ラップを一覧で確認できます。

ミニライトを利用する

 ▶ （LifeKit）▶ 8

設定項目／お買い上げ時 →P250

フォトライトを点灯して、ミニライトとして利用できます。

1. LifeKitメニュー（P183）から「ミニライト」▶「使用する」／「使用しない」

ミニライトの点灯／消灯方法

待受画面で▲または▼を1秒以上押すと、フォトライトが点灯します。その状態で▲または▼を押すと消灯します。

・待受画面以外を表示している場合は点灯できません。

ステーショナリー

ステーショナリーメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶
（ステーショナリー）または「ステーショナリー」

スケジュールを利用する

■ ▶ (ステーショナリー) ▶ 1

スケジュールを登録する

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「スケジュール」

・1ヶ月表示画面（P195）が表示されます。

2. スケジュールを登録する日付を選択 ▶ [作成]

＜新規作成画面＞

3. 次の登録する項目を選択 ▶ 登録後 [完了]

開始日
スケジュールを開始する日付を設定します。日付はとダイヤルボタンで入力します。■を押すとカレンダー表示で選択できます。

終了日
スケジュールを終了する日付を設定します。日付はとダイヤルボタンで入力します。■を押すとカレンダー表示で選択できます。
「開始日」と「終了日」が違う場合は開始日より後日に設定します。

なし※1（スケジュールタイプ）
スケジュールの種類を設定します。

時刻
スケジュールを開始／終了する時刻を設定します。
・1件のスケジュールの開始時刻と終了時刻をそれぞれ異なる日付には設定できません。
例えば、開始日の22:00を開始時刻に、翌日の9:00を終了時刻としたスケジュールを登録する場合、開始日の22:00～23:59と終了日の0:00～9:00までの2件のスケジュールを登録します。
・終了日までの日数に関わらず、終了時刻を開始日の開始時刻より早い時間には設定できません。

－**終日**：登録中のスケジュールを一日のスケジュールとして登録します。

－**ユーザ設定**：時刻欄を選択して開始・終了する時刻を設定します。時刻はとダイヤルボタンで入力します。

件名
スケジュールの件名を入力します。件名を入力しないとスケジュールを登録できません。

アラーム
「開始日」と「時刻」に設定した日付・時刻になったときなどに、アラームで通知するかどうかを設定します。「アラームなし」以外に設定したときは「メロディ※1」を選択します。
・「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P179

繰り返し※2
このスケジュールの繰り返し方法を設定します。繰り返さないときは「1回」を選択します。

※1：設定した内容が表示されています。
※2：「開始日」と「終了日」を違う日付に設定した場合は、「1回」のみ利用できます。

お知らせ

- スケジュールは200件、休日は100件まで登録できます。
- 「件名」には全角で69文字、半角で138文字まで入力できます。
- アラームが設定されているスケジュールの設定時刻になると、スケジュールをお知らせする画面が表示されます。
  - ■［OK］：アラームが止まり、スケジュールの開始時間、件名などが表示されます。さらに■を押すとアラームが解除されます。
  - iα［スヌーズ］：スヌーズを設定します。
- 通話中やカメラ撮影中などに、設定した時刻になった場合の動作については、「アラームを設定した時刻になると」（P185）を参照してください。

スケジュールの内容を確認する

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「スケジュール」

スケジュールが登録されている日付には下線が付きます。

カーソルを合わせた日付に登録されているスケジュールの件数

<1ヶ月表示画面>

- 1 3：表示を年単位で切り替えます。
- 7 9／▲▼：表示を月単位で切り替えます。
- 5：カーソルが現在の日付に戻ります。
- iα［作成］：スケジュールを作成します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。

2. スケジュールが登録されている日付を選択 ▶ ■

<1日表示画面>

マーク	説　明
(アラームアイコン)	アラームを設定
(繰り返しアイコン)	繰り返しを設定

- iα［作成］：スケジュールを作成します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。
- ◀▶：前日／後日のスケジュールを表示します。

3. スケジュール項目を選択 ▶ ■

<表示画面>

マーク	説　明
(スケジュールタイプアイコン)	スケジュールタイプ
(休日アイコン)	休日
(アラーム音アイコン)	アラーム音

- これ以外のマークについてはP194を参照してください。

ステーショナリー

・[■]［編集］：表示中のスケジュールを編集します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。
・[iα]［削除］：表示中のスケジュールを削除します。
・[◀▶]：前後のスケジュールを表示します。

1ヶ月表示画面のサブメニューを利用する

1. 1ヶ月表示画面（P195）で[✉]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規作成
スケジュールを登録します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。

開く
選択中の日付のスケジュール内容（1日表示画面）を表示します。

休日設定※
選択中の日付を休日に設定します。休日名入力後は[iα]［完了］を押してください。設定した日付は1ヶ月表示画面で赤色になります。

－**日付指定**：休日名を入力し、選択中の日付を休日に設定します。
－**毎週**：休日名を入力し、選択中の日付の曜日を毎週休日に設定します。
－**毎月**：休日名を入力し、選択中の日付を毎月休日に設定します。
－**毎年**：休日名を入力し、選択中の日付を毎年休日に設定します。
－**期間設定（2〜31）**：休日名を入力し、休日にする期間を設定します。

指定日へ移動
指定した日にカーソルが移動します。日付は[◀▶]とダイヤルボタンで入力します。

削除
－**休日設定削除**：選択中の日付に設定されている休日設定をすべて解除します。
－**前日まで削除**：当日より前の日付に設定されているスケジュールをすべて削除します。
－**1日分削除**：選択中の日付のスケジュールを削除します。
－**1週間分削除**：選択中の日付と同じ週のスケジュールをすべて削除します。
－**1ヶ月分削除**：表示中の月のスケジュールをすべて削除します。
－**全件削除**：すべてのスケジュールを削除します。

カレンダー表示設定
－**日曜日先頭表示**：週の開始を日曜日にして表示します。
－**月曜日先頭表示**：週の開始を月曜日にして表示します。

※：既に「休日設定」している日付を選択している場合は利用できません。

1日表示画面のサブメニューを利用する

1. 1日表示画面（P195）で[メール]［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規作成
スケジュールを登録します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。

開く
選択中のスケジュール内容（表示画面）を表示します。

編集※1
選択中のスケジュールを編集します。「スケジュールを登録する」の操作3（P194）に進みます。

休日設定※2
休日に設定します。設定項目については「1ヶ月表示画面のサブメニューを利用する」の「休日設定」（P196）を参照してください。

選択／解除
スケジュールを複数選択して削除する場合に使用します。選択後は[iα]［削除］を押します。

指定日へ移動
指定した日のスケジュールが表示されます。日付は[十字キー]とダイヤルボタンで入力します。

削除
選択中のスケジュールを削除します。

※1：「休日設定」などで作成された「休日」のスケジュールを選択している場合は利用できません。
※2：既に「休日設定」している日付の1日表示画面では利用できません。

メモを利用する

[■] ▶ [ステーショナリー]（ステーショナリー）▶ [2]

メモを作成する

メモを作成して30件まで保存できます。

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「メモ」
・メモ画面（下記）が表示されます。

2. [iα]［作成］▶ メモを入力 ▶ [■]
・メモは全角で128文字、半角で256文字まで入力できます。

メモを表示する

作成したメモを表示します。

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「メモ」

<メモ画面>

次のページへ続く

2. 表示するメモを選択 ▶ ■

・表示画面が表示されます。
・■［編集］：表示中のメモを編集します。
・iα［削除］：表示中のメモを削除します。
・◀▶：前後のメモを表示します。

メモ画面／表示画面のサブメニューを利用する

1. メモ画面（P197）／表示画面で✉［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規作成
メモを作成します。

開く※
選択中のメモの表示画面を表示します。

編集
選択中／表示中のメモを編集します。

選択／解除※
メモを複数選択して削除する場合に使用します。選択後はiα［削除］を押します。

削除
選択中／表示中のメモを削除します。

※：表示画面のサブメニューでは表示されません。

待受メモを利用する

■ ▶ ステーショナリー（ステーショナリー）▶ 3

待受メモを作成する

待受画面に表示させるメモを作成して5件まで保存できます。

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「待受メモ」

＜待受メモ画面＞

・■［編集］：選択中の待受メモを編集します。

2. iα［作成］▶ 待受メモを入力 ▶ ■

・待受メモは全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

お知らせ

・待受メモを複数登録している場合は、FOMA端末を開閉するたびに、1件ずつランダムに表示します。
・待受メモが待受画面に表示されない場合は「待受メモ」（P81）の「画面表示」を確認してください。

待受メモ画面のサブメニューを利用する

1. 待受メモ画面（P198）で［メニュー］ ▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規作成
待受メモを作成します。

編集
選択中の待受メモを編集します。

選択／解除
待受メモを複数選択して削除する場合に使用します。選択後は［削除］を押します。

削除
選択中の待受メモを削除します。

日付サーチを利用する

■ ▶ （ステーショナリー） ▶ 4

ある日付から指定した期間が過ぎたときの日数（ターゲット日）を調べることができます。例えば当日から90日後の日付を知りたい場合などに利用すると便利です。

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「日付サーチ」 ▶ 次の設定する項目を選択

・［リセット］：設定値をリセットします。

開始日
サーチを開始する日付を設定します。日付はとダイヤルボタンで入力します。

期間
日数を設定します。日数はダイヤルボタンで入力します。例えば「開始日」から90日後の日付を知りたい場合は「90」を入力します。「9999」日後まで設定できます。

日付カウンターを利用する

■ ▶ ［ステーショナリー］（ステーショナリー）▶ 5

誕生日などのイベントの名前と日付を20件まで登録できます。あと何日でイベントがあるか、またはイベントから何日過ぎたかを確認できます。

日付カウンターに登録する

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「日付カウンター」

・日付カウンター画面（右記）が表示されます。

2. ［作成］ ▶ 次の設定項目を選択 ▶ 設定後 ［完了］

日付
イベントなどがある日付を設定します。日付は とダイヤルボタンで入力します。

メモ
メモを全角で40文字、半角で80文字まで入力できます。入力しないと設定できません。

日付カウンターを表示する

1. ステーショナリーメニュー（P193）から「日付カウンター」

数字の前に－：
登録した日付から現在までの日数

日付カウンターを待受画面に表示中

数字の前に＋：
現在から登録した日付までの日数

＜日付カウンター画面＞

・ ［作成］：日付カウンターを作成します。「日付カウンターに登録する」の操作2（左記）に進みます。

2. 日付カウンターを選択 ▶ ■

＜表示画面＞

- ■［編集］：表示中の日付カウンターを編集します。「日付カウンターに登録する」の操作2（P200）に進みます。
- ［削除］：表示中の日付カウンターを削除します。
- ：前後の日付カウンターを表示します。

日付カウンターを待受画面に表示するには

日付カウンター画面（P200）で待受画面に表示する日付カウンターを選択し、［メニュー］→「待受画面表示」を選択します。

- 待受画面に表示している日付カウンターを消去する場合は、同様に操作して「画面表示解除」を選択します。

日付カウンター画面／表示画面のサブメニューを利用する

1. 日付カウンター画面（P200）／表示画面（左記）で［メニュー］ ▶ 次のサブメニュー項目を選択

新規作成
日付カウンターに登録します。「日付カウンターに登録する」の操作2（P200）を参照してください。

開く※
選択中の日付カウンターを表示します。

編集
選択中／表示中の日付カウンターを編集します。「日付カウンターに登録する」の操作2（P200）に進みます。

待受画面表示／画面表示解除※
選択中の日付カウンターを待受画面に表示するかどうかを設定します。

選択／解除※
日付カウンターを複数選択して削除する場合に使用します。選択後は［削除］を選択します。

削除
選択中／表示中の日付カウンターを削除します。

※：表示画面のサブメニューでは表示されません。

サービス

サービスメニューの表示方法

待受画面で■［メニュー］▶ (サービス）または「サービス」

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	必要	有料	右記
キャッチホン	必要	有料	P206
転送でんわサービス	必要	無料	P207
OFFICEED	必要	有料	P211
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P208
発信者番号通知サービス	不要	無料	P208
番号通知お願いサービス	不要	無料	P209
遠隔操作	不要	無料	P210
国際ローミング時サービス	不要	無料	P210
英語ガイダンス	不要	無料	P212
サービスダイヤル	不要	無料	P213
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P52
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P54

・本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
・『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』に記載されているすべてのサービスには対応していません。
・お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

お知らせ

・「圏外」が表示されているときは、ネットワークサービスセンターに接続して操作を行うネットワークサービスはご利用になれません。
・ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスを登録できます。→P211

留守番電話サービスを利用する

■▶（サービス）▶ 1

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

・留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに、かかってきた音声電話に応答しなかった場合は、着信履歴には不在着信として記録され、不在着信を示す画面が表示されます。
・本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声電話発信し、「非対応」に設定してください。
・番号通知お願いサービスを「番号通知サービス開始」に設定している場合は、非通知の電話がかかってくると番号通知お願いガイダンスが流れ、伝言メッセージはお預かりできません。

1. サービスメニュー（P203）から「留守番電話」▶ 次の設定する項目を選択

留守番サービス開始
留守番電話サービスを開始します。

留守番呼出時間設定
電話を着信してから留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。

留守番サービス停止
留守番電話サービスを停止します。

留守番設定確認
現在の留守番電話サービスの設定状況を確認します。[✉]［メニュー］を押すと、留守番電話サービスの開始や停止、留守番呼出時間を設定できます。

留守番メッセージ再生
録音された伝言メッセージを再生します。

留守番サービス設定
留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って設定を変更します。

メッセージ問合せ
新しい伝言メッセージが録音されているかどうかを問い合わせます。

着信通知
FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

－**着信通知開始**：着信通知サービスを開始します。
－**着信通知停止**：着信通知サービスを停止します。
－**着信通知設定確認**：着信通知サービスの設定状況を確認します。

留守番アイコン消去
アイコン表示エリアに表示されている[留守番アイコン]を消去します。

件数増加鳴動設定
新しい伝言メッセージが録音されたときに着信音を鳴らすかどうかを設定します。

キャッチホンを利用する

■ ▶ (サービス) ▶ 2

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話にでることができます。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「着信中動作設定」（P209）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 番号通知お願いサービスを「番号通知サービス開始」に設定している場合は、非通知の電話がかかってくると番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンは利用できません。
- 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきた場合、またはテレビ電話通話中に音声電話がかかってきた場合は、キャッチホンは動作しません。着信履歴に不在着信として記憶されます。

1. サービスメニュー（P203）から「キャッチホン」▶次の設定する項目を選択

キャッチホンサービス開始
キャッチホンを開始します。

キャッチホンサービス停止
キャッチホンを停止します。

キャッチホンサービス設定確認
キャッチホンが設定されているか、停止されているかを確認します。

キャッチホン利用時の通話中画面のサブメニューについて

- ✉［メニュー］を押してサブメニューを表示します。

■ 通話中に別の相手から電話がかかってきたとき

留守番電話※1
別の相手からの電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

着信拒否
別の相手からの電話を受けずに電話を切ります。

転送でんわ※2
別の相手からの電話を登録済みの電話番号に転送します。

現在の通話を終了
通話中の電話を切って別の相手からの着信画面を表示します。着信中の電話に出ることができます。

ミュート設定／ミュート解除
相手に送信する音声を無音または無音を解除します。

※1：留守番電話サービスをご契約の場合のみ利用できます。留守番電話については「留守番電話サービスを利用する」（P204）を参照してください。

サービス

※2：転送でんわサービスをご契約の場合のみ利用できます。転送でんわについては「転送でんわサービスを利用する」（下記）を参照してください。

■保留中の相手がいる状態で、もう一方の相手と通話しているとき（マルチ接続中）

通話切替
通話中の電話を保留にして保留中の別の相手と通話します。

通話を終了
－**現在の通話を終了**：通話中の電話を切り、保留中の別の相手と通話します。
－**保留中通話を終了**：保留中の電話を切ります。
－**全ての通話を終了**：両方の電話を切ります。

ミュート設定／ミュート解除
通話中の相手に送信する音声を無音にします。

転送でんわサービスを利用する

■ ▶ （サービス） ▶ 3

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

・転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴には不在着信として記録され、不在着信を示す画面が表示されます。
・番号通知お願いサービスを「番号通知サービス開始」に設定している場合は、非通知の電話がかかってくると番号通知お願いガイダンスが流れ、転送先には転送されません。
・留守番電話サービスを「留守番サービス開始」に設定すると、転送でんわサービスは自動的に停止します。
・一部ご利用できない料金プランがあります。

1. サービスメニュー（P203）から「転送でんわ」▶ 次の設定する項目を選択

転送サービス開始
転送でんわサービスを開始します。
－**転送先変更**：転送先の電話番号を登録します。✉［検索］を押すと、電話帳から検索できます。
－**呼出時間設定**：電話を着信してから電話を転送するまでの時間を設定します。

転送サービス停止
転送でんわサービスを停止します。

転送先変更
転送先の電話番号を変更します。✉［検索］を押すと、電話帳から検索できます。

転送先通話中時設定
転送先が通話中だった場合に留守番電話サービスセンターに接続するように設定します。

転送サービス設定確認
現在の転送でんわサービスの設定状況を確認します。

転送ガイダンスの有・無を設定する場合

1 4 2 9 [発信] を押します。

・音声ガイダンスに従って設定してください。
・詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービスを利用する

■ ▶ [サービス]（サービス）▶ 4

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

・着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1. サービスメニュー（P203）から「迷惑電話ストップ」▶ 次の設定する項目を選択

迷惑電話着信拒否登録
最後に応答した相手の電話番号を登録し、着信を拒否するように設定します。

迷惑電話全登録削除
拒否登録した電話番号をすべて削除します。

迷惑電話1登録削除
最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

発信者番号通知サービスを利用する

■ ▶ [サービス]（サービス）▶ 5

電話をかけたときにお客様の電話番号を相手に通知することができるサービスです。相手の電話機がデジタル端末で発信者番号を表示できる場合は、お客様の電話番号が相手の電話機に表示されます。

・発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

1. サービスメニュー（P203）から「発信者番号通知」▶ 次の設定する項目を選択

発信者番号通知設定
電話をかけたときに、自分の電話番号を相手に通知します。設定にはネットワーク暗証番号の入力が必要になります。

設定確認
現在の発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

番号通知お願いサービスを利用する

■ ▶ (サービス) ▶ 6

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

・番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、不在着信を示す画面も表示されません。

1. サービスメニュー（P203）から「番号通知お願いサービス」▶ 次の設定する項目を選択

番号通知サービス開始
番号通知お願いサービスを開始します。

番号通知サービス停止
番号通知お願いサービスを停止します。

番号通知サービス確認
現在の番号通知お願いサービスの設定状況を確認します。

通話中着信設定を利用する

■ ▶ (サービス) ▶ 7

「着信中動作設定」（右記）で設定した着信動作の使用を開始、停止します。現在の設定内容を確認することもできます。

1. サービスメニュー（P203）から「通話中着信設定」▶ 次の設定する項目を選択

通話中着信設定開始
「着信中動作設定」で設定した応答方法を開始します。

通話中着信設定停止
「着信中動作設定」で設定した応答方法を停止します。

通話中着信設定確認
現在の通話中着信設定の設定状況を確認します。

通話中の着信動作を選択する

■ ▶ (サービス) ▶ 8

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話にどのように対応するかを設定できます。

・「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
・着信中動作設定を利用するには、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定してください。

設定項目／お買い上げ時 →P243

1. サービスメニュー（P203）から「着信中動作設定」▶ 次の設定する項目を選択

サービス

通常着信
着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが設定されている場合は、その設定に従います。

留守番電話
留守番電話サービスで応答します。キャッチホンを設定していても留守番電話サービスへ接続されます。

転送でんわ
あらかじめ登録している転送先へ転送します。キャッチホンや留守番電話サービスを設定していても転送されます。

着信拒否
着信を拒否します。

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

・海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作」を「遠隔操作開始」に設定しておく必要があります。

1 サービスメニュー（P203）から「遠隔操作」▶次の設定する項目を選択

遠隔操作開始
遠隔操作を開始します。

遠隔操作停止
遠隔操作を停止します。

遠隔操作設定確認
遠隔操作の設定状況を確認します。

国際ローミング時サービス

■ ▶ （サービス） ▶ 0

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの機能を、海外から利用できるサービスです。

1 サービスメニュー（P203）から「国際ローミング時サービス」▶ 次の設定する項目を選択

留守番電話（海外）
－**留守番サービス開始**：留守番サービスを開始します。
－**留守番サービス停止**：留守番サービスを停止します。
－**留守番メッセージ再生**：録音された伝言メッセージを再生します。
－**留守番サービス設定**：現在の留守番電話サービスの設定をします。

転送でんわ（海外）

－**転送サービス開始**：転送でんわサービスを開始します。

－**転送サービス停止**：転送でんわサービスを停止します。

ローミングガイダンス（海外）※

ローミングガイダンスを設定します。

※：設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを追加登録する

■▶（サービス）▶ ＊ 1

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1. サービスメニュー（P203）から「その他」▶「追加サービス」

・追加サービス一覧画面が表示されます。

2. iα［編集］▶ 次の項目を選択▶ 編集後■［OK］

サービスコード番号

ドコモから通知されたサービスコード番号（USSD）を入力します。

サービス名

任意のサービス名を入力します。iα［編集］を押して編集します。

追加サービス一覧画面のサブメニューを利用する

1. 追加サービス一覧画面で✉［メニュー］▶ 次のサブメニュー項目を選択

編集

サービスを編集します。

選択※

選択中のサービスを実行します。

1件削除※

選択中のサービスを削除します。

全件削除

登録したサービスをすべて削除します。

※：未登録を選択している場合は表示されません。

登録したサービスを利用する

1. 追加サービス一覧画面で登録したサービスを選択▶■

応答メッセージを登録する

■ ▶ [サービス]（サービス）▶ [＊][2]

「追加サービス」で追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときに応答メッセージが表示されます。

1. サービスメニュー（P203）から「その他」▶「応答メッセージ」

・応答メッセージ一覧画面が表示されます。

2. [iα]［編集］▶次の項目を選択 ▶設定後■［OK］

サービスコード番号
ドコモから通知されたサービスコード番号（USSD）を入力します。

応答メッセージ名
応答メッセージ名を入力します。[iα]［編集］を押して編集します。

応答メッセージ一覧画面のサブメニューを利用する

1. 応答メッセージ一覧画面で[✉]［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

編集
応答メッセージを設定します。

1件削除※
選択中の応答メッセージを削除します。

全件削除
登録した応答メッセージをすべて削除します。

※：未登録を選択している場合は表示されません。

英語ガイダンスを利用する

■ ▶ [サービス]（サービス）▶ [＊][3]

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

設定できる言語について

設　定	ガイダンスの言語
日本語	日本語ガイダンスが流れます。
英語	英語ガイダンスが流れます。
日本語＋英語	はじめに日本語のガイダンスが流れ、その後に英語のガイダンスが流れます。
英語＋日本語	はじめに英語のガイダンスが流れ、その後に日本語のガイダンスが流れます。

1. サービスメニュー（P203）から「その他」▶「英語ガイダンス」▶ 次の設定する項目を選択

ガイダンス設定
－**発信時＋着信時**：発信時と着信時の言語を設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。
－**発信時**：発信時の言語のみを設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。
－**着信時**：着信時の言語のみを設定します。「はい」を選択した後に言語を選択します。

ガイダンス設定確認
現在のガイダンス設定の設定状況を確認します。

サービスダイヤルを利用する

■ ▶ （サービス）▶ ＊ 4

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
・お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1. サービスメニュー（P203）から「その他」▶「サービスダイヤル」▶ 次の項目を選択

ドコモ故障問合せ
ドコモ故障問合せに電話がかかります。

ドコモ総合案内・受付
ドコモ総合案内・受付に電話がかかります。

ローミング時着信規制を利用する

■ ▶ （サービス）▶ ＊ 5

海外でFOMA端末を利用するローミング中に、着信を受け付けないように設定することができます。
・一部の海外通信事業者では、ご利用いただけません。

1. サービスメニュー（P203）から「その他」▶「ローミング時着信規制」▶ 次の設定する項目を選択

着信規制開始
－**全着信規制**：すべての着信を規制します。ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。
－**データ呼着信規制**：テレビ電話の着信のみを規制します。ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。

着信規制停止
着信規制を停止します。ネットワーク暗証番号の入力が必要になります。

着信規制設定確認
着信規制の設定状況を確認します。

データ通信

データ通信について、詳細は付属のCD-ROMに収録されている「データ通信マニュアル」をご覧ください。「データ通信マニュアル」をご覧いただくには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンなどを接続してデータ通信ができます。データ通信は、パケット通信とデータ転送（OBEX）に分類できます。
- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- PPP接続によるパケット通信には対応していません。IP接続によるパケット通信（mopera Uなど）のみに対応しています。

利用できる通信方式

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などFOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
FOMA L602iは、海外でもW-CDMAまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。
- 多量のデータの送受信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX）

赤外線を使用してFOMA端末やパソコンなどとデータを送受信する通信方式です。通信料金はかかりません。
赤外線を使用する場合は、赤外線通信機能を持つ他のFOMA端末やパソコンなどとデータの送受信ができます。

ご利用に当たっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要となります。（有料）

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件が必要です。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信の接続方式（PDP Type）のうち、IP接続に対応していること

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（USB仕様 Rev1.1/2.0準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	Windows XP、Windows 2000 （各日本語版）
必要メモリ	・Windows XP：128Mバイト以上※2 ・Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2：必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

次のページへ続く

お知らせ

- ドコモのPDA「musea」や「sigmarionⅡ」、「sigmarionⅢ」には対応していません。
- USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

データ通信の用語一覧

■APN：
Access Point Nameの略です。パケット通信の接続先（プロバイダやLANなど）を識別するときに使用されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」のAPNは「mopera.net」となります。

■cid：
Context Identifier の略です。パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときに付ける登録番号です。本FOMA端末では1～10までのcidを使って10件のAPNを登録できます。

■DNS：
Domain Name Systemの略です。URLなどに含まれる「nttdocomo.co.jp」などの表記を、コンピュータが読み込めるように数字のみのアドレスに変換するシステムです。

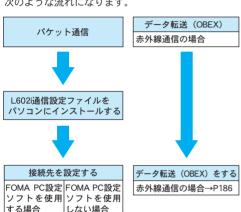
■PDP type：
PDPは、Packet Data Protocol の略です。パケット通信の方式を表し、通常はPPP接続方式とIP接続方式からプロバイダなど接続先が指定する方式を選択します。本FOMA端末は、IP接続方式のみに対応しています。
接続先が対応するPDP typeにつきましては、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■QoS：
Quality of Serviceの略です。ネットワークのサービス品質を示します。FOMA端末ではデータの通信速度※の条件を指定できます。
※：接続時の速度は通信状況などによって可変します。

■通信設定最適化（W-TCP）：
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要となります。

■パソコンの管理者権限：
Windows XP、Windows 2000のシステムのすべてにアクセスできる権限のことです。管理者権限を持たないユーザー（アカウント）は、通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストール／アンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信とデータ転送を行うときの準備について説明します。
次のような流れになります。

通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMにはL602i通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトが収録されています。

・L602i通信設定ファイルは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続して、パケット通信やデータ転送を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。
・FOMA PC設定ソフトは、パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップを簡単に設定できるソフトウェアです。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。
FOMA端末はATコマンドに準拠しています。
ATコマンドの詳細は、付属のCD-ROMに収録されている「データ通信マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF

・L602i通信設定ファイル
・FOMA PC設定ソフト
・PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
・Adobe® Reader® 8.0

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

・画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

文字入力

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字の入力が必要になる機能がいくつかあります。

文字入力画面について

文字入力画面では、そのときの入力モードや操作ガイド情報が表示されています。

＜文字入力画面＞

①入力可能文字数：入力可能な残りの文字数をバイト数で表示します。
②操作ガイド欄：全角／半角を表示します。
③入力モード欄：入力モードを表示します。

予測入力機能を設定する

入力したひらがなに続くと予想される文字などを、変換候補として表示（P223）する予測入力機能のON／OFFを設定します。

・お買い上げ時には「ON」に設定されています。

1. 文字入力画面（左記）で［メニュー］▶「入力設定」▶「予測ON／OFF」

2.「ON」／「OFF」

入力モードの切り替え

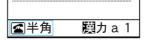
・入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1. 文字入力画面（左記）で［文字］

・［文字］を押すたびに入力モードが切り替わります。
「漢」…ひらがなや漢字を入力できます。
「カ（ｶﾅ）」…カタカナを入力できます。
「a／A※（ab／AB※）」…英字を入力できます。
※：大文字入力モード時に表示します。
「1（12）」…数字を入力できます。

全角／半角の切り替え

・入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1. 文字入力画面（左記）で

・[キー]を押すたびに「全角」と「半角」が切り替わります。

絵文字／記号／顔文字の切り替え

・入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1. 文字入力画面（P222）で[絵/記]

・[絵/記]を押すたびに入力モードが切り替わります。
「絵」…絵文字を入力できます。
「記」…全角記号を入力できます。
「ｷｺﾞｳ」…半角記号を入力できます。
「顔」…顔文字を入力できます。
－[iα]［連続］：複数選択して入力できます。選択後は[iα]［確定］を押します。
－[キー]：ページを切り替えます。「ｷｺﾞｳ」選択時はカーソルがジャンプします。

文字を入力する

目的の文字が割り当てられたダイヤルボタンを押して文字を入力します。

・文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（P228）を参照してください。

予測入力で文字を入力する

・ひらがなモード（「漢」）でのみ利用できます。

1. 文字入力画面（P222）で文字を入力

予測候補／変換候補エリア

・[✉]［カナ英数］：入力中の文字をカタカナや数字などに変換します。
・[iα]［変換］：入力中の文字を漢字などに変換します。
・[■]［確定］：入力中の文字を確定します。

2. [↕]で予測候補／変換候補エリアにカーソルを移動

3. 変換する文字を選択 ▶ [■]

通常入力で文字を入力する

・ひらがなモード（「漢」）以外で入力する場合は、変換操作（操作2以降）は必要ありません。

1. 文字入力画面（P222）で文字を入力

・[✉]［カナ英数］※：入力中の文字をカタカナや数字などに変換します。
・[■]［確定］※：入力中の文字を確定します。
※：ひらがなモード（「漢」）のみ

2. [ ]／[ ] [変換]

3. [ ]で変換候補エリアにカーソルを移動

4. 変換する文字を選択 ▶ [■]

■大文字／小文字を切り替えるには

文字を入力して[＊]を数回押します。ただし、対応していない文字では切り替えができません。

・数字モード（「1（12）」）では切り替えができません。

■濁点、半濁点を入力するには

文字を入力して[＊]を数回押します。ただし、対応していない全角文字では入力できません。

・英字モード（「a／A（ab／AB）」）、数字モード（「1（12）」）では入力できません。

■句読点を入力するには

[＊]を数回押します。

・英字モード（「a／A（ab／AB）」）、数字モード（「1（12）」）では入力できません。

■改行を入力するには

[#]／[ ]を押します。

・数字モード（「1（12）」）では[ ]を押します。

■スペースを入力するには

[✉]［メニュー］→「特殊入力」→「スペース」を選択します。文末にカーソルがある場合は[ ]を押すと入力できます。

■文字を消去するには

消去する文字にカーソルを移動して[CLEAR/◀]を押します。文末にカーソルがある場合は[CLEAR/◀]を押すと1つ前の文字を消去します。また、[CLEAR/◀]を1秒以上押すとすべての文字を消去します。

■1つ前の状態に戻すには

[#]を1秒以上押します。

文字入力画面のサブメニューを利用する

・入力している画面によっては利用できないサブメニュー項目があります。

1. 文字入力画面（P222）で[✉]［メニュー］ ▶ 次のサブメニュー項目を選択

定型文

－**定型文入力**：登録されている定型文を選択して入力します。

－**定型文編集**：定型文を作成して登録したり、登録した定型文を編集します。「定型文を編集する」の操作2（P226）に進みます。

文字編集

範囲を指定して文字をコピー／切り取りして貼り付けます。「コピー／切り取り／貼り付けを行う」の操作2（P225）に進みます。

辞書編集

単語を登録します。「単語を登録する」の操作2（P227）に進みます。

引用

－**電話帳**：電話帳の登録内容を引用します。操作方法については「電話帳を検索する」の操作3（P67）以降を参照してください。

－**自局番号**：お客様の電話番号を引用します。引用には端末暗証番号の入力が必要になります。

入力設定

－**全／半角切替**：全角／半角入力モードを切り替えます。

－**大／小文字切替**※：英字モード「 a／A（ab／AB)」の大文字／小文字入力モードを切り替えます。

－**予測ON／OFF**：予測変換機能を設定します。

特殊入力

－**改行**：カーソルの前に改行を入力します。

－**スペース**：カーソルの前にスペースを入力します。

－**区点コード**：区点コードで文字を入力します。「区点コードで入力する」の操作2（右記）に進みます。

※：英字モード「a／A（ab／AB)」に切り替えてから操作してください。それ以外のモードでは利用できません。

区点コードで入力する

4桁の区点コードを入力して文字や記号などを入力できます。

・区点コードについては、「区点コード一覧」(P273)を参照してください。

1. 文字入力画面（P222）で[✉]［メニュー］▶「特殊入力」▶「区点コード」

・区点コード画面が表示されます。

2. ダイヤルボタンで区点コードを入力▶[■]

・[✥]でも文字や記号などを選択できます。

コピー／切り取り／貼り付けを行う

文字列のコピーまたは切り取りを行い、他の画面／位置に貼り付けることができます。

1. 文字入力画面（P222）で[✉]［メニュー］▶「文字編集」▶「コピー」／「切取り」

2. [✥]で開始位置へカーソルを移動▶[■]

3. [✥]で終了位置へカーソルを移動▶[■]

4. 貼り付け先の文字入力画面を表示▶[✥]で貼り付け先へカーソルを移動

5. [✉]［メニュー］▶「文字編集」▶「貼付け」▶「はい」

・切り取った文字や貼り付けた文字を元に戻すには、[✉]［メニュー］→「文字編集」→「元に戻す」を選択します。

お知らせ

・コピーまたは切り取りした文章が、貼り付け先で入力可能な文字数を超えている場合は、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

次のページへ続く

・コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が同じときのみ貼り付けられます。例えばメールアドレスの入力欄（半角英数字）に、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
・改行が入力できない入力画面に、改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白（半角スペース）に置き換えられます。

定型文を編集する

登録済みの定型文を変更したり、新たに登録したりできます。

1. 文字入力画面（P222）で［メニュー］▶「定型文」▶「定型文編集」

＜定型文編集画面＞

2. カテゴリーを選択▶■

・定型文一覧画面が表示されます。
・定型文一覧画面で■を押すと、選択中の定型文の全体を表示できます。
・新規登録する場合は、「自由定型文」を選択します。

3. 変更する定型文／登録する項目（1〜10）を選択▶［編集］▶定型文を変更／入力▶■

定型文編集画面／定型文一覧画面のサブメニューを利用する

1. 定型文編集画面／定型文一覧画面で［メニュー］▶次のサブメニュー項目を選択

全件リセット※1	すべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
1件削除※2	選択中／表示中の定型文を削除します。
1件リセット※2	選択中／表示中の定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
カテゴリーリセット※2	カテゴリー内のすべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
キャンセル	定型文の編集を終了します。

※1：定型文一覧画面のサブメニューでは表示されません。
※2：定型文編集画面のサブメニューでは表示されません。

お知らせ

・「全件リセット」を行うと、「自由定型文」の内容はすべて削除されますのでご注意ください。

単語を登録する

文字を入力しても変換候補に出てこない単語や、特殊な読み方をする単語などを、読みとともに登録します。登録後は、その読みを入力すると変換候補に表示されます。

1. 文字入力画面（P222）で［メニュー］▶「辞書編集」

・登録単語一覧画面が表示されます。

・登録済みの辞書を確認するには、辞書を選択してを押します。

2. ［作成］▶ 次の登録する項目を選択 ▶ 登録後［登録］

読み

「単語」の読みを設定します。

単語

「読み」に設定した文字を入力すると、文字変換候補に表示される文字を設定します。

単語を削除する

1. 登録単語一覧画面で［メニュー］▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

文字入力はダイヤルボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに表示（# を押すと逆順に表示できます）される文字が切り替わります。

ボタン	ひらがなモード(「漢」)	カタカナモード(「カ(ｶﾅ)」)	英字モード(「a／A(ab／AB)」)※5	数字モード(「1(12)」)
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ	. @ / : − ～※3	1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ ヵ※2 ヶ※2	a b c A B C	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	d e f D E F	3
4	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ	g h i G H I	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	j k l J K L	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	m n o M N O	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	p q r s P Q R S	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	t u v T U V	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	w x y z W X Y Z	9
0	わ を ん ゎ （スペース） 、 。 ー ・ ！ ？	ワ ヲ ン ヮ※2 （スペース） 、 。 ー ・ ！ ？	(スペース) ！ ？ ー ， ‘ ； （ ） “ _ ～※3 ＆ ￥	0
*	゛※1 ゜※1 、。ー・！？	゛※1 ゜※1 、。ー・！？	！ ？ ー ， ‘ ； （ ） “ _ ～※3 ＆ ￥	* ＋※4 P※4
#	（改行）	（改行）	（改行）	#

※1：全角では「゛」「゜」を付けることができる文字入力中のときだけ表示されます。
※2：全角のときだけ入力できます。　※3：半角では「~」（チルダ）が表示されます。　※4：半角のときだけ入力できます。
※5：「大／小文字切替」（P225）を「大文字入力」に設定している場合は大文字から表示されます。

海外利用

国際ローミングサービスについて

国際ローミングサービス（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。国際ローミング中に利用できる通信サービスについて、詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。また、ドコモの『国際サービスホームページ』では、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』の最新版をダウンロードいただけます。

http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

WORLD WINGのお申し込み

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。
  ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方は、お申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

海外のネットワークと利用できるサービスについて

接続中のネットワーク名を表示できます。設定方法については「ネットワーク名を表示する」（P98）を参照してください。

ネットワーク	アイコン	音声電話	パケット通信（iモード・パソコン接続など）	SMS	テレビ電話
3G	3G	○	○	○	○
GPRS	2G	○	○	○	×
GSM		○	×	○	×

※ご利用中の通信事業者や地域によっては、上表で「○」となっているサービスであっても、ご利用いただけない場合があります。
※各国・地域でご利用できるサービスについて、詳しくはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

お知らせ

- 待受画面に2つの国の時刻を一緒に表示させることができます。→P81
- 海外でパソコンと接続しての64Kデータ通信はご利用になれません。

ネットワークモードを設定する

■ ▶ (設定) ▶ 5 2

お買い上げ時の設定では、ネットワークモードが「自動」に設定されています。ご利用になる地域のネットワークがわかっている場合は、直接選択して設定することもできます。

設定項目／お買い上げ時 →P255

1. 設定メニュー（P85）から「ネットワーク」▶「3G/GSM切替」▶次の設定する項目を選択

自動
接続できるすべてのネットワークを検索します。

3G
3Gに対応したネットワークのみを検索します。

GSM/GPRS
GSM/GPRSに対応したネットワークのみを検索します。

なお、ネットワークサーチ設定（通信事業者切替）については、P97を参照してください。

お知らせ

- GSMネットワーク内でも、GPRSに対応していない場合はパケット通信を行うことができません。
- 日本国内、または3Gネットワーク利用可能エリア内においては、電池消費を減らすために、「3G/GSM切替」設定を「3G」に設定することを推奨します。

海外でご利用になる前の確認

出発前の準備

充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について→P22
- ACアダプタでの充電方法について→P41、P42

海外から留守番電話・転送でんわを利用するには

海外からの留守番電話・転送でんわサービスのご利用は「遠隔操作」の扱いとなりますので、あらかじめ日本国内で「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。遠隔操作の設定については「遠隔操作を設定する」（P210）を参照してください。

※出国前にネットワーク暗証番号をご確認ください。留守番電話サービスの遠隔操作などで必要になる場合があります。お忘れになった場合は、運転免許証などの本人確認書類をご持参の上、お近くのドコモショップ、またはドコモワールドカウンターへお越しください。

海外でｉモードを利用するには

海外でｉモードサイトを閲覧するには、「海外利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。

■日本国内から設定する場合

パケット通信料は無料です。

「ｉMenu」▶「料金&お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」

■海外から設定する場合

パケット通信料は有料です。

「ｉMenu」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」

・「利用しない」に設定した場合は、ｉモードメールの送受信、および「ｉMenu」の閲覧のみ可能です。初期設定は「利用しない」となっています。

※ｉモードサイトは、情報サービス提供者により、一部利用できない場合があります。

※海外からアクセスした際は、日本国内で無料となっている通信を含め、すべてパケット通信料がかかります。

※海外からｉモードサイトにアクセスした際でも日本時間が適用されます。月末・月初めのマイメニュー登録や削除の際にはご注意ください。

※ｉモードメールは海外利用設定をしなくても送受信できます。

滞在先でのご利用について

接続する通信事業者の設定

国際ローミング中は、「ネットワークサーチ設定」(P97)が「自動」に設定されていれば、ネットワークが自動で検索され、設定されます。

・検索するネットワークの種類を「3G/GSM切替」(P97)で設定できます。

・「自動」で検索するときに、優先的に接続する通信事業者を「優先的に接続するネットワークを登録する」(P98)で設定できます。

・通信事業者を手動で直接選ぶこともできます。「ネットワークサーチ設定をする」(P97)を参照してください。

お知らせ

・「3G/GSM切替」を「3G」／「GSM/GPRS」、「ネットワークサーチ設定」を「自動」に設定して検索した後は、「3G/GSM切替」が「自動」に設定されています。

・「3G/GSM切替」を「自動」、「ネットワークサーチ設定」を「手動」に設定して検索した後は、検索後に選択したネットワーク（通信事業者）の種類と同じモード(「3G」／「GSM/GPRS」)が「3G/GSM切替」に設定されています。

帰国後の設定について

帰国後

海外でネットワークの設定を変えて利用していたときは、帰国後に「圏外」が表示される場合があります。その場合は次の設定を行ってください。

- 「3G/GSM切替」（P97）を必ず「自動」または「3G」に設定してください。
- 「ネットワークサーチ設定」（P97）を「自動」に設定するか、「手動」に設定し、検索後に表示されるネットワーク選択画面で「 JP DoCoMo-3G」を選択してください。

海外で利用する

- 相手がFOMAテレビ電話に対応した通信事業者で、テレビ電話対応機種を利用していれば、[絵/記]を押してテレビ電話をかけることができます。（電話帳に登録されている番号へかける場合を除く）

電話をかける

■滞在国から日本にかける

直接番号を入力してかける場合

[0]を1秒以上押して「+」を表示▶[8][1]（日本の国番号）▶地域番号（市外局番）の「0（ゼロ）」を除いた相手の電話番号▶[発信]（[絵/記]）

例：発信先が東京23区（03）の場合
「+」→[8][1]→[3]→XXXX−XXXX

電話帳や発着信履歴に登録されている番号へかける場合

電話帳一覧（P67）／発着信履歴（P86）画面または電話帳詳細（P67）／履歴の詳細（P86）画面で[✉]［メニュー］▶「国際電話（日本）」▶相手の番号が表示されたら[■]［発信］

例：電話帳や発着信履歴に登録された番号が東京23区（03）の場合
＋813XXXX−XXXX

- 自動的に+81（日本の国番号）が付き、地域番号（市外局番）の「0(ゼロ)」を除いた相手の電話番号になります。

■滞在国で他のWORLD WING利用者にかける

[0]を1秒以上押して「+」を表示▶[8][1]（日本の国番号）▶「0（ゼロ）」を除いた相手の携帯電話番号▶[発信]（[絵/記]）

例：発信先が携帯電話（090）の場合
「+」→[8][1]→[9][0]→XXXX−XXXX

■滞在国内にかける

相手先の電話番号を地域番号（市外局番）からそのままダイヤル▶[発信]（[絵/記]）

次のページへ続く

■滞在国から他国（日本を除く）の携帯・固定電話にかける
※イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

[0]を1秒以上押して「+」を表示▶相手国番号▶地域番号（市外局番）の「0（ゼロ）」を除いた相手の電話番号▶[通話]（[絵/記]）

電話を受ける

電話がかかってきたら[通話]（[絵/記]）

相手からの電話のかけかた

■日本から電話をかけてもらう

お客様の電話番号にいつものようにかけてもらう [0][9][0]→XXXX−XXXX／ [0][8][0]→XXXX−XXXX▶発信

■日本以外の国から電話をかけてもらう

発信国の国際アクセス番号▶[8][1]（日本の国番号）▶最初の「0（ゼロ）」を除いたお客様の電話番号▶発信

不通の際の対処とご注意

発着信できない／圏外のまま／電源が入らないとき

発着信ができない、電波の受信レベルが圏外のままになる、電源が入らないなどの場合、次の事態が想定されます。

・電波の弱い場合または利用エリア外
・現地交換機または基地局の故障、または一時的な回線の混雑
・携帯電話の操作ミス
・その他

最新のエリアや不通情報などについては、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

また、操作方法をご確認の上、次のことをお試しください。

・屋内の場合、屋外に出ても同じかご確認ください。
・お客様の月間利用額がご利用限度額を超えていないかご確認ください。
・電源を入れ直してください。
・接続する通信事業者を手動で選択してください。

上記をご確認いただいても症状が回復しない場合は、取扱説明書裏面の「ネットワークテクニカルオペレーションセンター」へご連絡ください。

ｉモードがつながらないときは

・「ｉMenu」以外のｉモードサイトが閲覧できない場合はまず「海外利用設定」（P232）を行ってください。なお、情報サービス提供者によっては一部利用できない場合があります。
・接続した通信事業者によっては、ｉモードサービスがご利用いただけない場合があります。
・パケット通信がご利用可能な通信事業者を選択してください。
・パケット通信をご利用いただける海外の通信事業者についての最新情報は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。
・海外通信事業者が提供する「ｉモード」サービスはご利用いただけません。

トラブルの際のお問い合わせ（海外渡航時）

海外での紛失や盗難、清算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

主要国の国番号

（2007年4月現在）

ご利用地域	番 号	ご利用地域	番 号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

次のページへ続く

・ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号、国際電話アクセス番号の最新情報については、ドコモの国際サービスホームページをご確認ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年4月現在）

ご利用地域	番 号	ご利用地域	番 号
アイルランド	00	チェコ	00
アメリカ合衆国	011	中国	00
アラブ首長国連邦	00	デンマーク	00
イギリス	00	ドイツ	00
イタリア	00	トルコ	00
インド	00	ニュージーランド	00
インドネシア	001	ノルウェー	00
オーストラリア	0011	ハンガリー	00
オランダ	00	フィリピン	00
カナダ	011	フィンランド	00/990
韓国	001		
ギリシャ	00	フランス	00
シンガポール	001	ブラジル	0041/0021/0023
スイス	00		
スウェーデン	00		
スペイン	00	ベトナム	00
タイ	001	ベルギー	00
台湾	002	ポーランド	00
ポルトガル	00	マカオ	00
香港	001	マレーシア	00
モナコ	00	ロシア	810
ルクセンブルク	00		

ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表2）

（2007年4月現在）

ご利用地域	番 号	ご利用地域	番 号
アイルランド	00	スペイン	00
アメリカ合衆国	011	タイ	001
アルゼンチン	00	台湾	00
イギリス	00	中国	00
イスラエル	014	デンマーク	00
イタリア	00	ドイツ	00
オーストラリア	0011	ニュージーランド	00
オーストリア	00	ノルウェー	00
オランダ	00	ハンガリー	00
カナダ	011	フィリピン	00
韓国	001	フィンランド	990
コロンビア	009	フランス	00
シンガポール	001	ブラジル	0021
スイス	00	ベルギー	00
スウェーデン	00	香港	001

ご利用地域	番 号	ご利用地域	番 号
マレーシア	00	ルクセンブルク	00
南アフリカ	09		

※表1の国際アクセス番号、表2のユニバーサルナンバー用国際識別番号は変更になる場合があります。
※ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

WORLD WINGのお申し込み

ドコモのｅサイトで

■ｉモードから：

「ｉMenu」▶「料金＆お申込・設定」▶「ドコモｅサイト」

■パソコンなどから：

My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）▶各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。

お電話で

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

局番なしの151（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120－800－000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

お近くのドコモショップで

お近くのドコモショップでもお申し込みができます。

ドコモワールドカウンターで

出国当日でもお申し込みができます。

■ドコモワールドカウンター成田第1：

成田国際空港第1ターミナル中央ビル　4F

■ドコモワールドカウンター成田第2：

成田国際空港第2ターミナルビル本館　B1F

■ドコモワールドカウンター関空：

関西国際空港旅客ターミナルビル　4F

次のページへ続く

■ドコモワールドカウンター中部：

中部国際空港旅客ターミナルビル　3F
「ビジネスセンター　P@tio」内

※手続きにはお時間をいただく場合があります。時間に余裕を持ってご来店ください。
※営業時間については『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』をご覧ください。

付録

メニュー一覧

・表内の数字に対応するダイヤルボタンを押すと、その機能が選択されます。

メニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）	参照先
ｉアプリ	**プリインストールアプリのみ**	P161
ｉモード		P121
1　ｉMenu	ー	P122
2　Bookmark	**登録なし**	P123
3　画面メモ	**登録なし**	P124
4　ラストURL	ー	P125
5　Internet		
1　URL入力	**http://**	P126
2　URL履歴	**履歴なし**	
6　メッセージ		
1　メッセージR	**メッセージなし**	
2　メッセージF	**メッセージなし**	
7　ｉモード問い合わせ	ー	P129
8　ｉモード設定		
1　ホーム	有効／**無効** URL欄：**http://**	P130
2　表示		
1　文字サイズ	縮小／**標準**／拡大	
2　画像表示設定	**表示する**／表示しない	
3　スクロール	**1行**／3行／5行	

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）	参照先
			4　メッセージ一覧表示	1行／**2行**	P130
		3　証明書		**有効**／無効	
		4　その他			P131
			1　接続待ち時間設定	**60秒間**／90秒間／無制限	
			2　ｉモーション自動再生	**自動再生する**／自動再生しない	
			3　ｉモード問い合わせ	メール、メッセージR、メッセージF（**すべてチェックあり**）	
			4　ｉモード設定確認	－	
			5　ｉモード設定リセット	－	
			6　ｉモードデータリセット	－	
	サービス				P203
	1　留守番電話				P204
		1　留守番サービス開始		－	P205
		2　留守番呼出時間設定		－	
		3　留守番サービス停止		－	
		4　留守番設定確認		－	
		5　留守番メッセージ再生		－	
		6　留守番サービス設定		－	
		7　メッセージ問合せ		－	
		8　着信通知			
			1　着信通知開始	－	
			2　着信通知停止	－	
			3　着信通知設定確認	－	

次のページへ続く

メニュー項目		設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
	9　留守番アイコン消去	ー		P205
	0　件数増加鳴動設定	**鳴動する**／鳴動しない		
2　キャッチホン				P206
	1　キャッチホンサービス開始	ー		
	2　キャッチホンサービス停止	ー		
	3　キャッチホンサービス設定確認	ー		
3　転送でんわ				P207
	1　転送サービス開始	1　転送先変更	ー	
		2　呼出時間設定	ー	
	2　転送サービス停止	ー		
	3　転送先変更	ー		
	4　転送先通話中時設定	ー		
	5　転送サービス設定確認	ー		P208
4　迷惑電話ストップ				
	1　迷惑電話着信拒否登録	ー		
	2　迷惑電話全登録削除	ー		
	3　迷惑電話1登録削除	ー		
5　発信者番号通知				
	1　発信者番号通知設定	ー		
	2　設定確認	ー		
6　番号通知お願いサービス				P209
	1　番号通知サービス開始	ー		

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）	参照先
サービス		2　番号通知サービス停止		－	P209
		3　番号通知サービス確認		－	
	7　通話中着信設定				
		1　通話中着信設定開始		－	
		2　通話中着信設定停止		－	
		3　通話中着信設定確認		－	
	8　着信中動作設定			**通常着信**／留守番電話／転送でんわ／着信拒否	
	9　遠隔操作				P210
		1　遠隔操作開始		－	
		2　遠隔操作停止		－	
		3　遠隔操作設定確認		－	
	0　国際ローミング時サービス				
		1　留守番電話（海外）			
			1　留守番サービス開始	－	
			2　留守番サービス停止	－	
			3　留守番メッセージ再生	－	
			4　留守番サービス設定	－	
		2　転送でんわ（海外）			P211
			1　転送サービス開始	－	
			2　転送サービス停止	－	
		3　ローミングガイダンス（海外）		－	
	＊　その他				

付録

次のページへ続く

メニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
1　追加サービス	登録なし		P211
2　応答メッセージ	登録なし		P212
3　英語ガイダンス			P212
3-1　ガイダンス設定※	発信時+着信時／発信時／着信時		P213
3-2　ガイダンス設定確認	−		P213
4　サービスダイヤル			P213
4-1　ドコモ故障問合せ	−		P213
4-2　ドコモ総合案内・受付	−		P213
5　ローミング時着信規制			P213
5-1　着信規制開始	1　全着信規制	−	P213
	2　データ呼着信規制	−	P213
5-2　着信規制停止	−		P213
5-3　着信規制設定確認	−		P213
メール			P139
1　受信BOX	受信BOX	メールなし	P141
	ユーザ作成フォルダ	なし	P141
2　送信BOX	メールなし		P147
3　未送信BOX	メールなし		P150
4　新規メール作成			P151
4-1　ｉモードメール作成	−		P151
4-2　SMS作成	−		P154
5　ｉモード問い合わせ	−		P156

※：設定値はネットワークサービスセンターに登録されます。

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）	参照先
	6　メール選択受信			－	P157
	7　SMS問い合わせ			－	
	8　メール設定				
		1　通信			
			1　メール選択受信設定	ON／**OFF**	
			2　添付ファイル	画像、メロディ（**すべてチェックあり**）	P158
			3　ｉモード問い合わせ	メール、メッセージR、メッセージF（**すべてチェックあり**）	
			4　SMS送達通知設定	要求する／**要求しない**	
			5　SMS有効期間設定	0日／1日／2日／**3日**	
		2　編集			
			1　署名	自動貼付：**チェックあり**	
				署名欄：**未記入**	
			2　引用符	**＞**	
			3　簡単返信語句	**後で連絡します。**／**了解しました。**／**I'll reply to you later.**／**OKです。**／**NGです。**／**今、取り込み中です。**／**I got it.**	
		3　表示			P159
			1　文字サイズ	縮小／**標準**／拡大	
			2　スクロール	**1行**／3行／5行	
			3　メール一覧表示	1行題名／1行アドレス／1行名前／2行アドレス／**2行名前**	
			4　セキュリティ	受信BOX、送信BOX、未送信BOX（**すべてチェックなし**）	
			5　メロディ自動再生	**自動再生する**／自動再生しない	

次のページへ続く

メニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
	4　その他				P159
		1　メール設定確認	－		
		2　メール設定リセット	－		
		3　メールデータリセット	－		
データBOX					P167
	1　マイピクチャ		カメラ、データ交換、ｉモード	**データなし**	P169
			アイテム、プリインストール	**プリインストールファイルのみ（アイテム、プリインストール共）**	
			ユーザ作成フォルダ	**なし**	
	2　ｉモーション		カメラ、データ交換、ｉモード	**データなし**	P176
			プリインストール	**プリインストールファイルのみ**	
			ユーザ作成フォルダ	**なし**	
	3　メロディ		データ交換、ｉモード	**データなし**	P179
			プリインストール	**プリインストールファイルのみ**	
			ユーザ作成フォルダ	**なし**	
カメラ					P109
	1　フォトモード		－		P112
	2　ムービーモード		－		P117
	3　カメラ設定				P120
		1　自動保存設定	自動保存設定：**ON**／OFF　静止画保存先※：**カメラ**　動画保存先※：**カメラ**		
		2　シャッター音	**シャッター音1**／シャッター音2／シャッター音3		
		3　ちらつき調整	**自動**／50Hz地域／60Hz地域		

※：「自動保存設定」が「ON」の場合のみ、表示されます。

メニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
ステーショナリー					P193
	1　スケジュール		**未登録**		P194
			スケジュールタイプ	**なし**／プライベート／記念日／旅行／仕事／会議	
			アラーム	**アラームなし**／設定時刻／15分前／30分前／1時間前／1日前／3日前／1週間前	
			繰り返し	**1回**／毎日／月～金／土日／毎週／毎月／毎年	
	2　メモ		**未登録**		P197
	3　待受メモ		**未登録**		P198
	4　日付サーチ		－		P199
	5　日付カウンター		**未登録**		P200
電話帳					P63
	1　電話帳登録		**未登録**		P64
	2　電話帳検索				P66
		1　全件検索	－		
		2　グループ検索	－		
		3　フリガナ検索	－		
		4　メモリー検索	－		
		5　電話番号検索	－		
		6　ドメイン検索	－		

次のページへ続く

メニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
3　電話帳登録件数	―		P70
4　電話帳設定			P70
1　表示データ	**本体のみ**／FOMAカードのみ		P70
2　ドメインリスト作成	1.　**@docomo.ne.jp** 2～10.　**未入力**		P71
3　検索方法選択	**全件検索**／グループ検索／フリガナ検索／メモリー検索／電話番号検索／ドメイン検索		P71
4　画像表示	**ON**／OFF		P71
5　グループ設定	グループ名：グループ1～グループ30（**すべて未設定**）		P71
6　自局番号	―		P73
LifeKit	―		P183
1　アラーム	**すべて未設定**		P184
	（ON／OFF設定）	ON／**OFF**	P184
	（繰り返し設定）	**1回**／毎日／月～金／土日／日/祝/休日除く	P184
	（ターボアラーム）	**OFF**／ON（音量／バイブMAX）	P184
	（スヌーズ）	OFF／**5分毎**／10分毎／30分毎／1時間毎／2時間毎／4時間毎／8時間毎／1日毎／1週間毎	P184
2　ショートカットメニュー	1 **アラーム**、2 **スケジュール**、3 **日付カウンター**、4 **待受メモ**、5 **電卓**、6 **赤外線受信**、7 **単位変換ツール**、8～0 **未登録**		P186
3　赤外線受信	―		P186
4　電卓	―		P188

メニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
LifeKit	5 単位変換ツール				P189
		1 通貨	通貨単位欄	円（Yen）／ドル（Dollar）／ユーロ（Euro）／通貨1（Currency1）／通貨2（Currency2）／通貨3（Currency3）	
		2 面積	面積単位欄	エーカー／ヘクタール／平方インチ／平方フィート／平方ヤード／平方マイル／平方ミリメートル／平方センチメートル／平方メートル／平方キロメートル	P190
		3 長さ	長さ単位欄	ミリメートル／センチメートル／メートル／キロメートル／インチ／フィート／ヤード／マイル	P191
		4 重量	重量単位欄	ミリグラム／グラム／キログラム／トン／オンス／ポンド／ストーン	
		5 温度	温度単位欄	摂氏／華氏	

次のページへ続く

メニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
LifeKit		6　容積	容積単位欄	ミリリットル／リットル／立方ミリメートル／立方センチメートル／立方メートル／立方インチ／ガロン／パイント／液体オンス／液量オンス／バレル	P191
		7　速度	速度単位欄	キロメートル/時／メートル/秒／マイル/時／フィート/秒	
	6　世界時計		都市選択	**東京**	P191、282
			サマータイム設定／サマータイム解除		
	7　ストップウォッチ		－		P192
	8　ミニライト		**使用する**／使用しない		
サウンド	サウンド				P75
	1　着信音量		着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	P76
			テレビ電話着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			メール着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			メッセージR着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			メッセージF着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			SMS着信音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
	2　効果音音量		ボタン確認音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			パワーオン／オフ時音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			スライド音	レベル 0～7（**レベル 3**）	
			ポップアップ表示時音	レベル 0～7（**レベル 3**）	

メニュー項目		設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
3　着信音選択		着信音	**Ring01.mid**	P77
		テレビ電話着信音	**Ring02.mid**	
		メール着信音	**Message02.mid**	
		メッセージR着信音	**Message03.mid**	
		メッセージF着信音	**Message04.mid**	
		SMS着信音	**Message05.mid**	
4　効果音選択		ボタン確認音	OFF／**電子音**／日本語／英語／韓国語	
		パワーオン／オフ時音	**ON**／OFF	
		スライド音	効果音なし／**効果音1**／効果音2／効果音3	
		ポップアップ表示時音	**ON**／OFF	P78
5　バイブレータ設定		音声／テレビ電話	メロディ+バイブ／パターン1（バイブのみ）／パターン2（バイブのみ）／**OFF**	
		メール／メッセージ	メロディ+バイブ／パターン1（バイブのみ）／パターン2（バイブのみ）／**OFF**	
6　マナーモード設定		**マナーモード**／オリジナルマナーモード		
	1　マナーモード	－		P79
	2　オリジナルマナーモード	音声／テレビ電話着信音	ON／**OFF**	
		音声／テレビ電話バイブ	**ON**／OFF	
		メール／メッセージ着信音	ON／**OFF**	

次のページへ続く

メニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
			メール／メッセージバイブ	**ON**／OFF	P79
			ボタン確認音	ON／**OFF**	
			スライド音	ON／**OFF**	
			電池アラーム音	ON／**OFF**	
	7　メール鳴動設定		メール鳴動設定	**ON**／OFF	P79、80
			メール着信鳴動時間	時間　**3秒**／回数　**1回**	
	8　呼出動作開始時間設定		**0秒**		P80
表示					P75
	1　待受画面				P80
		1　壁紙	タイプ	**画像**／待受テーマ	
			選択	画像：**Zebra.jpg** 待受テーマ：**ウィリー・ウィリー**	P81
		2　時計／カレンダー表示	時計／カレンダー	表示しない／**時計**／カレンダー＋時計表示／デュアルクロック	
			時計表示設定	**デジタル時計1**／デジタル時計2／デジタル時計3	
			時計文字色	全16色（**ブラック**）	
			都市設定	全58カ国（**ロンドン**）	
		3　待受メモ	画面表示	表示しない／**表示する**	
			配置	**中央**／左／右／テロップ表示	P82
			フォントカラー	全16色（**ブラック**）	
			文字枠色	全16色（**グレー**）	
			背景色	なし／ブラック／**ホワイト**	

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
表示	2　発着信画面					P82
		1　着信画面		**Incoming_call.gif**		
		2　発信画面		**Outgoing_call.gif**		
	3　フォント			ダイヤル表示サイズ	**小**／大	
				ダイヤル表示色	全16色（**オレンジ**）	
	4　メニュー画面			**ピクチャ表示**／リスト表示		P83
	5　バックライト			点灯時間	10秒／**30秒**／60秒／120秒／180秒	
				明るさ	40％／60％／80％／**100％**	
	6　配色パターン			**グリーンティーブラック**／サクラピンク／ウォータードロップブルー／セラミックホワイト		
設定	設定					P85
	1　通話／応答					P86
		1　通話／メール履歴				
			1　着信履歴	**履歴なし**		
			2　発信履歴	**履歴なし**		P87
			3　全履歴	**履歴なし**		
			4　受信メール履歴	**履歴なし**		P88
			5　送信メール履歴	**履歴なし**		
			6　全メール履歴	**履歴なし**		
		2　通話時間表示		直前通話時間、積算通話時間（着信）、積算通話時間（発信）、全積算通話時間（**すべて00：00：00**）		P89
		3　イヤホン自動応答		イヤホン自動応答	ON／**OFF**	

次のページへ続く

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
				イヤホン自動応答時間 (0～120秒)	**10**	P89
		4　着信拒否／許可		**許可**／リスト指定着信拒否／全着信拒否／電話帳登録外拒否		P90
		5　応答設定		スライドアンサー／エニーキーアンサー／**通話ボタンアンサー**		P91
	2　通話機能					P92
		1　再接続機能		**アラーム高音**／アラーム低音／アラームなし		
		2　通話品質アラーム		**アラーム高音**／アラーム低音／アラームなし		
		3　通話時間通知		ON／**OFF**		
		4　プレフィックス設定		プレフィックス1	**009130010**	P93
				プレフィックス2～3	**未登録**	
		5　国際ダイヤル設定				
			1　自動付加設定	**自動**／付加なし		
			2　国際電話設定	名称	**WORLDCALL**	
				番号	**009130010**	
		6　通話中クローズ設定		**通話終了**／継続		
	3　テレビ電話					P94
		1　テレビ電話設定		音声自動再発信	ON／**OFF**	
				テレビ電話画面設定	**両方**／相手画像／自画像	
				子画面表示	**自画像**／相手画像	
				発信時自画像送信	**ON**／OFF	
				送信画質設定	画質優先／**標準**／動き優先	
				照明設定	**常時点灯**／端末設定に従う	

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
				テレビ電話ハンズフリー設定	**ON**／OFF	P94
		2　テレビ電話画像選択				P95
			1　代替画像	画像	**標準画像**／選択画像	
				画像一覧	**未設定**	
			2　応答保留画像	画像	**標準画像**／選択画像	
				画像一覧	**未設定**	
			3　保留画像	画像	**標準画像**／選択画像	
				画像一覧	**未設定**	
	4　日付／時刻設定					P96
		1　時刻設定		時刻設定	**00：00：00**	
				時刻表示形式	12時間表示／**24時間表示**	
				時刻お知らせ	**OFF**／カッコウ時計／チャイム	
		2　日付設定		日付設定	**2007.01.01**	
				日付表示形式	DD/MM/YYYY／MM/DD/YYYY／**YYYY/MM/DD**	
	5　ネットワーク					P97
		1　ネットワークサーチ設定		**自動**／手動		
		2　3G/GSM切替		**自動**／3G／GSM/GPRS		
		3　優先ネットワーク設定		（**FOMAカード内の設定内容を表示**）		P98
		4　ネットワーク名表示		ON／**OFF**		
	6　接続先選択			**iモード**		P99
	7　ロック／セキュリティ					

付録

メニュー項目				設定項目（青字：お買い上げ時の設定または状態）		参照先
設定		1　オールロック		パワーオン／即時／**ロック解除**		P99
		2　自動キーロック設定		3秒後／**5秒後**／10秒後／15秒後／LCDオフ時／OFF		P100
		3　PINコードリクエスト※1		ON／OFF		P101
		4　パスワード変更				P101
			1　PIN1コード※1	－		P101
			2　PIN2コード※1	－		P101
			3　端末暗証番号	**0000**		P102
	8　Bilingual※2			**日本語**／English		P102
	9　その他					P103
		1　メモリー状況				P103
			1　データBOX	－		P103
			2　個人情報	－		P103
			3　FOMAカード（UIM）メモリー	－		P103
		2　設定リセット				P103
			1　メモリー全削除	1　データBOX	－	P103
				2　個人情報	－	P103
			2　設定リセット	－		P103
		3　SMSセンター		SMSセンター	**DoCoMo**／その他	P104
				アドレス	**81903101652**	P104
		4　休日リセット		－		P104
		5　ソフトウェア更新		－		P315

※1：FOMAカードの設定に従います。

※2：設定内容がFOMA端末と挿入されたFOMAカードに記憶されますが、それぞれの設定が異なる場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

サブメニュー項目内の設定項目一覧

テレビ電話通話中画面→P59

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
カメラ設定	
（ズーム）	**×1**／×2
（明るさ）	明るい／**標準**／暗い
（ナイトモード）	ON／**OFF**
テレビ電話設定	
テレビ電話画面設定	**両方**／相手画像／自画像
子画面表示	**自画像**／相手画像
照明設定	**常時点灯**／端末設定に従う
送信画質設定	**標準**／動き優先／画質優先

電話帳一覧画面→P68

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
検索方法選択	**全件検索**／グループ検索／フリガナ検索／メモリー検索／電話番号検索／ドメイン検索
画像表示	**ON**／OFF

静止画撮影待機画面→P114

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
（カメラ切替）	インカメラ／**アウトカメラ**
（サイズ）	1280×1024／640×480／352×288／320×240／176×220／**176×144**／128×96／電話帳
（保存画質設定）	**スーパーファイン**／ファイン／標準
（ライト）	**OFF**／自動／常時点灯／撮影時
（マルチショット）	**OFF**／3／6／9
（ズーム）	x1 ～ x10（**x1**）
（明るさ）	－2 ～ 0 ～ ＋2（**0**）
（ホワイトバランス）	**自動**／晴天／曇り／電球／蛍光灯
（ナイトモード）	ON／**OFF**
（フレームショット）	フレーム選択／**フレームなし**
（セルフタイマー）	**なし**／3秒／5秒／10秒
（撮影効果）	**なし**／白黒／セピア／ネガ
（ファイルサイズ選択）	**制限なし**／100KB／9KB

静止画撮影終了画面（マルチショット撮影後）→P115

サブメニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
スライドショー			
	設定		
		表示方法	**オリジナル表示**／全画面表示
		間隔（秒）	1 ～ 9 秒（**1**）
並べ替え			**名前**／日付／種類
表示			**簡易リスト表示**／詳細リスト表示／ピクチャ表示

動画撮影待機画面→P118

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
（カメラ切替）	インカメラ／**アウトカメラ**
（保存画質設定）	**スーパーファイン**／ファイン／標準
（ライト）	**OFF**／常時点灯／撮影時
（ズーム）	x1 ～ x10（**x1**）
（明るさ）	−2 ～ 0 ～ +2（**0**）
（ホワイトバランス）	**自動**／晴天／曇り／電球／蛍光灯
（ナイトモード）	ON／**OFF**
（撮影効果）	**なし**／白黒／ネガ／セピア
（録画時間）	30秒／1分／2分／5分／30分／**メール用**
（撮影種別）	**音声＋映像**／映像のみ／音声のみ

次のページへ続く

メッセージR/F一覧画面→P128

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
ソート	題名順（昇順）／題名順（降順）／古い順／**新しい順**
フィルタ	**全て**／未読のみ／既読のみ／保護のみ／非保護のみ／添付ファイルあり

受信メール一覧画面→P143

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
ソート	題名順（昇順）／題名順（降順）／アドレス順（昇順）／アドレス順（降順）／古い順／**新しい順**
フィルタ	**全て**／未読のみ／既読のみ／保護のみ／非保護のみ／添付ファイルあり／ｉモードメール／SMS／SMS送達通知

送信メール一覧画面→P148

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
ソート	題名順（昇順）／題名順（降順）／アドレス順（昇順）／アドレス順（降順）／古い順／**新しい順**
フィルタ	**全て**／保護のみ／非保護のみ／添付ファイルあり／ｉモードメール／SMS

未送信メール一覧画面→P151

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
ソート	題名順（昇順）／題名順（降順）／アドレス順（昇順）／アドレス順（降順）／古い順／**新しい順**
フィルタ	**全て**／添付ファイルあり／ｉモードメール／SMS

ソフト一覧画面→P163

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
ソート	**ソフト名（昇順）**／ソフト名（降順）／使用日時（昇順）／使用日時（降順）／保存日時（昇順）／保存日時（降順）／ソフトサイズ（昇順）／ソフトサイズ（降順）／使用回数（昇順）／使用回数（降順）
通信設定	**通信する**／通信しない／起動ごとに確認
ｉアプリTo設定	**許可する**／許可しない
アイコン情報設定	**利用する**／利用しない
自動起動設定	する／**しない**
ソフト情報表示設定	表示する／**表示しない**

次のページへ続く

静止画保存画面→P116／動画保存画面→P120／画像フォルダ一覧画面→P170／画像ファイル一覧画面→P170／画像表示画面→P172

サブメニュー項目			設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
並べ替え			**名前**／日付／種類
表示			簡易リスト表示／**詳細リスト表示**／ピクチャ表示
スライドショー			
	設定		
		表示方法	**オリジナル表示**／全画面表示
		間隔（秒）	1秒 ～ 9秒（**1秒**）

画像編集画面→P173

サブメニュー項目		設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
サイズ変更		640×480／320×240／160×120／壁紙サイズ／電話帳サイズ
挿入		
	テキスト	→「テキストボックス」（P267）
	フレーム	→「フレーム」（P266）
	スタンプ	→「スタンプ」（P267）
トリミング		1280×960／640×480／320×240／160×120／壁紙サイズ／電話帳サイズ／ユーザー設定サイズ
撮影効果		白黒／セピア／ネガ／白黒ネガ／カラーバランス／コントラスト／シャープネス／ソフトネス／モザイク

動画フォルダ一覧画面→P176／動画ファイル一覧画面→P177／動画再生画面→P178

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
並べ替え	**名前**／日付／種類
表示	簡易リスト表示／**詳細リスト表示**／ピクチャ表示
音量	OFF ～ レベル7（ **レベル3**）

メロディフォルダ一覧画面→P180／メロディファイル一覧画面→P180／メロディ再生画面→P181

サブメニュー項目	設定項目（青字：お買い上げ時の設定）
並べ替え	**名前**／日付／種類
表示	簡易リスト表示／**詳細リスト表示**／ピクチャ表示
再生設定	**なし**／現在のファイル／全ファイル／シャッフル
音量	OFF ～ レベル7（ **レベル3**）

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面

Blue comfort.jpg

Blue sunshine.jpg

Bronze.jpg

Interrier.jpg

Jelly beans.jpg

My way.jpg

Winter lake.jpg

Zebra.jpg

発着信画面

Ceramic_in_calling.gif

Ceramic_out_calling.gif

Green_in_calling.gif

Green_out_calling.gif

Incoming_call.gif

Outgoing_call.gif

Sakura_in_calling.gif

Sakura_out_calling.gif

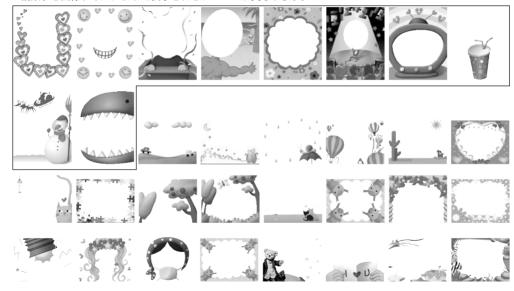
Waterdrop_in_calling.gif

Waterdrop_out_calling.gif

フレーム

・複数のファイルサイズのあるフレームは、ファイルサイズによって見え方が異なります。

・枠で囲まれたフレームは、「静止画撮影待機画面のサブメニューを利用する」の「フレームショット」(P114)で選択できます。

・編集する画像サイズによって表示されるフレームが異なります。

スタンプ

・ファイルサイズによって見え方が異なります。

テキストボックス

ｉモーション

DiMAGIC eco-motion.3gp

お知らせ

・左記ｉモーションは、3Dサウンド対応のｉモーションですが、本FOMA端末は対応していないため、3Dサウンドでは再生されません。

メロディ一覧

曲　名	曲　名
Air on The G String.mid	If　I Could.mid
Alarm01 ～ Alarm03.mid	Jasmine.mid
An der schonen blauen donau.mid	Jingle Bell.mid
Beautiful Life.mid	Menueti.mid
Blues Mania.mid	Message01 ～ Message12.mid
Brandenburg Concertos.mid	Moonlight.mid
Cave No.31.mid	Musette.mid
Czardas.mid	Play Dominoes.mid
Dark Valley.mid	Ring01 ～ Ring05.mid
Driving Bayside.mid	Secrect Of Nature.mid
Energetic Today.mid	Swan Lake.mid
Funny Funky.mid	Touch Of　Light.mid
Green Park.mid	Wedding Martch.mid
Happy Birthday to you.mid	Welcome My Friend.mid
Hunter G.mid	Winter.mid

・各メロディの権利は、LG電子ジャパン株式会社に帰属します。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

特殊文字

お知らせ

・特殊文字は、ｉモードメール対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

■ 半角記号

半角記号

! " # $ % & ' ( )
* + , - . / : ; < =
> ? @ [¥] ^ _ ` {
| } ~ 。 「 」 、 ・ ー ゛
゜

絵文字・顔文字一覧

絵文字一覧

■ 絵文字 1

絵文字1 (1/6)

絵文字1 (2/6)

絵文字1 (3/6)

絵文字1 (4/6)

■ 絵文字 2

絵文字2 (5/6)

絵文字2 (6/6)

顔文字一覧

<table>
<tr><th>カテゴリー</th><th>顔文字</th><th>カテゴリー</th><th>顔文字</th><th>カテゴリー</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td rowspan="5">喜び</td><td>(^-^)</td><td rowspan="5">怒り</td><td>(-_-メ)</td><td rowspan="5">照れ</td><td>(^^;)ゞ</td></tr>
<tr><td>o(^o^)o</td><td>(`□´)</td><td>f(^_^;</td></tr>
<tr><td>(^▽^)</td><td>(￣^￣)</td><td>(*^^*)</td></tr>
<tr><td>(#^.^#)</td><td>(`m´ #)</td><td>(〃_〃)ゞ</td></tr>
<tr><td>～(^д^～)</td><td>(ノ-o-)ノ ┫:・':.</td><td>ヘ(*￣ー￣)></td></tr>
<tr><td rowspan="5">泣き</td><td>(;_;)</td><td rowspan="5">汗</td><td>(￣▽￣;)</td><td rowspan="5">あいさつ</td><td>m(_ _)m</td></tr>
<tr><td>(; _______ ;)</td><td>(-_-;)</td><td>(^ ▽ ^) ∠※☆</td></tr>
<tr><td>(ToT)</td><td>(^o^;)</td><td>＼(^_^) (^_^)／</td></tr>
<tr><td>(T^T)</td><td>(^^;)(;^^)</td><td>(^o^)/</td></tr>
<tr><td>.・°(>_<)° ・.</td><td>(; ´ д `)</td><td>(;_;)/~~~</td></tr>
<tr><td rowspan="5">しらけ</td><td>(-_-)</td><td rowspan="5">驚き</td><td>(° □° ;</td><td rowspan="5">その他</td><td>φ(. .)</td></tr>
<tr><td>(-.-)y-~</td><td>(*_*)</td><td>(^ з^)-☆ Chu！</td></tr>
<tr><td>ヽ(￣д￣;)ノ</td><td>(° ▽ ° ;)</td><td>(?_?)</td></tr>
<tr><td>┐(-｡ -;)┌</td><td>!(° Ⅲ°)</td><td>(￣ー+￣)</td></tr>
<tr><td>(¬_¬)</td><td>(￣□￣|||)</td><td>ヘ(° ◇、°)ノ~</td></tr>
</table>

お知らせ

・絵文字・顔文字の入力方法については「絵文字／記号／顔文字の切り替え」（P223）を参照してください。

付録

定型文一覧

カテゴリー	定型文	カテゴリー	定型文
インターネット	@docomo.ne.jp	あいさつ	いってらっしゃい
	.ne.jp		お誕生日おめでとう！
	.co.jp	ビジネス	いつもお世話になっております
	.com		よろしくお願い致します
	.or.jp		申し訳ございません
	.go.jp		大変失礼致しました
	.ac.jp		至急TEL下さい
	http://		少々お待ち頂けますか
	www.		後ほどご連絡いたします
	.html		メールでご連絡いたします
あいさつ	おはようございます		FAX確認をお願いします
	おやすみなさい		電車遅延のため、遅れます
	こんにちは	プライベート	遊びに行こう
	こんばんは		飲みに行きませんか？
	お疲れ様です		遅れます
	お久しぶりです		変更します
	昨日は、どうもありがとうございました		中止です
	行ってきます		先に行きます

次のページへ続く

カテゴリー	定型文
プライベート	先に帰ります
	時間です
	何してるの？
	どこにいるの？
返事	Thank you!
	bye-bye!
	ＯＫです
	ＮＧです
	ありがとう
	ごめんなさい
	もう少し待ってて
	後で連絡入れます
	今TELできない
	了解！！
絵文字熟語	（うれしい）
	（OK）
	（ラブラブ）
	（帰る）
絵文字熟語	（は？）
	（こんにちは）
	（電話待ってます）
	（うれしい）
	（怒る）
	（クリスマス）
自由定型文	お買い上げ時は1～10が空欄

区点コード一覧

区点コードを入力するには、最初に「区点１～３桁目」に記載されている３桁の数字を入力し、続けて「区点４桁目」に記載されている１桁の数字を入力します。

・区点コード一覧の表示は、ディスプレイの表示と見えかたが異なる場合があります。

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		SP	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
025										
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
030										
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
049										
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
059										
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
066										
067										
068										
069										
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								

次のページへ続く

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
079										
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
084										
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税

次のページへ続く

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
354	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
444	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓	愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩

次のページへ続く

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀

次のページへ続く

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

世界時計都市名一覧

国　名	都市名	国　名	都市名	国　名	都市名
アイルランド	ダブリン	インドネシア	ジャカルタ	デンマーク	コペンハーゲン
アフガニスタン	カブール	エジプト	カイロ	ドイツ	ベルリン
アメリカ合衆国	アンカレッジ	オーストラリア	キャンベラ	日本	東京
	グアム		シドニー	ニュージーランド	オークランド
	シアトル	オーストリア	ウィーン	ハンガリー	ブダペスト
	シカゴ	オランダ	アムステルダム	バングラデシュ	ダッカ
	ダラス	カナダ	モントリオール	フィリピン	マニラ
	デトロイト	韓国	ソウル	フィンランド	ヘルシンキ
	デンバー	ギリシャ	アテネ	ブラジル	リオデジャネイロ
	ニューヨーク	クウェート	クウェート	フランス	パリ
	ホノルル	サウジアラビア	ジェッダ	ベトナム	ハノイ
	ボストン	シンガポール	シンガポール	ベネズエラ	カラカス
	ロサンゼルス	スウェーデン	ストックホルム	ベルギー	ブリュッセル
	ワシントン	スペイン	マドリード	ポルトガル	アゾレス
アラブ首長国連邦	アブダビ	スリランカ	コロンボ		リスボン
アルゼンチン	ブエノスアイレス	タイ	バンコク	メキシコ	メキシコシティ
イギリス	ロンドン	台湾	台北	レバノン	ベイルート
イタリア	ローマ	チェコ	プラハ	ロシア	モスクワ
イラン	テヘラン	中国	北京		
インド	ニューデリー		香港		

マルチアクセスの組み合わせについて

FOMA端末では、マルチアクセス機能を利用して音声電話とパケット通信（iモードやiモードメールなど）、SMSを同時に使用できます。マルチアクセス機能によって使用できる通信の組み合わせは次のとおりです。

利用する通信／利用中の通信	音声電話		テレビ電話		iアプリ	iモード	iモードメール		SMS		パケット通信
	発信	着信	発信	着信			送信	受信	送信	受信	発信
音声電話通話中	○※1	○※1※2	×	×※3	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話通話中	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×※5	×	×※7	×
iアプリ使用中	○	○	○※4	○※4	—	×	×	×※5	—	×※7	○※9
iモード中	○	○	×	×	×※10	—	○※11	○※6	—	○※6	×
パケット（データ）通信中	○	○	×	×	○※8	×	×	×※5	○	○	—

○：使用できます。　×：使用できません。　—：同時に起こらない組み合わせです。

※1：キャッチホンをご契約の場合に、現在の通話を保留にして操作できます。

※2：「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」をご契約されていて、それぞれのサービスを「開始」していない状態では、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。

※3：通話終了後に不在着信画面が表示され、かけてきた相手を確認できます。

※4：iアプリ通信中は利用できません。

※5：画面上部にマークが表示され、メールがiモードセンターに保存されます。
ただし、パソコンを接続したパケット通信中は、画面上部にマークが表示されません。

※6：ダウンロード中はメールを受信できません。

※7：通話／iアプリを終了後に、SMSを受信することができます。

※8：パケット通信中は、通信が必要なiアプリを起動できません。

※9：iアプリ通信中は、パケット通信を利用できません。

※10：iモードのサイト画面から呼び出した場合のみ起動することができます。

※11：iモードのサイト画面のサブメニューからメールを作成した場合のみ送信できます。メールの本文には表示中のサイトまたはリンク先のサイトのURLが挿入されます。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスク機能を利用して複数の機能を同時に実行して、画面を切り替えながら使用できます。

マルチタスクを利用する

1. 各機能を実行中に MULTI

実行中の機能を確認できます。マークを選択すると機能を切り替えられます。

マーク	説　明	マーク	説　明
	音声通話機能実行中		ステーショナリー機能※3実行中
	メール機能実行中		
	ｉモード機能実行中		電卓機能実行中
			自局番号表示中
	ｉアプリ機能実行中		サービス機能設定中／最近の通話履歴表示中
	電話帳機能※1実行中		
(※2)	データBOX機能実行中（マルチメディアプレーヤ再生中）		LifeKit機能※4実行中
			サウンド機能設定中

マーク	説　明	マーク	説　明
	カメラ機能実行中		表示機能設定中
	スケジュール機能実行中		設定機能設定中

※1：「自局番号」機能を除きます。
※2：ｉモード／ｉアプリ／メール機能に切り替えると再生が終了し、 が表示されます。
※3：「スケジュール」機能を除きます。
※4：「カスタムメニュー」「赤外線通信」「電卓」機能を除きます。

2. を選択 ▶ ■ ▶ 次の新しい機能を選択 ▶ ■

通話
電話番号入力画面が表示されます。→P48

メール
メールメニューが表示されます。→P139

ｉモード
ｉモードメニューが表示されます。→P121

ｉアプリ
ソフト一覧画面が表示されます。→P161

電話帳検索
電話帳検索画面が表示されます。→P66

メロディ
メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。→P179

フォトモード
静止画撮影待機画面が表示されます。→P112

スケジュール
スケジュールの１ヶ月表示画面が表示されます。→P195

電卓
電卓画面が表示されます。→P188

自局番号
自局番号が表示されます。→P73

・実行中の機能によっては選択できない機能があります。→P283

お知らせ

・待受画面からタスクメニュー画面を表示するには、MULTIを1秒以上押します。
・マルチタスクで実行している機能では、利用できないサブメニュー項目があります。
・FOMA端末のメモリー状況によって、「電話帳検索」を利用できない場合があります。

タスクを終了する

1. CLEAR/ ／

・実行中の機能が終了します。
・ソフト起動中／ｉモード接続中の場合は、 を押して終了させてください。

機能の組み合わせ

タスクメニュー画面の項目は、新しく実行中の機能によって選択できないものがあります。実行中の機能と、タスクメニューから新しく実行できる機能の組み合わせは次のとおりです。

実行中の機能＼タスクメニュー項目	通話	メール	iモード	iアプリ	電話帳検索	メロディ	フォトモード	スケジュール	電卓	自局番号
音声電話通話中	×	○	○	○	○※1	×	×	○※3	○※3	○
メールメニューの機能を使用中	○	×	×	×	○※1	×	×	○※3	○※3	○
iモードメニューの機能を使用中	○	×	×	×	○※1	×	×	○※3	○※3	○
iアプリメニューの機能を使用中	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○
メール／iモード／iアプリ以外のメニュー内にある機能を使用中	○	○	○	○	○※2	×	×	×	×	○
自局番号の表示中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○：利用できます。　×：利用できません。
※1：電話帳から機能を実行している場合は、あらたに電話帳機能を利用できません。
※2：電話帳機能を実行している場合は、利用できません。
※3：着信履歴／発信履歴／電話帳から機能を実行している場合は、利用できません。

・次の機能を利用中・起動中の場合は、MULTIを押しても動作しません。
　－警告画面やお知らせメッセージを表示中
　－テレビ電話通話中
　－パソコンなどと接続してデータ通信中
　－データのコピー中／移動中／全件削除中／ダウンロード中
　－音声電話／テレビ電話の発着信中
　－動画の撮影中
　－赤外線通信中

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末からご利用になれるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料+通話料）	（局番なし）106

お知らせ

・コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2007年4月現在）

・番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2007年4月現在）

・おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

・一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯・自動車電話（携帯電話）に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。

・116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスは利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます）

・本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

次のページへ続く

・FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号と明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

データリンクソフトのご紹介

「SIMPURE L2データリンクソフト」を利用して、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続したパソコンとの間で、電話帳、画像やｉモーションなどのデータを転送できます。

■「SIMPURE L2データリンクソフト」のダウンロード

「SIMPURE L2データリンクソフト」については、WEBサイトからダウンロードできます。付属の「FOMA L602i用CD-ROM」をパソコンにセットしてTOP画面が表示されたら、「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックして、「FOMA L602iデータリンクソフト」の「最新版ダウンロード」をクリックするとWEBサイトへ接続します。使用許諾をご確認の上、インストールしてください。

http://jp.lgmobile.com/phones/mnsw_list_main.jsp

インストール方法、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、左記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

■対応OS

Windows2000、Windows XP（各日本語版）

・上記OSが動作するPC/AT互換機

■免責事項について

LG電子ジャパン株式会社は、本ソフトウェアの瑕疵担保責任、その他の一切の保証責任を負わないものとします。また、LG電子ジャパン株式会社は、データリンクソフトおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担により解決されるものとします。

「FOMAデータリンクソフト」に関するお問い合わせ先

LG電子ジャパン株式会社 カスタマーサービス

■ 電話番号　0120-813-023

※携帯電話・PHSからは 03-5675-7323 へおかけください。

■ 受付時間　午前10:00 ～ 午後6:00

（土・日・祝日を除く）

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

お知らせ

- ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- データリンク同期中は他の機能を使用できません。
- 待受画面の状態からのみ、データリンクソフトと同期できます。

故障かな？と思ったら、まずチェック

状　態	チェック内容	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。	P38
	電池残量が十分に残っているか確認してください。	P42
ボタンを押しても動かない	FOMA端末を閉じている場合は、自動キーロックがかかっていないか確認してください。	P100
	電源を入れ直すか、電池パックを取り付け直してください。	P38、44
充電できない	電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。	P38
	充電方法が正しいかどうか確認してください。	P40
「圏外」が表示され、電話をかけると話中音（プープー）が聞こえる	サービスエリア内か、電波の弱い場所にいないか確認してください。	P32
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	いずれかのボタンを押すか、FOMA端末を閉じている場合は開いてください。	−
待受画面に「オールロック」と表示されている	オールロックを設定しています。	P99
電話の着信時／メールの受信時に設定と異なる着信音が鳴る	電話帳で電話着信音／メール着信音を設定しているか確認してください。	P64
	グループ設定で電話着信音／メール着信音を設定しているか確認してください。	P71
設定した画像やメロディなどがお買い上げ時の設定に戻る	設定した画像やメロディを取得したときに取り付けていたFOMAカードと異なるFOMAカードが取り付けられていないか確認してください。	P36

■海外利用時

状　態	チェック内容	参照先
「圏外」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない	国際ローミングサービスのサービスエリア内か、電波の弱い場所にいないか確認してください。	P230
	利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』やドコモの国際サービスホームページで確認してください。	－
	「3G/GSM切替」を「自動」もしくはサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。	P97
テレビ電話／SMS／ｉモード／パケット通信が利用できない	利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』やドコモの国際サービスホームページで確認してください。	－
	「3G/GSM切替」を「自動」もしくはサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。	P97
音声電話やテレビ電話がかかってこない	「ローミング時着信規制」を規制する設定にしていないかどうかを確認してください。	P213
海外から帰国後、「圏外」のままである	「3G/GSM切替」を「GSM/GPRS」に設定していないかどうかを確認してください。	P97

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説　明	参照先
FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを自動起動できませんでした。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。	－
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません	FOMAカード動作制限機能により操作できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。	－
FOMAカード（UIM）が異なるため送信できません	FOMAカード動作制限機能によりメールを送信できません。メール作成時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。	－
FOMAカード（UIM）が異なるため正しく表示できません	FOMAカード動作制限機能により表示できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。	－
FOMAカード（UIM）を挿入してください	FOMAカードが挿入されていません。挿入してから操作してください。	－
FOMAカードが異なるため指定されたソフトは起動できません	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ファイル取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。	－
ｉモード問い合わせできませんでした	ｉモード問い合わせが正しくできませんでした。	－
ｉモードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい（555）	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくたってから操作してください。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
PIN1ロック解除コードが認証できません	PIN1ロック解除コードが間違っています。正しいPIN1ロック解除コードを入力してください。	P107
PIN1（PIN2）コードが違います 残入力回数X回	PIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。 Xには数字が表示されます。	P107
PIN1（PIN2）コードが認識できませんでした	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。 PINロック解除コードを入力してください。	P107
PIN1（PIN2）コードがロックされました	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。 PINロック解除コードを入力してください。	P107
SMSセンター設定を確認してください	SMSセンター設定が間違っています。正しい設定を行ってから操作してください。	P104
SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	－
SSL通信が無効に設定されています	「証明書」の設定でそのサーバのSSL証明書が「無効」に設定されています。設定を「有効」にしてから操作してください。	P130
Toの宛先を設定してください	メールの宛先（Toタイプ）が入力されていません。入力してから送信してください。	P151
UIMに登録できないデータがあります （本体選択で再表示）	電話帳の登録先をFOMA端末本体の電話帳からFOMAカードの電話帳に切り替えたとき、FOMAカードの電話帳に登録できる文字数以上が入力されている、または登録できない項目が入力されています。	P64
URLが長すぎて登録できません	サイトのURLの文字数が長すぎるため登録できません。	－
URLが長すぎて表示できません	サイトのURLの文字数が長すぎるため表示できませんでした。	－
URLが不正です	URLが正しく入力されていません。正しく入力してから操作してください。	－
URL履歴はありません	URL履歴が記録されていません。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
9Kサイズ制限中のため利用できません。	「ファイルサイズ選択」が「9KB」に設定されているため「マルチショット」「フレームショット」を設定できません。設定するときは「ファイルサイズ選択」を「制限なし」に設定してください。	P114
空きメモリーがありません	入力したメモリー番号は既に使われているため、電話帳を登録できません。別のメモリー番号を入力してください。	－
宛先を確認してください	宛先が間違っているため、SMSを送信できませんでした。正しい宛先を入力してから操作してください。	－
宛先を入力してください	メールの宛先が入力されていません。入力してから送信してください。	P151
アップグレードを中止しました	エラーが発生したため、アップグレードを中止しました。	－
アニメーションを作成できませんでした	エラーが発生したため、アニメーションを作成できませんでした。	－
アプリケーションを起動できません	エラーが発生したため、ｉモード機能を起動できません。	－
暗証番号が違います	端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P106
一部コピーできないデータがあります　コピーしますか？	データにコピーできないデータが含まれています。その状態でコピーする場合は「はい」を選択します。	－
移動ができませんでした	エラーが発生したためファイルを移動できませんでした。	－
エラーが発生しました	エラーが発生したためｉアプリを終了しました。	－
エラーが発生しました　名前を変更できません	エラーが発生したため、名前を変更できません。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
応答がありませんでした（408）	サイトからの応答がないため接続できませんでした。もう一度操作してみてください。	−
同じURLが登録されています　上書きしますか？	既に同じURLが登録されています。上書きするときは「はい」を選択します。	−
同じ宛先があります　削除して送信しますか？	同じ宛先が入力されています。削除して送信するときは「はい」を選択します。	−
同じファイル名が既に存在します	同じファイル名が存在します。ファイル名を変えて保存してください。	−
同じフォルダ名が既に存在します	同じフォルダ名が存在します。フォルダ名を変えてください。	−
同じフォルダに貼付けできません	コピー元のフォルダ内にはファイルをコピー／移動できません。別のフォルダを選択して［iα］［貼付］を押してください。	−
オールロックされています	オールロックが設定されています。オールロックを解除してから再度操作してください。	P100
海外ではメッセージFを受信できません　電話機のセンター問い合わせ設定よりメッセージFの設定を解除してください（566）	海外ではメッセージFを問い合わせできません。「ｉモード問い合わせ」設定で問い合わせる項目から「メッセージF」を外してください。	P131、158
ファイルサイズ設定が制限なし以外は設定できません	「ファイルサイズ選択」が「制限なし」以外に設定されているため「保存画質設定」を設定できません。設定するときは「ファイルサイズ選択」を「制限なし」に設定してください。	P114
画像に誤りがあり正しく動作しません	容量不足またはエラーが発生したため正しく動作しません。	−
画像を保存できません	エラーが発生したため画像を保存できません。	−

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
画面メモがいっぱいです	画面メモが最大保存可能件数まで保存されています。「はい」を選択すると不要な画面メモを削除できます。	－
画面メモがいっぱいです　削除するものを選択してください	画面メモが最大保存可能件数まで保存されているため、これ以上保存できません。「はい」を選択して不要な画面メモを削除してください。	P124
画面メモの読み込みに失敗しました	画面メモの読み込みに失敗したため表示できません。	－
画面メモはありません	画面メモが保存されていません。	－
画面メモを登録できませんでした	エラーが発生したため画面メモを保存できませんでした。	－
規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）	アクセス可能な回数を超えたため表示できませんでした。	－
起動に失敗しました	エラーによりソフトの起動に失敗しました。	－
圏外です	圏外、または電波の届かない場所にいます。 が点灯する場所まで移動してください。	－
携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信しますか？	IP（情報サービス提供者）が「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」によるお客様の識別が必要な場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。接続するときは「はい」を選択します。	－
異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか	既に異なるFOMAカードを挿入してダウンロードした同じｉアプリが保存されています。上書きするときは「はい」を選択します。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
このカードは認識できません	FOMAカードが認識できない、または正しくないカードが挿入されています。FOMAカードを取り付け直すか、正しいFOMAカードに取り付け直してから操作してください。	P36
この画像サイズではズームできません	「サイズ」が「1280×1024」（アウトカメラ）／「640×480」（インカメラ）に設定されているため、ズームできません。ズームを利用する場合は、「サイズ」を「640×480」（アウトカメラ）／「352×288」（インカメラ）以下に設定してください。	P114
このサイトとのSSL通信は無効です	書き換えられたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？	対応していないSSL証明書を受信しました。接続するときは「はい」を選択します。	－
このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？	時計設定をしていない状態でSSL通信に対応したサイトに接続しました。「時計設定」を行ってください。	－
	期限切れまたは有効期間前のSSL証明書を受信しました。接続するときは「はい」を選択します。	－
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？	FOMA端末内のSSL証明書が期限切れの状態です。接続するときは「はい」を選択します。	－
	時計設定をしていない状態でSSL通信に対応したサイトに接続しました。時計設定を行ってください。	P96
	SSL通信に対応したサイト接続中にクライアント証明書の送付要求が発生しました。接続するときは「はい」を選択します。	－
この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？	SSL証明書のCNが一致しないときに表示されます。接続するときは「はい」を選択します。	－

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
このソフトは携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用します	ダウンロード時にIP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定する場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。	－
このソフトは登録データを利用します。ダウンロードしますか？	ダウンロード時にお客様の携帯電話に保存されている登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュールなど）を利用します。	－
この端末でのみ使用可能なファイルが含まれています	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが含まれているため、送信できません。	－
このデータは移動できません	ファイル制限が設定されているファイルのため移動できません。	－
このデータはコピーできません	ファイル制限が設定されているファイルのためコピーできません。	－
このデータは再生できない可能性があります	ダウンロードデータが不正のため再生できない場合があります。	－
このデータは設定できません	ファイル制限が設定されているファイルのため設定できません。	－
このデータは送信できません	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルのため送信できません。	－
このデータは編集できません	ファイル制限が設定されているファイルのため編集できません。	－
このデータは保存できません	サイトから取得したデータが不正のため保存できません。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
このデータは保存できません　取得しますか？	保存できないデータのため取得しても保存できません。取得する場合は「はい」を選択します。	－
このデータを取得するためには時刻設定をしてください	時計設定がされていないため取得できません。時計設定をしてから操作してください。	P96
このファイルは壁紙に設定できません	壁紙には使用できないファイルです。	－
コピーに失敗しました	電話帳のコピー中に電話番号とメールアドレスのデータにエラーが発生したため、電話番号とメールアドレスのコピーができませんでした。	－
これ以上フォルダを追加できません	フォルダが最大作成可能件数まで作成されているため、これ以上作成できません。不要なフォルダを削除してください。	－
これ以上保護できません	ファイルが最大保護可能件数まで保護されているためこれ以上保護できません。他のファイルの保護を解除してから操作してください。	－
サーバに接続できません	何らかの原因でサーバに接続できませんでした。もう一度操作してみてください。	－
サービス未契約です	ｉモードを契約していないためｉモードサービスを利用できません。ｉモードを契約してください。	－
サービス未提供です	SMSサービスを行っていない地域にいるため、送信できません。	－
サポートされていない画像サイズです	「サイズ」が「1280×1024」「640×480」「電話帳」のため、「フレーム」は挿入できません。	－
最後まで取得できていません	データを最後まで取得できていないため保存できません。	－
このデータは再生できなくなりました。削除しますか？	再生可能回数が終了したｉモーションのため再生できません。削除するときは「はい」を選択します。	－
再生期間が過ぎました。削除しますか？	再生可能期限が切れているｉモーションのため再生できません。削除するときは「はい」を選択します。	－

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
再生期間はまだ始まっていません。	再生期間前のためｉモーションを再生できません。再生期間の開始日を確認してください。	－
再生制御に誤りがあるため取得できません	ｉモーションの再生制御に誤りがあるため取得できません。	－
再生制限データエラーによりデータを取得できませんでした	ｉモーションの再生制限データに誤りがあるため取得できません。	－
再生できません	エラーが発生したため、再生できません。	－
再生できませんでした	エラーが発生したため、再生できませんでした。	－
最大サイズを超えたため中断しました	データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。	－
最大サイズを超えたので中断しました		
最大サイズを超えています　受信できませんでした（452）	受信するデータが最大サイズを超えているため受信できませんでした。	－
サイトが移動しました（301）	サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。ブックマークやホームなどに登録している場合は登録し直してください。	－
サイトに接続できませんでした（XXX）	何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度操作してみてください。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	－
削除される添付ファイルがあります	転送するｉモードメールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。	－
削除できませんでした	エラーが発生したため、削除できませんでした。	－
指定サイトがみつかりません（404）	サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
指定サイトに表示データがありません（204）	接続したサイトなどに表示するデータがありません。	－
指定されたソフトがありません	サイトやメールなどから起動するｉアプリがありませんでした。	－
指定されたソフトがありません終了しますか	サイトやメールなどから起動するｉアプリがありませんでした。	－
指定されたソフトを起動しますか？	ｉアプリを起動できるURL（リンク）を選択しました。起動するときは「はい」を選択します。	－
指定されたソフトを起動できませんでした	サイトやメールなどからｉアプリを起動できませんでした。	－
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度操作してみてください。	－
指定したファイルがみつかりません（492）	選択したファイルがFOMA端末内にありません。	－
自動起動はこれ以上設定できません	自動起動を設定可能件数まで設定しているためこれ以上別のソフトに設定できません。	－
しばらくお待ちください	回線設備が故障、または回線が非常に込み合っています。しばらくたってから再度操作してください。	－
充電してください	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P40
受信できませんでした	メールが正しく受信できませんでした。	－
受信メールはありません	受信メールが保存されていません。	－
証明書がありません	SSL証明書が保存されていません。	－
受信BOXがいっぱいです	受信メールが最大保存件数まで保存されているためこれ以上保存できません。不要な受信メールを削除してください。	P143

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
スケジュールが一杯です	スケジュールを最大設定件数まで設定しているためこれ以上設定できません。不要なスケジュールを削除してください。	P196、197
ストリーミング再生はサポートされていません	ストリーミングタイプのｉモーションには対応していないため再生できません。	–
正常に接続できませんでした（XXX）	何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	–
赤外線通信を開始しますか？	赤外線送信をするときに表示されます。赤外線送信するときは「はい」を選択します。	P187
接続相手が見つかりません　継続しますか？	赤外線通信する相手が見つかりません。FOMA端末を相手の赤外線ポートに正しく向けてください。もう一度通信を試みる場合は「はい」を選択します。	P187
接続が中断されました	回線が混雑しているか、通信エラーが発生したため接続が中断されました。しばらくしてから操作してください。	–
接続できません	ダウンロード中にエラーが発生しました。再接続するときは「再試行」を選択します。	–
	電波が弱いため、接続できません。電波の強い場所で操作してください。	
接続できませんでした	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくたってからもう一度操作してください。	–
接続できませんでした（562）		
設定時間内に接続できませんでした	SSL通信に対応したサイトに接続できませんでした。もう一度操作してみてください。	
	「接続待ち時間設定」で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するかもう一度操作してください。	P131

エラーメッセージ	説　明	参照先
操作できませんでした	圏外または電波の届かない場所にいるためネットワークに接続できません。電波状態の良い場所へ移動してネットワークの設定を行ってください。	–
送信BOXあるいは未送信BOXがいっぱいです	送信／未送信メールが最大保存可能件数まで保存されているためこれ以上送信または保存できません。不要な送信／未送信メールを削除してください。	P148、149、151
送信エラー	送信エラーが発生しました。	–
送信できません。宛先を確認してください（451）	メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから送信してください。	–
送信できませんでした	メールが正しく送信できませんでした。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	–
送信できませんでした（XXX）		
送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです（551）	送信相手のメールがいっぱいです。	–
送信メールはありません	送信メールが保存されていません。	–
そのソフトは最新です	目的のソフトが更新されていないため実行できません。	–
ソフトがあるためフォルダ削除できません	フォルダ内にソフトが保存されているため削除できません。ソフトを削除してから操作してください。	P163、164
ソフトに誤りがあります	ソフトにエラーがあるため、ダウンロードやバージョンアップができません。	–
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトにエラーがあるため、ダウンロードやバージョンアップができません。	–
ソフトの空き容量が不足しています。既存のソフトを削除してください	ソフトの保存容量が不足しているため、これ以上保存できません。不要なソフトを削除してください。	P163、164
対応機種ではありません	ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。	–

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
ダウンロードを中止しました	エラーが発生したため、ダウンロードを中止しました。	－
ダウンロード済みです	同じバージョンのソフトが既にダウンロードされています。	－
ただいまｉモードメールが混みあっています　しばらくお待ち下さい(553)	回線が非常に混み合っています。しばらくたってから操作してください。	－
短縮ダイヤル未登録です	電話番号入力画面で入力した番号と一致するメモリー番号の電話帳が登録されていません。	P64
端末暗証番号が違います	端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P106
着信が拒否されました	ネットワークへの接続が失敗したため、電話をかけることができません。再度電話をかけ直してください。	－
着信拒否しました	電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたため、着信を拒否しました。電話を受けられるようにするには、「着信拒否／許可」を「許可」に設定してください。	P90
	「着信拒否リスト」に登録されている相手から電話がかかってきたため、着信を拒否しました。	P90
	「全着信拒否」が「非接続」に設定されているため、着信を拒否しました。	P90
中断されました	何らかの原因でｉモード問い合わせが中断されました。もう一度操作してみてください。	－
中断されました　継続しますか？	赤外線通信の接続中にエラーが発生したため、通信が中断されました。再度接続を試みるときは「はい」を選択します。	－
中断しました	赤外線通信中にエラーが発生したため、赤外線受信を中断しました。	－
	「赤外線通信を開始しますか？」と表示されたときに、「いいえ」を選択した場合に表示されます。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
著作権保護のため送信できません	FOMA端末外への出力が禁止されているファイルのためメールに添付して送信できません。	－
データがいっぱいです	データが最大保存可能件数まで保存されているためこれ以上保存できません。不要なデータを削除してください。	P143、163、164、170、171、172、177
データが不正です	不正なデータをダウンロードしました。	－
データ取得を中止しました	データが不正なため、取得できません。	－
電池残量不足です　カメラを終了します	電池残量が不足しているため、カメラを終了します。充電してから再度操作してください。	P40
電池残量不足です　充電してから行ってください	電池残量が不足しているため操作できません。充電してから再度操作してください。	P40
添付可能な最大サイズを超えています	メールに添付できる最大サイズを超えています。メールに添付可能なファイルやサイズを確認してから送信してください。	P154
添付できるファイルがありません	添付できるファイルが保存されていません。	－
添付ファイルが削除されます	FOMAカード動作制限機能が設定されたファイルが添付されているため削除されました。	－
電話番号が長すぎるため末尾が削除されます	電話帳を参照してSMSの宛先を入力したときに、参照した電話番号の桁数が最大入力可能文字数を超えています。	－
電話番号のコピーに失敗しました	電話帳のコピー中に電話番号のデータにエラーが発生したため、電話番号のコピーができませんでした。	－
電話番号を通知しておかけ直しください	電話番号が通知されていません。電話番号を通知する設定にしてから再度操作してください。	P208

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
登録可能件数を超えているためコピーできません	FOMAカードの電話帳のメモリがいっぱいのため、電話帳をコピーできませんでした。不要な電話帳を削除してから操作してください。	P69、70
登録中です　しばらくしてからご利用ください（554）	ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから操作してください。	－
登録できませんでした	エラーが発生したため、登録できませんでした。	－
内容を破棄して編集を終了します.よろしいですか？	編集中の内容を保存せずに終了しようとしています。内容を保存せずに終了するときは「はい」を選択します。	－
名前を入力してください	名前が入力されていません。名前を入力してから保存してください。	P64
入力データまたはURLが長すぎます	テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信してください。	－
入力データをご確認ください（205）	サイトなどで入力して送信したデータ（文字など）が間違っています。入力内容を確認して再度操作してください。	－
認証タイプに未対応です（401）	対応していない認証タイプのため接続できません。	－
認証できません	認証エラーが発生しました。	－
認証パスワードが違います　継続しますか?	認証パスワードが間違っています。継続するときは「はい」を選択します。	P188
認証を中止しました（XXX）	認証画面で認証を取消ししたときに表示されます。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	－
ネットワーク暗証番号が違います	ネットワーク暗証番号が間違っています。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P106
ネットワークが見つかりません	ネットワークが見つからないため、ネットワークサービスの設定ができません。しばらくしてから操作し直してください。	－
ネットワークから応答がありません　手動で検索しますか？	接続先のネットワークを自動で検索できませんでした。手動で検索するときは「はい」を選択します。	P97

エラーメッセージ	説　明	参照先
パスワードをご確認ください	入力したパスワードが間違っています。正しいパスワードを入力してください。	－
パスワードをご確認ください(401)		
ファイルエラーです	ファイルがエラーのため保存できません。	－
ファイルが壊れていました	取得したファイルが壊れているため操作できません。	－
ファイルが壊れていました（493）		
ファイルがサポートされていません	設定できないファイルが選択されています。	－
ファイルが不正です	ファイルが不正のため、表示／再生／保存できません。	－
ファイルサイズが大きすぎます	ファイルが大きすぎるためメールに添付できません。	－
ファイル制限のある画像が含まれています	ファイル制限が設定されているファイルが含まれているため、アニメーションを作成できません。	－
ファイルは削除されました	ファイルが貼り付けられている受信メールを転送した場合に表示されます。ファイルを添付する場合は、添付操作を行ってください。	P152
ファイル名を入力してください	ファイル名が入力されていません。ファイル名を入力してから再度操作してください。	P170、171、172、177
ファイルを添付することができません	送信できるメールサイズを超えてしまうか、1件のメールに添付できるファイル数（最大10件）を超えてしまうためファイルを添付できません。	P153、154
ファイルを開けません　不明なファイル形式です	本FOMA端末では開けないファイル形式です。	－

エラーメッセージ	説　明	参照先
フォルダ内にメールが存在します。フォルダ内のメールを全削除してからフォルダを削除してください	フォルダ内にメールが保存されているため削除できません。メールをすべて削除してから操作してください。	P143、144
フォルダ名が不正です	フォルダ名に使用できない文字が含まれています。	−
フォルダ名を入力してください	フォルダ名が入力されていません。フォルダ名を入力してから再度操作してください。	P116、120、170、177
フォルダを追加できません	フォルダが最大作成可能件数まで作成されているためこれ以上追加できません。不要なフォルダを削除してから操作してください。	P143、163、170
フォルダを作成できません	エラーが発生したためフォルダを作成できませんでした。	−
ブックマークがいっぱいです　削除するものを選択してください	ブックマークが最大登録可能件数まで登録されているためこれ以上登録できません。「はい」を選択して不要なブックマークを削除してください。	P123
ブックマーク登録できません	エラーが発生したためブックマークを登録できませんでした。	−
ブックマークの登録はありません	ブックマークが登録されていません。あらかじめ登録してください。	P132
不明なエラーです	不明のエラーが発生しました。	−
ページが不正です	ページが不正のため表示できません。	−
ページの合計が最大サイズを超えています	ページの合計が最大サイズを超えたので正常に受信できませんでした。	−
編集中のデータを破棄して終了しますか？	[終話]または[CLEAR/◀]を押して電話帳などの編集中の内容を保存せずに終了しようとしています。内容を保存せずに終了するときは「はい」を選択します。	−
編集をキャンセルしますか？	編集した内容を保存せずに終了しようとしています。内容を保存せずに編集を終了するときは「はい」を選択します。編集を続けるときは「いいえ」を選択します。	−

エラーメッセージ	説　明	参照先
ホームが設定されていません	ホームが設定されていません。設定してから操作してください。	P130
ホームは無効です	ホーム設定に登録されているURLが正しく入力されていません。正しく入力してから操作してください。	P130
保存に失敗しました	エラーが発生したため保存できませんでした。	−
保存領域がありません	保存領域に空きがないため保存できません。不要なファイルを削除してください。	−
本体メモリが一杯です　FOMAカードに登録します	FOMA端末内のメモリがいっぱいのため、FOMAカードに電話帳を登録します。	P69、70
本文がオーバーするので入力できません	SMSを転送したときに、本文が全角70文字もしくは半角160文字を超えたため入力できません。	−
本文が最大サイズを超えています	署名を貼り付けると全角5000文字を超えるため貼り付けできません。全角5000文字以下になるまで本文または署名文を削除してください。	P158
本文が最大サイズを超えるため、署名をつけることができません	署名を貼り付けると全角5000文字を超えるため貼り付けできません。全角5000文字以下になるまで本文または署名文を削除してください。	P158
本文が長すぎるため末尾が削除されます	受信メールを引用返信または転送したときに、本文が全角5000文字を超えるため本文の末尾が削除されます。	−
本文を編集できません	全角5000文字分のデータがメールに添付されているため、本文を入力できません。	−
マナーモード中です　音声を再生しますか？	FOMA端末がマナーモードに設定されています。音声付きで動画を再生するときは「はい」を選択します。	−
マナーモード中です　再生しますか？	FOMA端末がマナーモードに設定されています。メロディを再生するときは「はい」を選択します。	−
未送信メールはありません	未送信メールが保存されていません。	−

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明	参照先
未入力の項目があります	未入力の項目があります。入力してから操作してください。	−
未入力メールは保存できません	宛先／件名／本文に何も入力されてなく、ファイルも添付されていないため保存できません。	P151
無効なセキュリティコード	端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。	P106
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため、表示できません。受信したデータは破棄されます。 （XXX）には3桁の数字が表示されます。	−
無効なデータを受信しました（XXX）		
迷惑ストップサービス未契約です	迷惑電話ストップサービスをお申し込みいただいていないため、設定ができません。ご利用になる場合は、迷惑電話ストップサービスをお申し込みください。	P208
メールアドレスのコピーに失敗しました	電話帳のコピー中にメールアドレスのデータにエラーが発生したため、メールアドレスのコピーができませんでした。	−
メール選択受信をご利用になる場合は［メール設定］から［メール選択受信設定］をONにしてください	メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから操作してください。	P157
メールデータが壊れています	エラーが発生したためメールを表示／作成できません。	−
メッセージがいっぱいです	受信メールがいっぱいで、メールを新たに受信できません。不要な受信メールを削除してください。	P143、144
メッセージデータが壊れています	メッセージデータが壊れているため、表示できません。	−
メッセージFはありません	メッセージFが保存されていません。	−
メッセージRはありません	メッセージRが保存されていません。	−

エラーメッセージ	説　明	参照先
メモリーが一杯のため保存できません	FOMA端末のメモリーがいっぱいのため、赤外線通信で受信したデータを保存できません。不要なデータを削除してから操作してください。	P69、123、171、172、177
	メモリーがいっぱいのため、静止画や動画を撮影できません。	－
	メモリーがいっぱいのため、編集した静止画を保存できません。	－
メモリー不足です	メモリーが不足しているため、各機能を起動できません。	－
	動画撮影中にメモリーがいっぱいになったため、撮影したところまでを保存し、撮影を終了します。	
文字数オーバーのため文末が削除されます　送信しますか？	送信可能な文字数を超えるため文末を削除して送信します。送信するときは「はい」を選択します。	－
文字数超過により全ての文字を貼付け出来ません　貼付けますか？	最大文字数を超えるため、文字の一部を貼り付けることができません。貼り付けできる分だけ貼り付けるときは「はい」を選択します。	－
文字数超過により貼付け出来ません	最大文字数を超えているため、文字を貼り付けることができません。不要な文字をCLEARを押して削除してから操作してください。	－
容量が不足しています　いくつかのファイルを削除してください	保存容量がいっぱいです。不要なファイルを削除してから再度操作してください。	P171、172、177

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・FOMA ACアダプタ 01／02
・FOMA DCアダプタ 01／02
・リアカバー L03
・電池パック L02
・平型ステレオイヤホンセット P01
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
・ステレオイヤホンセット P001※1
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
・スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※2
・キャリングケースS 01
・骨伝導レシーバマイク 01
・FOMA室内用補助アンテナ
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
・FOMA 補助充電アダプタ 01

※1：イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2：海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

保証とアフターサービス

保証について

■FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末の故障・修理やその他のお取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※パソコンをお持ちの場合は専用のデータリンクソフト（P288）とFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル01（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

- 保証期間内は
  - 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
  - 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
  - ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。
- 以下の場合は、修理できないことがあります。
  水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。
- 保証期間が過ぎたときは
  ご要望により有償修理いたします。
- 部品の保有期間は
  FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。

次のページへ続く

－改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
－改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：受話口、スピーカ

●FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

■お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

■FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に限り移し替えいたします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります）。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

<TOP画面>　<テストメニュー一覧画面>

・「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
　ｉモードサイト：ｉMenu→お知らせ→サービス・機能→ｉモード→ｉモード故障診断

お知らせ

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料（海外からのアクセスの場合は有料）となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアをダウンロードして更新します。ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

お知らせ

- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - －オールロック中
  - －他の機能を実行しているとき
  - －日付・時刻を設定していないとき
  - －FOMAカードが未挿入のとき
  - －電池がフル充電されていないとき
  - －「圏外」が表示されているとき
  - －電源が入っていないとき
  - －海外で利用しているとき

ソフトウェア更新を起動する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックします。

1. 設定メニュー（P85）から「その他」▶「ソフトウェア更新」▶ 端末暗証番号入力▶ ■

・既にソフトウェア更新の予約がされている場合は、予約通知画面が表示されます。

2. 各種確認画面の内容を確認して「OK」

・通信を開始して問い合わせます。更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1. ソフトウェア更新確認画面で「今すぐ更新」▶ ダウンロード開始画面で「OK」

・ダウンロードが開始され、完了するとソフトウェア書き換えの確認画面が表示されます。

2.「OK」

・ソフトの書き換えが開始され、完了するとソフトウェア更新完了画面が表示されます。
・書き換え中はすべての操作が無効になります。

3.「OK」

日時を予約してソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを、日時を予約して更新します。

1. ソフトウェア更新確認画面で「予約」

・希望日時選択画面が表示されます。

2. 日時を選択 ▶ ■

・設定された日時になると、自動的にソフトウェアの更新が行われます。
・希望日時選択画面で「その他」を選択すると、希望日と更新可能な時間帯を個別に設定することができます。

主な仕様

品名		FOMA L602i
サイズ		高さ98 mm×幅48 mm×厚さ17.6 mm（閉じているとき）
質量		約110 g（電池パック装着時）
連続待受時間	FOMA/3G	静止時：約350時間 移動時：約200時間
	GSM/GPRS	約260時間
連続通話時間	FOMA/3G	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約90分
	GSM/GPRS	音声電話時：約200分
充電時間		ACアダプタ：約180分 DCアダプタ：約180分

液晶部	方式	TFT　262.144色
	サイズ	約2.2inch
	画素数	38,720画素（176×220）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/6 inch アウトカメラ：1/4 inch
	有効画素数	インカメラ：約32万画素 アウトカメラ：約130万画素
カメラ部	記録画素数	インカメラ：約30万画素 アウトカメラ：約130万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約5倍 アウトカメラ：最大約5倍
記録部	静止画保存枚数	約9,000枚※1
	静止画連続撮影	3枚/6枚/9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約30分※2
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約400分

※1：画像サイズ：128×96、画質：標準、ファイルサイズ：10 KB

※2：下記の条件の場合で本体に保存できる、動画1件あたりの最大録画時間
ファイルサイズ制限：なし、画質：標準、撮影種別：音声+映像

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）、滞在国のネットワークの状況などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）／待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、FOMAカードを取り外した状態でFOMA端末の電源をONにしていたり、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリを起動させると通話（通信）／待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

次のページへ続く

・データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラを使用したときも、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳		最大500[※1]	—
スケジュール	スケジュール	200	—
	休日	100	—
メモ		30	—
待受メモ		5	—
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大400[※2]	最大200[※2]
	送信メール	最大400[※2]	最大200[※2]
	未送信メール	最大400[※2]	最大200[※2]
	ユーザ作成フォルダ（受信メールBOX）	16	—
メッセージ	メッセージR	最大100[※2]	最大50[※2]
	メッセージF	最大50[※2]	最大25[※2]
Bookmark		50	—
画面メモ		10	—
ｉアプリ		最大100[※2]	—
静止画		最大約5370[※2、※3]	—
動画／ｉモーション			
メロディ			

※1：FOMAカードには50件まで保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※3：データサイズがすべて10Kバイトのデータを保存した場合の目安で、静止画、動画／ｉモーション、メロディの合計になります。

お知らせ

・FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳やメールなどのデータをパソコンに転送、保管できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA L602iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：

Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA L602i のSARの値は0.499 W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/

LG電子ジャパンのホームページ
http://jp.lge.com/index.do

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC

次のページへ続く

is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.634 W/kg, and when worn on the body, is 0.348 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements.)
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/fccid after search on FCC ID BEJL602I.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product “FOMA L602i” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.433W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

＊ The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

＊＊ The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

＊＊＊ Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations

with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

本製品および付属品の輸出管理について

本製品及び付属品は、日本輸出国管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulation) の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

索引／クイックマニュアル

索　引

索引の引きかた

●本索引は、「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

＜例：電話帳を赤外線通信したいとき＞

赤外線通信……186
　自局番号送信……73
　受信……188
　送信……187
　電話帳送信……68、70
　ブックマーク送信……123

電話帳……63
　コピー……68、70
　削除……69、70
　自局番号……73
　新規作成……68
　赤外線送信……68、70
　電話帳検索……66

●メールアドレス設定、メール受信／拒否設定、メールサイズ制限、メール機能停止／再開など、ｉモードセンター内の設定については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
●データ通信については付属のCD-ROMに収録されている「データ通信マニュアル」をご覧ください。

ア

カ

次のページへ続く

サ

タ

次のページへ続く

ナ

ハ

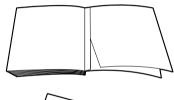
マ

次のページへ続く

クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

1. 本書から切り離す

2. 横半分に折り畳む

3. 縦半分に折り畳む

FOMA L602i
クイックマニュアル

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

キリトリ線

電話帳

電話帳に登録する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「電話帳」▶「電話帳登録」
2. 次の設定する項目を選択

■保存先を選択
／（保存先）欄を選択▶本体／FOMAカード（UIM）を選択

■名前／フリガナを入力
（名前）欄を選択▶名前を入力▶■
（フリガナ）欄を選択▶フリガナを入力▶■
・名前を入力すると自動的に挿入されます。

■電話番号／メールアドレスを入力
（電話番号）欄を選択▶電話番号を入力▶■
（メールアドレス）欄を選択▶メールアドレスを入力▶■

■グループを選択
（グループ（本体））／（グループ（FOMAカード））欄を選択▶グループを選択

■画像の設定※
（画像）欄を選択▶設定方法を選択

■電話着信音／メール着信音を設定※
（電話着信音）欄を選択▶設定方法を選択
（メール着信音）欄を選択▶設定方法を選択

■URLの入力※
（URL）欄を選択▶URLを入力▶■

■自宅／会社住所などを入力※
（郵便番号）欄を選択▶郵便番号を入力▶■
（自宅住所）欄を選択▶自宅住所を入力▶■
（会社名）欄を選択▶会社名を入力▶■
（役職名）欄を選択▶役職名を入力▶■
（会社住所）欄を選択▶会社住所を入力▶■
（テキストメモ）欄を選択▶テキストメモを入力▶■

■シークレットコードの設定※
（シークレットコード）欄を選択▶端末暗証番号を入力▶■▶電話番号またはメールアドレスを選択▶シークレットコードを入力▶■

※：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合は、表示されません。

3. 設定後［保存］▶メモリー番号を入力※▶

※：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合は、必要ありません。

着信履歴などの履歴から登録する

1. 待受画面で／／／

2. 登録する履歴を選択▶［メニュー］▶「電話帳登録」▶「新規登録」／「追加登録」

3. 各項目を設定▶設定後［保存］▶メモリー番号を入力※▶

※：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合は、必要ありません。

電話帳を検索する

1. 待受画面で［メニュー］▶「電話帳」▶「電話帳検索」▶検索方法を選択▶

電話帳を修正する

1. 待受画面で

2. 修正する電話帳を選択▶［メニュー］▶「編集」

・表示する電話帳（本体／FOMAカード）を切り替える場合は、［メニュー］▶「本体電話帳表示」／「UIM電話帳表示」を選択します。

3. 各項目を修正▶修正後［保存］▶メモリー番号を入力※▶

※：電話帳の保存先を「FOMAカード（UIM）」にした場合は、必要ありません。

電話帳を削除する

1. 待受画面で

2. ［メニュー］▶「削除」▶「1件削除」／「複数件削除」／「全件削除」

・1件削除：選択中の電話帳を削除

・複数件削除：複数の電話帳を選択して削除

・全件削除：すべての電話帳を削除

文字入力

文字入力画面について

入力可能文字数：入力可能な残りの文字数をバイト数で表示します。

操作ガイド欄:全角／半角を表示します。

入力モード欄:入力モードを表示します。

＜文字入力画面＞

■入力モードを切り替える

［文字］を数回押す

■全角／半角を切り替える

■絵文字／記号／顔文字入力モードに切り替える

を数回押す

■濁点、半濁点入力／大文字または小文字切り替え

文字を入力して＊を数回押す

■句読点入力

＊を数回押す

■改行を入力

＃／

■スペースを入力

［メニュー］▶「特殊入力」▶「スペース」／文末で

キリトリ線

■文字消去

消去する文字にカーソルを移動▶ CLEAR/

・入力している画面や入力モードによっては、利用できない操作があります。

予測入力で文字を入力する

・ひらがなモード（「漢」）でのみ利用できます。

1. 文字入力画面（P7）で文字を入力
   - ・ ［カナ英数］：カナ英数候補を表示
   - ・ ［確定］：変換しないで入力を確定
   - ・ ［変換］：変換候補を表示
2. で予測候補／変換候補エリアにカーソルを移動
3. 変換する文字を選択▶

コピー／切り取り／貼り付けを行う

1. 文字入力画面（P6）で ［メニュー］▶「文字編集」▶「コピー」／「切取り」
2. 開始位置へカーソルを移動▶
3. 終了位置へカーソルを移動▶
4. 貼付け先の画面／位置にカーソルを移動
5. ［メニュー］▶「文字編集」▶「貼付け」

カメラ機能

静止画を撮影する

1. 待受画面で
   - ・ ：インカメラとアウトカメラを切り替えます。
2. 被写体を確認し、
3.

キリトリ線

連続で撮影する

1. 待受画面で
   - ・ ：インカメラとアウトカメラを切り替えます。
2. ［メニュー］▶ （マルチショット）
3. 連続撮影枚数を選択▶ ▶ ［閉じる］
4. 被写体を確認し、

動画を撮影する

1. 待受画面でを1秒以上
   - ・ ：インカメラとアウトカメラを切り替えます。
     ※動画撮影中は切り替えできません。
2. 被写体を確認し、
3.

画像、動画やメロディの再生

画像を表示する

1. 待受画面で［メニュー］▶「データBOX」▶「マイピクチャ」
2. フォルダを選択▶ ▶ファイルを選択▶

動画を再生する

1. 待受画面で［メニュー］▶「データBOX」▶「ｉモーション」
2. フォルダを選択▶ ▶ファイルを選択▶
   - ・動画再生中にできる操作
     - ー／：再生／ポーズ（一時停止）
     - ー ［ストップ］：停止
     - ー：前／次のファイルを再生

ー（押し続ける）：押している間、映像を早送り／早戻し
ー／：音量調節

メロディを再生する

1. 待受画面で［メニュー］▶「データBOX」▶「メロディ」

2. フォルダを選択▶▶ファイルを選択▶

・メロディ再生中にできる操作

ー／：再生／ポーズ（一時停止）
ー：前／次のファイルを再生
ー（押し続ける）：押している間、メロディを早送り／早戻し
ー／：音量調節
ー［ストップ］：停止（MP4形式のみ）

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話をかける

1. 電話番号を入力▶▶相手が出たら通話

・［代替］／［カメラ］：相手に送信する映像を代替画像とカメラ画像で切り替え
・［切替］：インカメラとアウトカメラを切り替えます。
・／：受話音量を調節
・：利用しているカメラの画像をズームします。

2. 通話が終了したら

テレビ電話を受ける

1. 電話がかかってきたら／

・［代替］：相手に送信する映像を代替画像にしてテレビ電話を受ける

2. 通話が終了したら

スピーカホンをON/OFFにする

1. 通話中▶CLEAR/を1秒以上

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

メール作成画面を表示

1. 待受画面で［メール］▶「新規メール作成」▶「ｉモードメール作成」

宛先を入力

1. To（宛先）欄を選択▶▶「アドレス入力」▶宛先を入力▶

件名を入力

1. Sub（件名）欄を選択▶▶件名を入力▶

本文を入力

1. （本文）欄を選択▶▶本文を入力▶

メールを送信

1. ［送信］

キリトリ線

キリトリ線

ファイルの添付

画像を添付する

1. メール作成画面（P14）で[添付アイコン]（添付ファイル）欄を選択▶[■]▶「添付ファイル追加」▶「マイピクチャ」▶フォルダを選択▶[■]▶画像を選択▶[■]

動画を添付する

1. メール作成画面（P14）で[添付アイコン]（添付ファイル）欄を選択▶[■]▶「添付ファイル追加」▶「ｉモーション」▶フォルダを選択▶[■]▶動画を選択▶[■]

メロディを添付する

1. メール作成画面（P14）で[添付アイコン]（添付ファイル）欄を選択▶[■]▶「添付ファイル追加」▶「メロディ」▶フォルダを選択▶[■]▶メロディを選択▶[■]

ｉモードメールの受信

1. メールを受信する▶受信結果画面が表示される
   - 受信したｉモードメールをすぐに確認する場合は、「ｉモードメール」を選択して[■]を押します。

その他のメール機能

メールを返信する

1. 返信するメールの表示画面で[iα]［返信］▶返信方法を選択▶[■]▶本文を入力▶[■]▶[iα]［送信］

メールを転送する

1. 転送するメールの表示画面で[✉]［メニュー］▶「転送」▶宛先を入力▶[■]▶[iα]［送信］

ｉモード問い合わせ

1. 待受画面で[✉]［メール］を2秒以上

メニュー一覧

メニュー項目		
[iアプリ]	ｉアプリ	
[iモード]	ｉモード	
		1　ｉMenu
		2　Bookmark
		3　画面メモ
		4　ラストURL
		5　Internet

メニュー項目		
[iモード]		1　URL入力
		2　URL履歴
	6　メッセージ	
		1　メッセージR
		2　メッセージF
	7　ｉモード問い合わせ	
	8　ｉモード設定	
		1　ホーム
		2　表示
		3　証明書
		4　その他

メニュー項目

- サービス
  - 1 留守番電話
    - 1 留守番サービス開始
    - 2 留守番呼出時間設定
    - 3 留守番サービス停止
    - 4 留守番設定確認
    - 5 留守番メッセージ再生
    - 6 留守番サービス設定
    - 7 メッセージ問合せ
    - 8 着信通知
    - 9 留守番アイコン消去

メニュー項目

- 0 件数増加鳴動設定
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホンサービス開始
  - 2 キャッチホンサービス停止
  - 3 キャッチホンサービス設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始
  - 2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更
  - 4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認

メニュー項目

- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録
  - 2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話1登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定
  - 2 設定確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知サービス開始
  - 2 番号通知サービス停止
  - 3 番号通知サービス確認

メニュー項目

- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始
  - 2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 着信中動作設定
- 9 遠隔操作
  - 1 遠隔操作開始
  - 2 遠隔操作停止
  - 3 遠隔操作設定確認
- 0 国際ローミング時サービス
  - 1 留守番電話（海外）

キリトリ線

メニュー項目
2　転送でんわ（海外）
3　ローミングガイダンス（海外）
＊　その他
1　追加サービス
2　応答メッセージ
3　英語ガイダンス
4　サービスダイヤル
5　ローミング時着信規制
メール
1　受信BOX
2　送信BOX

メニュー項目
3　未送信BOX
4　新規メール作成
1　ｉモードメール作成
2　SMS作成
5　ｉモード問い合わせ
6　メール選択受信
7　SMS問い合わせ
8　メール設定
1　通信
2　編集
3　表示

メニュー項目
4　その他
データBOX
1　マイピクチャ
2　ｉモーション
3　メロディ
カメラ
1　フォトモード
2　ムービーモード
3　カメラ設定
1　自動保存設定
2　シャッター音

メニュー項目
3　ちらつき調整
ステーショナリー
1　スケジュール
2　メモ
3　待受メモ
4　日付サーチ
5　日付カウンター
電話帳
1　電話帳登録
2　電話帳検索
1　全件検索
2　グループ検索

キリトリ線

メニュー項目
3 フリガナ検索
4 メモリー検索
5 電話番号検索
6 ドメイン検索
3 電話帳登録件数
4 電話帳設定
1 表示データ
2 ドメインリスト作成
3 検索方法選択
4 画像表示
5 グループ設定

メニュー項目
6 自局番号
LifeKit
1 アラーム
2 ショートカットメニュー
3 赤外線受信
1 1件受信
2 全件受信
4 電卓
5 単位変換ツール
1 通貨
2 面積

キリトリ線

メニュー項目
3 長さ
4 重量
5 温度
6 容積
7 速度
6 世界時計
7 ストップウォッチ
8 ミニライト
サウンド
1 着信音量
2 効果音音量

メニュー項目
3 着信音選択
4 効果音選択
5 バイブレータ設定
6 マナーモード設定
1 マナーモード
2 オリジナルマナーモード
7 メール鳴動設定
8 呼出動作開始時間設定
表示
1 待受画面
1 壁紙

キリトリ線

メニュー項目		
		2　時計／カレンダー表示
		3　待受メモ
	2　発着信画面	
		1　着信画面
		2　発信画面
	3　フォント	
	4　メニュー画面	
	5　バックライト	
	6　配色パターン	
設定		

メニュー項目		
	1　通話／応答	
		1　通話／メール履歴
		2　通話時間表示
		3　イヤホン自動応答
		4　着信拒否／許可
		5　応答設定
	2　通話機能	
		1　再接続機能
		2　通話品質アラーム
		3　通話時間通知
		4　プレフィックス設定

メニュー項目		
		5　国際ダイヤル設定
		6　通話中クローズ設定
	3　テレビ電話	
		1　テレビ電話設定
		2　テレビ電話画像選択
	4　日付／時刻設定	
		1　時刻設定
		2　日付設定
	5　ネットワーク	
		1　ネットワークサーチ設定
		2　3G/GSM切替

メニュー項目		
		3　優先ネットワーク設定
		4　ネットワーク名表示
	6　接続先選択	
	7　ロック／セキュリティ	
		1　オールロック
		2　自動キーロック設定
		3　PINコードリクエスト
		4　パスワード変更
	8　Bilingual	
	9　その他	
		1　メモリー状況
		2　設定リセット

メニュー項目		
		3　SMSセンター
		4　休日リセット
		5　ソフトウェア更新

サービス

留守番電話サービス

開始に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「留守番電話」▶「留守番サービス開始」

停止に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「留守番電話」▶「留守番サービス停止」

メッセージを再生する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「留守番電話」▶「留守番メッセージ再生」

キャッチホン

開始に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス開始」

停止に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス停止」

転送でんわサービス

開始に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「転送でんわ」▶「転送サービス開始」

停止に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「転送でんわ」▶「転送サービス停止」

番号通知お願いサービス

開始に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶「番号通知サービス開始」

停止に設定する

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶「番号通知サービス停止」

キリトリ線

キリトリ線

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料+通話料）	（局番なし）106

主なマーク

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

あと 8日 ⑱

⑬⑭⑮⑯⑰

ピアノ発表会 ⑲

メール　メニュー　iモード

① ：電波の受信レベル

強 ⟷ 弱

圏外 ：圏外

② ：音声電話通話中

：テレビ電話通話中

：スピーカホンで音声通話中

③ （点滅）：ｉモード中

（点滅）：ｉモード通信中

：ダイヤルアップ接続中

：ダイヤルアップ通信中

：SSL対応ページを表示または取得中

④ ：「全着信拒否」を設定中

⑤ ：1つの機能（タスク）を実行中

：複数の機能（タスク）を実行中

（点滅）：通話中やカメラ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中にアラームが起動

⑥ （白）：ｉモードセンターにメールあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメールが満杯

（白）：ｉモードセンターにメッセージRあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメッセージRが満杯

（白）：ｉモードセンターにメッセージFあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメッセージFが満杯

（白）：ｉモードセンターにメールとメッセージR/Fあり

（ピンク）：ｉモードセンターのメールとメッセージR/Fが満杯

⑦ （白）：未読のメールあり

（白）：未読のSMSあり
（白）：未読のメールとSMSあり
（ピンク）：受信BOXが満杯
：FOMAカードのSMSが満杯
：受信BOXとFOMAカードのSMSが満杯
⑧（黄緑）：留守番電話の伝言メッセージあり
（オレンジ）：留守番電話の伝言メッセージが満杯
⑨（白）：未読のメッセージRあり
（ピンク）：メッセージRが満杯
⑩（白）：未読のメッセージFあり
（ピンク）：メッセージFが満杯
⑪：ｉアプリを起動中
：ｉアプリの自動起動失敗
⑫～：電池残量表示

⑬（ピンク）：マナーモードを設定中
（青）：オリジナルマナーモードを設定中
⑭：音声電話とテレビ電話の着信音が鳴り、着信バイブレータが動作しない状態に設定中
：着信バイブレータが「パターン1（バイブのみ）」または「パターン2（バイブのみ）」で動作する状態／音声電話またはテレビ電話の着信音が鳴らず、着信バイブレータが「メロディ+バイブ」で動作する状態に設定中
：音声電話とテレビ電話の着信音が鳴り、着信バイブレータが「メロディ+バイブ」で動作する状態に設定中
：音声電話またはテレビ電話の着信音が鳴らず、着信バイブレータが動作しない状態に設定中

⑮：公共モード（ドライブモード）を設定中
⑯：設定中のアラームあり
：当日のスケジュールあり
：設定中のアラームと当日のスケジュールあり
⑰：FOMAカード未装着／FOMAカードにエラーが発生
⑱日付カウンター
登録した予定までの日数を表示します。
⑲待受メモ
作成した待受メモを表示します。

紛失時などの緊急連絡先

連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

FOMA L602i クイックマニュアル（海外利用編）

海外での紛失、盗難、精算などについて ＜DoCoMo インフォメーションセンター＞（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
L602iからご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）

●一般電話などからの場合

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

・主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、クイックマニュアル（海外利用編）のP16、P18をご覧ください。

※紛失　盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

海外で利用するための準備をする

海外でｉモードを利用する

海外でｉモードサイトを閲覧するために設定します。

1.「ｉMenu」 ▶「料金&お申込・設定」 ▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」

遠隔操作を設定する

海外で「留守番電話サービス」などを利用する場合に設定します。

1. 待受画面で ■［メニュー］ ▶「サービス」▶「遠隔操作」▶「遠隔操作開始」

海外での故障に関して ＜ネットワークテクニカルオペレーションセンター＞（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
L602iからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）

●一般電話などからの場合

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

・主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、クイックマニュアル（海外利用編）のP16、P18をご覧ください。

※お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

滞在国の時刻に設定する

1. 待受画面で ■［メニュー］ ▶「LifeKit」▶「世界時計」▶都市を選択して iα［設定］

・必要に応じて、待受画面で■［メニュー］ ▶「設定」▶「日付／時刻設定」で詳細な日付と時刻を設定してください。

各通信方式と利用できるサービス

ネットワーク	アイコン	音声電話	パケット通信（ｉモード・パソコンに接続など）	SMS	テレビ電話
3G	3G	○	○	○	○
GPRS	2G	○	○	○	×
GSM		○	×	○	×

キリトリ線

・通信事業者や地域によっては、「○」のサービスでもご利用になれない場合があります。
・各国・地域でご利用できるサービスについて、詳しくはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

ネットワークを設定する

お買い上げ時の設定では、「自動」に設定されています。ご利用になる地域のネットワークがわかっている場合は、直接選択して設定することもできます。

ネットワークを手動で選択する

利用するネットワークを手動で検索します。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「設定」

2.「ネットワーク」▶「ネットワークサーチ設定」

3.「手動」▶ ネットワークを選択 ▶ ■

検索するネットワークの種類を設定する

ネットワークを検索するとき、検索するネットワークの種類を設定します。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「設定」

2.「ネットワーク」▶「3G/GSM切替」▶「自動」／「3G」／「GSM/GPRS」

・自動：接続できるすべてのネットワークを検索
・3G：3Gに対応したネットワークのみ検索
・GSM/GPRS：GSM／GPRSに対応したネットワークのみ検索

※ 帰国後は「自動」または「3G」に設定してください。

優先的に接続するネットワークを登録する

ネットワークを登録する

ネットワークを自動で検索する場合に、優先的に接続するネットワーク（通信事業者）を登録します。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「設定」

2.「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」

・優先ネットワーク設定画面が表示されます。

3. ✉［メニュー］▶「新規追加」▶「ネットワーク検索」／「新規ネットワーク」

・ネットワーク検索：リストからネットワークを選択して登録
・新規ネットワーク：新たなネットワークを登録

ネットワークの優先順位を設定する

1. 優先ネットワーク設定画面で順位を変更するネットワークを選択 ▶ ✉［メニュー］▶「上へ移動」／「下へ移動」

・上へ移動：優先順位を１つ上へ移動
・下へ移動：優先順位を１つ下へ移動

ネットワーク名を表示する

待受画面に、現在設定されているネットワーク名を表示するように設定できます。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「設定」

2.「ネットワーク」▶「ネットワーク名表示」「ON」／「OFF」

キリトリ線

海外でネットワークの設定を変えて利用したときは、帰国後に「圏外」が表示される場合があります。その場合は、「3G/GSM切替」を必ず「自動」または「3G」に設定してください。詳細は「検索するネットワークの種類を設定する」（P4）を参照してください。

電話をかける

・相手がFOMAテレビ電話に対応した通信事業者で、テレビ電話対応機種を利用していれば、[絵/記]を押してテレビ電話をかけることができます。（電話帳に登録されている番号へかける場合を除く）

滞在国から日本や滞在国以外にかける

■直接番号を入力してかける場合

1. 待受画面で[0]を１秒以上押して「+」を表示

2. 相手の国番号（P14)を入力（日本にかける場合は「81」を入力）

3. 地域番号（市外局番）の「0」を除いた相手の電話番号を入力▶（[絵/記]）

4. 通話が終了したら

※イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

■電話帳や発着信履歴に登録されている日本の電話番号にかける場合

1. 電話帳一覧／発着信履歴画面または電話帳詳細／履歴の詳細画面で［メニュー］

2.「国際電話（日本）」

3. 番号が表示されたら[■]［発信］

4. 通話が終了したら

滞在国で他のWORLD WING利用者にかける

1. 待受画面で[0]を１秒以上押して「+」を表示

2. 日本の国番号「81」を入力

3.「0」を除いた相手の携帯電話番号を入力 ▶（[絵/記]）

4. 通話が終了したら

滞在国内にかける

1. 相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力▶（[絵/記]）

2. 通話が終了したら

電話を受ける

1. 電話がかかってきたら（[絵/記]）

相手からの電話のかけかた

日本から電話をかけてもらう

1. 日本にいるときと同様にお客様の携帯電話番号を入力▶発信

日本以外の国から電話をかけてもらう

1. 発信国の国際アクセス番号(P16)を入力

2. 日本の国番号「81」を入力

3. 最初の「0」を除いたお客様の携帯電話番号を入力▶発信

国際電話設定をする

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を設定します。お買い上げ時には

キリトリ線

「009130010」（WORLD CALL）が設定されています。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「設定」

2.「通話機能」▶「国際ダイヤル設定」▶「国際電話設定」▶「名称」と「番号」を入力▶ 設定後 [iα]［完了］

・名称：国際電話サービスの名前を入力

・番号：国際アクセス番号を入力

ネットワークサービス

遠隔操作設定

・日本国内で設定してください。

1. 待受画面で■ ▶「サービス」▶「遠隔操作」▶「遠隔操作開始」／「遠隔操作停止」

ローミング時着信規制

・一部の海外通信事業者では、ご利用いただけません。

・日本国内で設定してください。

1. 待受画面で■［メニュー］▶「サービス」

2.「その他」▶「ローミング時着信規制」▶「着信規制開始」※ ▶「全着信規制」／「データ呼着信規制」▶ ネットワーク暗証番号を入力▶ ■

留守番電話（海外）

1. 待受画面で■ ▶「サービス」

2.「国際ローミング時サービス」▶「留守番電話（海外）▶「留守番サービス開始」／「留守番サービス停止」▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作する

転送電話（海外）

1. 待受画面で■ ▶「サービス」

2.「国際ローミング時サービス」▶「転送でんわ（海外）▶「転送サービス開始」／「転送サービス停止」▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作する

ローミングガイダンス（海外）

1. 待受画面で■ ▶「サービス」

2.「国際ローミング時サービス」▶「ローミングガイダンス（海外）▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作する

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号には、以下の番号を使用してください。

（2007年4月現在）

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アメリカ合衆国	1	カナダ	1
イギリス	44	韓国	82
イタリア	39	ギリシャ	30
インド	91	シンガポール	65
インドネシア	62	スイス	41
エジプト	20	スウェーデン	46
オーストラリア	61	スペイン	34
オーストリア	43	タイ	66
オランダ	31	台湾	886

キリトリ線

キリトリ線

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
タヒチ	689	フィンランド	358
チェコ	420	フランス	33
中国	86	ブラジル	55
ドイツ	49	ベトナム	84
トルコ	90	ペルー	51
日本	81	ベルギー	32
ニューカレドニア	687	香港	852
ニュージーランド	64	マカオ	853
ノルウェー	47	マレーシア	60
ハンガリー	36	モルディブ	960
フィジー	679	ロシア	7
フィリピン	63		

※ このほかの国の番号及び詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

・ 一部ご利用できない場合があります。

(2007年4月現在)

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	韓国	001
アメリカ合衆国	011	ギリシャ	00
アラブ首長国連邦	00	シンガポール	001
イギリス	00	スイス	00
イタリア	00	スウェーデン	00
インド	00	スペイン	00
インドネシア	001	タイ	001
オーストラリア	0011	台湾	002
オランダ	00	チェコ	00
カナダ	011	中国	00

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
デンマーク	00	ベトナム	00
ドイツ	00	ベルギー	00
トルコ	00	ポーランド	00
ニュージーランド	00	ポルトガル	00
ノルウェー	00	香港	001
ハンガリー	00	マカオ	00
フィリピン	00	マレーシア	00
フィンランド	00/990	モナコ	00
フランス	00	ルクセンブルク	00
ブラジル	0041/0021/0023	ロシア	810

※番号は変更になる場合があります。

ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表2）

・ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

(2007年4月現在)

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	カナダ	011
アメリカ合衆国	011	韓国	001
アルゼンチン	00	コロンビア	009
イギリス	00	シンガポール	001
イスラエル	014	スイス	00
イタリア	00	スウェーデン	00
オーストラリア	0011	スペイン	00
オーストリア	00	タイ	001
オランダ	00	台湾	00

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
中国	00	フランス	00
デンマーク	00	ブラジル	0021
ドイツ	00	ベルギー	00
ニュージーランド	00	香港	001
ノルウェー	00	マレーシア	00
ハンガリー	00	南アフリカ	09
フィリピン	00	ルクセンブルク	00
フィンランド	990		

※番号は変更になる場合があります。

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「主要国の国際電話アクセス番号（表1）」「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表2）」が必要になります。

キリトリ線

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　i Menu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、裏表紙の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※ 車を安全なところに停車させてからご使用ください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します。→P78

● バイブレータ
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P78

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスなど
電話に出られない場合に、オプションサービスを利用して電話をかけてきた相手の用件を録音・転送します。→P204、P207

総合お問い合わせ先
＜DoCoMoインフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜DoCoMoインフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L602iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P236をご覧ください。

海外での故障に関して
＜ネットワークテクニカルオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L602iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P236をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ　株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西　株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 LG電子ジャパン株式会社

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'09.4（第1.2版）
MMBB0221505

FOMA® L602i
データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA L602iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「L602i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

Windows XPの操作について

本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンなどを接続してデータ通信ができます。データ通信は、パケット通信とデータ転送に分類できます。
- 64Kデータ通信に対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信をサポートしていません。
- ドコモのPDA「musea」や「sigmarion II」、「sigmarion III」には対応していません。
- PPP接続によるパケット通信には対応しておりません。IP接続によるパケット通信（mopera Uなど）のみに対応しております。

利用できる通信方式

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などFOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
FOMA L602iは、海外でもW-CDMAまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。
- 多量のデータの送受信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

赤外線やデータリンクソフトを利用してFOMA端末やパソコンなどとデータを送受信する通信方式です。通信料金はかかりません。

ご利用に当たっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要となります。（有料）

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件が必要です。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信の接続方式（PDP Type）のうち、IP接続に対応していること

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（USB仕様Rev1.1/2.0準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	Windows XP、Windows 2000 （各日本語版）
必要メモリ	・Windows XP：128Mバイト以上※2 ・Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2：必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

次のページへ続く

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

[はい］をクリックしてください。

・画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次のものが必要となります。

・FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）
・FOMA L602i用CD-ROM（付属品）

お知らせ

・USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
・本書では、FOMA USB接続ケーブルの場合で説明しています。

データ通信の用語一覧

■ APN：
Access Point Nameの略です。パケット通信の接続先（プロバイダやLANなど）を識別するときに使用されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」のAPNは「mopera.net」となります。

■ cid：
Context Identifier の略です。パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときに付ける登録番号です。本FOMA端末では1～10までのcidを使って10件のAPNを登録できます。

■ DNS：
Domain Name Systemの略です。URLなどに含まれる「nttdocomo.co.jp」などの表現を、コンピュータが読み込めるように数字のみのアドレスに変換するシステムです。

■ PDP type：
PDPは、Packet Data Protocol の略です。パケット通信の方式を表し、通常はPPP接続方式とIP接続

次のページへ続く

方式からプロバイダなど接続先が指定する方式を選択します。本FOMA端末は、IP接続方式のみに対応しています。
接続先が対応するPDP typeにつきましては、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ QoS：
Quality of Serviceの略です。ネットワークのサービス品質を示します。FOMA端末ではデータの通信速度の条件を指定できます。※
※：接続時の速度は通信状況などによって可変します。

■ 通信設定最適化（W-TCP）：
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要となります。

■ パソコンの管理者権限：
Windows XP、Windows 2000のシステムのすべてにアクセスできる権限のことです。管理者権限を持たないユーザー（アカウント）は、通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストール／アンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信を行うときの準備について説明します。次のような流れになります。

L602i通信設定ファイルをパソコンにインストールする→P6

接続先を設定する	
FOMA PC設定ソフトを使用する場合→P16	FOMA PC設定ソフトを使用しない場合→P29

接続する→P21、P41

通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMにはL602i通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトが収録されています。

・L602i通信設定ファイルは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続して、パケット通信やデータ転送を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。

・FOMA PC設定ソフトは、パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップを簡単に設定できるソフトウェアです。

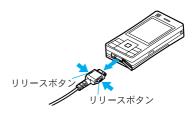
パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する方法について説明します。

1. FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2. FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

取り外しかた

1. FOMA USB接続ケーブル（別売）の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く

2. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

お知らせ

・通信の切断、誤動作、データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを取り外さないでください。

次のページへ続く

・FOMA USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
・FOMA USB接続ケーブルは無理に取り外さないでください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

・通信設定ファイルのインストールは、必ずFOMA端末がパソコンに接続されていない状態で開始してください。
・通信設定ファイルのインストールを開始する前に、他のソフトウェアが稼動していないことをご確認ください。他のソフトウェアが稼動している場合は、ソフトウェアを終了させた後にインストールを開始してください。
・L602i通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

Windows XPにインストールする

1. FOMA L602i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されます。

・「FOMA L602i CD-ROM」画面が動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。

お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。

①「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする

②「名前」欄に「<CD-ROMドライブ名>：¥guide¥Driver¥LGUSBModemDriver_L602i_WHQL_Ver_1.0.exe」を入力▶［OK］をクリックする ▶ 操作4に進む

2.［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリックする

3.「L602i通信設定ファイル（ドライバ）」の［インストール］をクリックする

4. 設定言語の選択画面で言語を選択▶［次へ］をクリックする

ここでは日本語を選択した場合の例で説明します。

5. インストール画面で［次へ］をクリックする

6. インストール確認画面で［OK］をクリックする

7. パソコンとFOMA端末を接続する

接続方法→P5

・FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

接続後、L602i通信設定ファイルが自動的にインストールされます。
すべてのL602i通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから

次のページへ続く

「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

続いて、L602i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P9

Windows 2000にインストールする

1. FOMA L602i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されます。

・「FOMA L602i CD-ROM」画面が動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。

お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。

①「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする

②「名前」欄に「<CD-ROMドライブ名>：￥guide￥Driver￥LGUSBModemDriver_L602i_WHQL_Ver_1.0.exe」を入力 ▶［OK］をクリックする ▶ 操作4に進む

2.［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリックする

3.「L602i通信設定ファイル（ドライバ）」の［インストール］をクリックする

4. 設定言語の選択画面で言語を選択 ▶［次へ］をクリックする

ここでは日本語を選択した場合の例で説明します。

5. インストール画面で［次へ］をクリックする

6. インストール確認画面で［OK］をクリックする

7. パソコンとFOMA端末を接続する

接続方法→P5

・FOMA端末の電源が入っている状態で接続してください。

接続後、L602i通信設定ファイルが自動的にインストールされます。

続いて、L602i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→右記

お知らせ

・L602i通信設定ファイルのインストール中にパソコンからFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を抜いた場合や、［キャンセル］をクリックしてインストールを中止した場合は、L602i通信設定ファイルが正常にインストールできなくなることがあります。このようなときは、アンインストール（P10）の手順に従いL602i通信設定ファイルを削除してから、インストールし直してください。

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

<例：Windows XPで確認する場合>

1.「スタート」 ▶「コントロールパネル」を順にクリックする

コントロールパネル画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合

「スタート」 ▶「設定」 ▶「コントロールパネル」を順にクリックする

2.「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

■ Windows 2000の場合

「システム」アイコンをダブルクリックする

次のページへ続く

3.「ハードウェア」タブ ▶「デバイスマネージャ」を順にクリックする

4. 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバを確認する

「ポート（COM/LPT)」「モデム」「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の各デバイスの下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

＜Windows XPの場合＞

L602i通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがパソコンにインストールされます。

デバイス名	ドライバ名
ポート（COM/LPT)	FOMA L602i Serial
モデム	FOMA L602i Modem
USB (Universal Serial Bus) コントローラ	FOMA L602i Bus

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

・通信設定ファイルのアンインストールは、必ずFOMA端末がパソコンに接続されていない状態で開始してください。

・L602i通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

＜例：Windows XPでアンインストールする場合＞

1.「スタート」▶「コントロールパネル」 ▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

次のページへ続く

■ Windows 2000の場合

①「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」の順にクリックする

②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

2.「LG USB Modem driver-L602i」を選択 ▶「削除」をクリックする

3.［OK］をクリックする

4. アンインストールの完了画面で［OK］をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが完了します。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使用すると、次の設定を簡単な操作で行うことができます。

・FOMA PC設定ソフトを使用せずに、パケット通信の設定を行うこともできます。→P29

■ かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「通信設定最適化」などをかんたんに行います。

■ 通信設定最適化（W-TCP）

「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。

通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要となります。

■ 接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。

FOMAパケット通信の接続先には、電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。

お買い上げ時、cid3にはmopera Uの接続先（APN）

次のページへ続く

「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダやLANなどに接続する場合は、接続先（APN）の設定が必要になります。

お知らせ

・FOMA PC設定ソフト（バージョン4.0.0）以前の古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（以降、旧FOMA PC設定ソフト）がインストールされている場合は、インストールを行う前に旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。バージョンの確認方法についてはP16を参照してください。

FOMA PC設定ソフトを使用した通信の設定の流れ

ステップ1：FOMA PC設定ソフトをインストールする

・「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う前にあらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールはできません。

ステップ2：各種設定前の準備をする

・各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。FOMA端末とパソコンの接続方法については、P5を参照してください。
・FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合はL602i通信設定ファイルのインストールを行ってください。→P6

ステップ3：かんたん設定を使用して各種設定をする

・mopera Uを利用したパケット通信設定方法→P17
・その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法→P19

ステップ4：インターネットに接続する

・接続方法→P21

インストールをする前に

FOMA PC設定ソフトを利用するためのパソコンの動作環境についてはP2の「動作環境について」を参照してください。

・動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、P2の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

FOMA PC設定ソフトを
インストールする

・FOMA PC設定ソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

<例：Windows XPでインストールする場合>

1. FOMA L602i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されます。

・「FOMA L602i CD-ROM」画面が動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。

お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「FOMA L602i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。

①「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする

②「名前」欄に「<CD-ROMドライブ名>：￥guide￥FOMA_PCSET￥setup_4.0.0.exe」を入力 ▶ [OK] をクリックする ▶ 操作4に進む

次のページへ続く

2.［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリックする

3.「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］をクリックする

［インストール］をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

■「ファイルのダウンロード－セキュリティの警告」画面が表示された場合

［実行］をクリックする

■「Internet Explorer－セキュリティの警告」画面が表示された場合

［実行する］をクリックする

4.［次へ］をクリックする

旧「W-TCP設定ソフト」および旧「APN設定ソフト」などがインストールされているという画面が表示された場合は、P15を参照してください。

・インストールを始める前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、［キャンセル］をクリックして使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。

5.「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認し、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

［いいえ］をクリックすると、インストールは中止されます。

次のページへ続く

6. セットアップタイプを選択▶［次へ］をクリックする

「タスクトレイに常駐する」をチェックすると、インストール後、（通信設定最適化（W-TCP）→P24）がパソコンの画面右下（通常）のタスクトレイに常駐します。通信設定最適化（W-TCP）を簡単に起動できるため、常駐させることをおすすめします。

・チェックをしなくてもFOMA PC設定ソフトはインストールできます。インストール後に常駐させる場合は、FOMA PC設定ソフトの操作画面で「メニュー」をクリックし、「通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる」を選択してください。（常駐に設定されている場合は選択できません）

7. インストール先を確認▶［次へ］をクリックする

変更がある場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックしてください。

ハードディスク容量が不足する場合などには、違うドライブにインストールすることもできますが、通常はそのままお進みください。

8. プログラムフォルダのフォルダ名を確認▶［次へ］をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、［次へ］をクリックしてください。

9. ［完了］をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定を開始できます。

FOMA　PC設定ソフトをインストールするときの注意

■「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

次の画面が表示されます。

「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から「旧W-TCP設定ソフト」を削除してください。

■「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合

次の画面が表示されます。

［OK］をクリックすると、「旧APN設定ソフト」が自動的にアンインストールされた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

次のページへ続く

■「旧FOMA PC設定ソフト」、または既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合
次の画面が表示されます。

「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から「FOMA PC設定ソフト」を削除してください。

■インストール途中で［キャンセル］を押した場合
セットアップ途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックし、先へ進まない命令を出した場合、「セットアップの中止」画面で［はい］をクリックすると、次の画面が表示されます。

［完了］をクリックしてインストールを終了してください。
再度インストールする場合は、インストールの操作を最初からやり直してください。

■FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認について
FOMA通信設定ソフト起動後、「メニュー」▶「バージョン情報」を順にクリックする
次の画面が表示され、FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が確認できます。

通信の設定を行う

パケット通信に関する各種の設定をします。
- 設定前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P5
- 本FOMA端末は、64Kデータ通信に対応していません。
- 本FOMA端末は、PPP接続によるパケット通信に対応していません。

FOMA PC設定ソフトを起動する

＜例：Windows XPで起動する場合＞

1.「スタート」 ▶「すべてのプログラム」 ▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を順にクリックする

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を順にクリックする

FOMA PC設定ソフトが起動します。

・mopera Uを利用したパケット通信設定方法→右記

・その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法→P19

かんたん設定「mopera Uを利用したパケット通信設定方法」

通信速度最大384kbps（受信側）のパケット通信の設定を行います。FOMA端末を使用したインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応したドコモのインターネット接続サービス「mopera U」が便利です。（別途お申し込みが必要です） 使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。

・本FOMA端末では、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」はご利用いただけません。

1.［かんたん設定］をクリックする

2.「パケット通信」を選択 ▶［次へ］をクリックする

3.「『mopera U』への接続」を選択 ▶［次へ］をクリックする

「mopera U」以外の接続先をご利用のお客様は、P19を参照してください。

「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要となります（有料）。

・本FOMA端末では、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」はご利用いただけません。「『mopera』への接続」は選択しないでください。

次のページへ続く

4.「mopera U」をご契約済みの場合は［はい］をクリックする

5.［OK］をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。
端末設定取得が完了すると、「ダイヤルアップ作成」画面が表示されます。
3番目の接続先（APN）が「mopera U」用の接続先に変更されます。

6.「接続名」欄に接続名を入力 ▶「発信者番号通知」から「設定しない（推奨）」を選択 ▶［次へ］をクリックする

作成している接続設定に任意の名前を設定します。

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
  ￥/:＊?<>｜”
- 「接続方式」は「IP接続」を選択します。本FOMA端末は接続方式（PDP type）の設定は、「IP接続」のみに対応していますので、「PPP接続」は選択しないでください。
- 「mopera U」をご利用いただく場合は、発信者番号の通知が必要です。FOMA端末の「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定してください。（→FOMA L602i取扱説明書　P208）

7.「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択 ▶［次へ］をクリックする

「『mopera U』への接続」を選択した場合、「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄でも接続できます。

8.「最適化を行う」をチェック ▶［次へ］をクリックする

パケット通信に必要な通信設定を最適化します。
既に最適化されている場合には、最適化の確認画面は表示されません。

9. 設定情報を確認 ▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してから、［完了］をクリックしてください。設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

・「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

10.［OK］をクリックする

「最適化」の設定を変更した場合、設定変更を有効にするためにパソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

設定完了後、通信を行います。→P21

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

通信速度最大384kbps（受信側）のパケット通信の設定を行います。

1.［かんたん設定］をクリックする

2.「パケット通信」を選択 ▶［次へ］をクリックする

3.「その他」を選択 ▶［次へ］をクリックする

4.［OK］をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5.「接続名」欄に接続名を入力する

作成している接続設定に任意の名前を設定します。

・「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
￥/: ＊?<> ｜”

・発信者番号の通知／非通知を設定する場合は、「発信者番号通知」から「設定しない（推奨）」をチェックして、FOMA端末の「発信者番号通知」で設定してください。（→FOMA L602i取扱説明書　P208）

6.［接続先（APN）設定］ ▶［追加］の順にクリックし、接続先（APN）を設定する

ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力して、［OK］をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

次のページへ続く

・接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。
・接続先（APN）は、cidの1、2、4～10に登録できます。お買い上げ時、cid3には「mopera.net」が登録されています。
・**「接続方式」は「IP接続」を選択します。本FOMA端末は接続方式（PDP type）の設定は、「IP接続」のみに対応していますので、「PPP接続」は選択しないでください。**

7. 接続先を選択 ▶ ［OK］をクリックする

「パケット通信設定」画面に戻ります。

8. ［詳細情報の設定］をクリック ▶ TCP/IPを設定 ▶ ［OK］をクリックする

接続先の「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定を行います。プロバイダやLANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダやネットワーク管理者の指示に従って各種情報を入力してください。

9.「接続先（APN）の選択」欄で接続先（APN）を確認 ▶ ［次へ］をクリックする

10. ユーザー名、パスワードを入力 ▶「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択 ▶ ［次へ］をクリックする

ユーザー名、パスワードは、プロバイダから提供された各種情報を、大文字／小文字などに注意し、正確に入力してください。

11.「最適化を行う」をチェック ▶ ［次へ］をクリックする

パケット通信に必要な通信設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

12. 設定情報を確認 ▶ ［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

・「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

13.［OK］をクリックする

「最適化」の設定を変更した場合、設定変更を有効にするためにパソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。
設定完了後、通信を行います。→右記

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断の方法について説明します。

・通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P5
・通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、通信設定ファイルの再インストールが必要な場合があります。

1. パソコンのデスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンが表示されていない場合は、次の操作を行ってください。

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックし、FOMA端末の通信用に設定した接続先をダブルクリックする

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックし、FOMA端末の通信用に設定した接続先をダブルクリックする

次のページへ続く

2. ［ダイヤル］をクリック▶ 接続を実行する

- **「ダイヤル」欄の接続先の番号の先頭に「186」や「184」が表示されている場合は、「186」や「184」を削除してから［ダイヤル］をクリックしてください。**
  なお、発信者番号通知が必要なサービス（「mopera U」など）をご利用になる場合は、FOMA端末の「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定してください。（→FOMA L602i取扱説明書　P208）
- 「『mopera U』への接続」を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存をチェックすると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは通信回線が切断されない場合があります。次の操作で確実に切断してください。

1. パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2. ［切断］をクリックする

接続が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できない場合について

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず次の項目について確認してください。

■FOMA L602iがパソコン上で認識できない

- お使いのパソコンが動作環境（P2）を満たしていることを確認してください。
- L602i通信設定ファイルがインストールされていることを確認してください。
- FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）が、しっかりと接続されていることを確認してください。

■ 相手先に接続できない

- ID（ユーザ名）やパスワードの設定が正しいかどうかを確認してください。
- 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更されたパソコンの状態を元に戻す必要があります。

1.「通信設定最適化」を常駐させないようにする

パソコンのタスクトレイの を右クリックして、ポップアップメニューから「常駐させない」をクリックします。

2. 起動中の「FOMA PC設定ソフト」「通信設定最適化」を終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化」の起動中にアンインストールしようとすると、アンインストールの中断画面が表示されます。その場合は、［OK］をクリックしてそれぞれのプログラムを終了した後、アンインストールを行います。

次のページへ続く

アンインストールする

＜例：Windows XPでアンインストールする場合＞

1.「スタート」 ▶「コントロールパネル」 ▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

■ Windows 2000の場合

「スタート」 ▶ 「設定」 ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「アプリケーションの追加と削除」を順にクリックする

2.「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択 ▶ ［削除］をクリックする

■ Windows 2000の場合

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択 ▶「変更と削除」をクリックする

3. 削除するプログラム名を確認 ▶ ［はい］をクリックする

アンインストールが開始されます。

4.［完了］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

「通信設定最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は、次の画面が表示されます。アンインストールする場合は［はい］をクリックしてください。W-TCPの最適化は再起動後に解除されます。

通信設定最適化（W-TCP）

通信設定最適化（W-TCP）

「通信設定最適化」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

最適化の設定と解除を開始する前に、他のソフトウェアが稼動していないことをご確認ください。他のソフトウェアが稼動している場合は、ソフトウェアを終了させた後に最適化の設定と解除を開始してください。

最適化の設定

＜例：Windows XPの場合＞

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1. プログラムを起動する

■「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

FOMA PC設定ソフトの起動画面の［通信設定最適化］をクリックする

■ タスクトレイから操作する場合

パソコンのタスクトレイの をクリックする

2. 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていない場合

「通信設定最適化」画面で「384Kbps」を選択し、［最適化を行う］をクリックする

「通信設定最適化（ダイヤルアップ作成）」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

■ システム設定が最適化されている場合

「通信設定最適化（ダイヤルアップ作成）」画面が表示されます。システム設定を変更する場合は「最適化」欄の設定を変更します。

システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

Windows 2000で最適化するには

Windows 2000の場合は、ダイヤルアップを一括して最適化します。

「通信設定最適化」画面で「384Kbps」を選択し、［最適化を行う］をクリックする

システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

・既にシステム設定が最適化されている場合は、最適化を解除する画面が表示されます。

最適化の解除

＜例：Windows XPの場合＞

1.「通信設定最適化（ダイヤルアップ作成）」画面で最適化を解除する接続先のチェックを外し、［実行］をクリックする

2.［OK］をクリックする

パソコンを再起動した後、最適化が解除されます。

次のページへ続く

Windows 2000で最適化を解除するには

「通信設定最適化」画面で［システム設定］をクリックする

・Windows 2000の場合は、ダイヤルアップの最適化を一括して解除します。
画面表示に従ってパソコンを再起動した後、最適化が解除されます。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。
接続先（APN）は10件まで設定でき、1～10の接続先（APN）を管理する登録番号（cid）を付けます。

・設定する前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P5

1.「FOMA PC設定ソフト」の起動画面で［接続先（APN）設定］をクリックする

2. FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。

3. 接続先（APN）の設定をする

・FOMA端末が接続されていない場合は、画面が表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

■ 接続先（APN）を追加する場合

1.「接続先（APN）設定」画面で［追加］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集する場合

1.「接続先（APN）設定」画面で編集する接続先（APN）を一覧から選択 ▶［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除する場合

1.「接続先（APN）設定」画面で削除する接続先（APN）を一覧から選択 ▶ ［削除］をクリックする

・登録番号（cid）3にお買い上げ時に登録されている接続先（APN）の「mopera.net」も削除されますので、ご注意ください。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや、編集中の接続先（APN）設定の保存ができます。

1.「接続先（APN）設定」画面で「ファイル」 ▶ 「上書き保存」／「名前を付けて保存」を順にクリックする

ファイルからの読み込み

パソコンに保存されている接続先（APN）設定の再編集や、FOMA端末に書き込みができます。

1.「接続先（APN）設定」画面で「ファイル」 ▶ 「開く」を順にクリックする

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

1.「接続先（APN）設定」画面で［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

「上書きの確認」画面が表示されます。

2.［はい］をクリックする

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

パソコンに接続されているFOMA端末の接続先（APN）情報のみ読み込むことができます。

1.「接続先（APN）設定」画面で「ファイル」 ▶ 「FOMA端末からの設定を取得」を順にクリックする

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2.［OK］をクリックする

ダイヤルアップ作成機能

追加／編集された接続先（APN）からパケット通信ダイヤルアップを作成して、FOMA端末へ書き込むことができます。

1.「接続先（APN）設定」画面で追加／編集された接続先（APN）を選択 ▶ ［ダイヤルアップ作成］をクリックする

FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されます。

次のページへ続く

2.［はい］をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込みが終了した後、［OK］をクリックすると「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

3. 任意の接続名を入力▶［アカウント・パスワードの設定］をクリックする

・「mopera U」の場合は空欄でも接続できます。

4. ユーザー名、パスワードを入力▶［OK］をクリックする

ダイヤルアップの作成が完了します。

・Windowsにログオンできるユーザーに対して使用可能ユーザーを任意で選択します。
・ご利用のプロバイダよりIP情報、DNS情報が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックして、必要な情報を登録した後、［OK］をクリックします。

お知らせ

・接続先（APN）は、パソコンに接続されるFOMA端末に登録される情報です。そのため、異なるFOMA端末をパソコンに接続した場合は、そのたびに接続先（APN）を登録する必要があります。

通信ポートを指定する

手動で通信設定を行うときなどのためにFOMA端末に割り当てられるパソコンのCOMポートを指定できます。

1. FOMA PC設定ソフトの起動画面で「メニュー」▶「通信設定」を順にクリックする

2.「COMポート指定」を選択する

3.「COM」欄をクリック▶COMポート番号を選択▶［OK］をクリックする

選択したCOMポートが設定されます。

・COMポートの確認方法は、P29を参照してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使用しないパケット通信のダイヤルアップ接続の設定方法について説明します。

FOMA PC設定ソフトを使用しない場合のダイヤルアップ設定の流れ

L602i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする→P6

FOMA端末とパソコンを接続する。→P5

COMポートを確認する
・Windows XPの場合→P30　・Windows 2000の場合→P30

接続先（APN）を設定する→P31

ATコマンドを使用してその他の設定をする→P43

ダイヤルアップの設定をする
・Windows XPの場合→P33　・Windows 2000の場合→P36
※設定内容の詳細については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続する→P41

COMポートを確認する

パケット通信の接続先（APN）の設定を行う場合、通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA L602i Modem」（モデム）のCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P31）で使用します。

・ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定が不要なため、COMポートの確認は不要です。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続には、通常の電話番号の代わりに接続先（APN）を使用します。

・接続先（APN）はパソコンからFOMA端末に登録します。1～10の登録番号（cid）を付けて登録し、その登録番号（cid）は接続先番号の一部として次のように使用されます。

＜例：登録番号（cid）が1の接続先番号＞

*99***1#

・お買い上げ時、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されています。

Windows XPでCOMポートを確認する

1.「スタート」▶「コントロールパネル」を順にクリックする

2.「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」▶「電話とモデムのオプション」を順にクリックする

3.「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力▶［OK］をクリックする

4.「モデム」タブをクリックし、「FOMA L602i Modem」の「接続先」欄のCOM ポートを確認▶［OK］をクリックする

・表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows 2000でCOMポートを確認する

1.「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリックする

2.「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックする

3.「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力▶［OK］をクリックする

4.「モデム」タブをクリックし、「FOMA L602i Modem」の「接続先」欄のCOMポートを確認▶［OK］をクリックする

・表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

次のページへ続く

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）を設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

・設定前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P5
・パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定できます。
・「mopera U」以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
・P32の操作5以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、

ATE1↵

と入力すれば、以降に入力するATコマンドが表示されるようになります。

<例：Windows XPの設定方法>

1.「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

2.「名前」欄に任意の名前を入力 ▶［OK］をクリックする

ここでは例として「FOMA」と入力します。

3.「接続方法」欄をクリックしてFOMA端末に割り当てられたCOMポート番号を選択 ▶［OK］をクリックする

・「COMポートを確認する」（P29）で確認したCOMポートの番号を選択します。

■「FOMA L602i Modem」のCOMポートを選択できない場合

次の操作を行ってください。

次のページへ続く

1)［キャンセル］をクリックする

「接続の設定」画面が終了します。

2)「ファイル」をクリック▶「プロパティ」を選択する

3)「FOMAのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄をクリック▶「FOMA L602i Modem」を選択する

4)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す

5)［OK］をクリックする

4. COMポートのプロパティ画面で［OK］をクリックする

5. 接続先（APN）を入力▶↵を押す

AT+CGDCONT=〈cid〉,"IP","APN"の形式で入力します。〈cid〉と"APN"の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。"IP"はそのまま入力します。

入力後、「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

・〈cid〉…1、2、4～10までのうち任意の番号を入力します。

※ 既にcidが設定してある場合は設定が上書きされますのでご注意ください。

・"APN"…接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

＜例：cidの2にXXX.netというAPNを設定する場合＞

AT+CGDCONT=2,"IP","XXX.net"

6.「OK」と表示されたことを確認▶「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

ハイパーターミナルが終了されます。

・接続の切断確認画面が表示される場合は、［はい］をクリックします。

・保存確認画面が表示されますが、保存する必要はありません。

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットするとき

指定したcid の接続先（APN）をリセットするときは、次のように入力します。

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認するとき

現在の設定内容を表示させるときは、次のように入力します。

AT＋CGDCONT?↵

次のページへ続く

ダイヤルアップの設定を行う

＜例：〈cid〉=3を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合＞

・「mopera U」以外のプロバイダに接続する場合の設定内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1.「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2.「新しい接続ウィザード」画面で［次へ］をクリックする

3.「インターネットに接続する」を選択 ▶［次へ］をクリックする

4.「接続を手動でセットアップする」を選択 ▶［次へ］をクリックする

5.「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリックする

6.「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA L602i Modem」を選択 ▶ ［次へ］をクリックする

・「デバイスの選択」画面は、複数のモデムがインストールされているときのみ表示されます。

7.「ISP名」欄に任意の名前を入力 ▶［次へ］をクリックする

次のページへ続く

8.「電話番号」欄に接続先の番号を入力 ▶［次へ］をクリックする

・接続先の番号には、先頭に「186」または「184」を付けないでください。なお、「mopera U」をご利用いただく場合は、発信者番号の通知が必要です。FOMA端末の「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定してください。（→FOMA L602i取扱説明書　P208）

9. 接続の利用範囲を選択 ▶［次へ］をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

・OSの設定によってはこの画面が表示されない場合があります。その場合は操作10に進みます。

10.「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力 ▶［次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

「mopera U」に接続する場合は空欄でも接続できます。

次のページへ続く

11.［完了］をクリックする

12.「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13.作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする

14.「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデムーFOMA L602i Modem」のみにチェックが付いていることを確認します。(チェックが付いていない場合には、チェックします)

・「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。(チェックが付いている場合は、チェックを外します)

15.「ネットワーク」タブをクリックし、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

・「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できません。

次のページへ続く

16.［設定］をクリックする

17. すべてのチェックを外し、［OK］をクリックする

18.「ネットワーク」タブ画面で［OK］をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1.「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2.「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

3.「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力▶［OK］をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降はこの画面は表示されず、操作5の「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

4.「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリックする

5.「ネットワークの接続ウィザード」画面で［次へ］をクリックする

次のページへ続く

6.「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリックする

7.「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN) を使って接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリックする

8.「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリックする

9.「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄に「FOMA L602i Modem」が表示されていることを確認 ▶ ［次へ］をクリックする

- この画面は、複数のモデムがインストールされているときのみ表示されます。
- 「FOMA L602i Modem」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして「FOMA L602i Modem」を選択します。

10.「電話番号」欄に接続先の番号を入力 ▶ ［詳細設定］をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

- 接続先の番号には、先頭に「186」または「184」を付けないでください。なお、「mopera U」をご利用いただく場合は、発信者番号の通知が必要です。FOMA端末の「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定してください。（→FOMA L602i取扱説明書　P208）

11.「接続」タブの各項目を画面例のように設定する

「mopera U」以外のプロバイダに接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

次のページへ続く

12.「アドレス」タブをクリックし、IPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスを画面例のように設定 ▶ ［OK］をクリックする

「mopera U」以外のプロバイダに接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

13.「インターネットアカウントの接続情報」画面で［次へ］をクリックする

14.ユーザー名、パスワードを入力 ▶ ［次へ］をクリックする

「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。「mopera U」に接続する場合は空欄でも接続できます。
空欄の場合、ユーザー名やパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。
各画面で［はい］をクリックします。

次のページへ続く

15.「接続名」欄に任意の名前を入力 ▶［次へ］をクリックする

16.「いいえ」を選択 ▶［次へ］をクリックする

17.［完了］をクリックする

「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。

18.作成したダイヤルアップのアイコンを選択 ▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする

次のページへ続く

19.「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA L602i Modem」のみにチェックが付いていることを確認します。（チェックが付いていない場合には、チェックします）

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。（チェックが付いている場合は、チェックを外します）

20.「ネットワーク」タブをクリックし、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。

次のページへ続く

21.［設定］をクリックする

22.すべてのチェックを外し、［OK］をクリックする

23.「ネットワーク」タブの画面で［OK］をクリックする

ダイヤルアップ接続する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明します。

・ダイヤルアップ接続の前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P5

＜例：Windows XPの場合＞

1.「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

2. 接続先のアイコンをダブルクリックする

P33の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を順にクリックするか、または接続先のアイコンをダブルクリックします。

次のページへ続く

3. 内容を確認▶［ダイヤル］をクリックする

接続中を示す画面が表示された後、接続の完了メッセージが表示され、ダイヤルアップ接続が完了します。

- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄でも接続できます。
- 接続の完了メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を確認してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。次の操作で確実に切断してください。

1. パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2.［切断］をクリックする

接続が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド（命令）です。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は、ハイパーターミナルなどの通信ソフトのターミナルモード画面で行います。

・ターミナルモードとは、パソコンで入力された文字が通信ポートに接続されている回線に送信されるモードのことを示します。

■入力例：

ATD:*99***1# ↵

■入力時の注意：

・必ず半角英数字で入力してください。

・ATコマンドを入力するときは、パラメータ（設定用の数字や記号）も含めて1行※で入力してください。

※：通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から↵を入力した直前の文字までを1行とします。ATコマンドも含めて160文字まで入力できます。

ATコマンド一覧

・FOMA L602i Modemで使用できるATコマンドです。
・以下のコマンドは、入力可能ですが機能しない無効なコマンドです。
AT（ATのみ入力）　ATP（パルス設定）　ATT（トーン設定）　ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）　ATS10（自動切断までの遅延時間設定）

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT&C〈n〉	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CD は常にON n=1：CD は相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D〈n〉	DTEから受け取る回路ER信号がオンまたはオフへ遷移したときの動作を選択します。	n=0：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n=1：ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になる n=2：回線を切断しERがONからOFFに変化すると、オフライン状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&F	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合、回線切断の処理が行われます。	n=0のみ指定可能（省略可）	―

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGDCONT	パケット通信の接続先（APN）を設定します。	P53をご参照ください。	P53をご参照ください。
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信の接続確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうか判定する基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=[パラメータ] →P53 AT+CGEQMIN=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? ：現在の設定値を表示する	P54をご参照ください。
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワーク側へ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=[パラメータ] →P54 AT+CGEQREQ=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? ：現在の設定値を表示する	P55をご参照ください。
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR L602i-AMSS6293.41-V10x-XXX-XX-XXXX-DCM-JP.... OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=〈n〉	ネットワークへの登録状態を通知するかどうかを設定します。ネットワークから応答される通知情報に応じて圏内または圏外を表示します。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CGREG?：現在の状態を表示する ＜リザルト＞ +CGREG:〈n〉,〈stat〉 n：通知の有無の現在の設定値を表示する stat=0：パケット通信圏外 stat=1：パケット通信圏内 stat=4：不明 stat=5：パケット通信圏内（ローミング時）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定した場合） AT+CGREG? +CGREG: 1,0 OK （パケット通信圏外の場合）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN XXXXXXXXXXXXXXX OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CMEE=〈n〉	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。	n=0：通常のERROR リザルトを用いる（初期値） n=1：+CME ERROR:〈err〉リザルトコードを使用し、〈err〉は数値を用いる n=2：+CME ERROR:〈err〉リザルトコードを使用し、〈err〉は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記は誤ったPINロック解除コード、およびPIN1/PIN2コードを入力した場合の表示例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CPIN="12345678","1234" ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：16 AT+CMEE=2 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：incorrect password

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	<リザルト> +CNUM:,〈number〉,〈type〉 number：自局電話番号 type=129：電話番号に「+」(国際アクセスコード)が含まない type=145：電話番号に「+」(国際アクセスコード)を含む	AT+CNUM +CNUM:,"090XXXXXXXX",129 OK
AT+CPIN	FOMAカードの暗証番号を入力します。	PIN1/PIN2/PINロック解除コードを入力します。 AT+CPIN=? ：PIN1/PIN2コードの状態を示します。 →P56	AT+CPIN? +CPIN：SIM PIN OK (PIN1/PIN2コードとして「1234」を入力) AT+CPIN="1234" OK (PINロック解除コードとして「12345678」、PIN1/PIN2コードとして「1234」を入力) AT+CPIN="12345678","1234" OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CRC=〈n〉	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0 ： 使用しない（初期値） n=1 ： 使用する AT+CRC?：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC:0 OK
AT+CREG=〈n〉	圏内／圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。（パソコンのOSによっては設定できない場合があります。）	n=0 ： 通知なし（初期値） n=1 ： 通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CREG?：現在の状態を表示する ＜リザルト＞ +CREG:〈n〉,〈stat〉 n ： 通知の有無の現在の設定値を表示する stat=0 ： 音声圏外 stat=1 ： 音声圏内 stat=4 ： 不明 stat=5 ： 音声圏内（ローミング時）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG:1,0 OK （圏外の場合） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+GMI	製造元名を表示します。	−	AT+GMI NTT DoCoMo OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	−	AT+GMM FOMA L602i Modem OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR L602i-AMSS6293.41-V10x- XXX-XX-XXXX-DCM-JP.... OK
ATD	FOMA端末にパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従った自動発信処理を行います。	〈cid〉:1〜10、+CGDCONTで設定したAPNを表す ・cidを省略して「ATD*99***#」と入力すると、自動的にcid1に登録されているAPNに発信されます。	ATD*99***3# CONNECT
ATE〈n〉	コマンドモードのときにDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0 ： エコーバックなし n=1 ： エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH	パケット通信時に回線を切断します。	−	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATI〈n〉	認識コードを表示します。	n=0 ：「NTT DoCoMo」を表示する n=1 ：製品名を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA L602i Modem OK
ATQ〈n〉	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0 ：表示する（初期値） n=1 ：表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、「OK」は表示されない）
ATS3=〈n〉	キャリッジリターン（CR）キャラクタを設定します。	n=13 ：初期値（13のみ設定できます。 ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=〈n〉	ラインフィード（LF）キャラクタを設定します。	n=10 ：初期値（10のみ設定できます。） ATS4?：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS5=〈n〉	バックスペース(BS)キャラクタを設定します。	n=8 ： 初期値(8 のみ設定できます。) ATS5? ： 現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV〈n〉	すべてのリザルトコードの表示を数字または英文字に設定します。	n=0 ：リザルトコードを数値で表示する n=1 ：リザルトコードを文字で表示する(初期値)	ATV1 OK

次のページへ続く

ATコマンドの補足説明

■コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。

・書式

+CGDCONT=［〈cid〉［,"IP"［,"〈APN〉"］］］

・パラメータ説明

〈cid〉※：1～10

〈APN〉※：任意

※：〈cid〉は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA 端末では1～10が登録できます。なお〈cid〉=3にはmopera.netが初期値として登録されています。
〈APN〉は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cid 2 に登録する場合）

AT+CGDCONT=2,"IP","abc"

OK

－パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=〈cid〉

：指定された〈cid〉を初期値に設定します。

AT+CGDCONT=?

：設定可能な値のリスト値を表示します。

AT+CGDCONT?

：現在の設定を表示します。

■コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。

・書式

+CGEQMIN=［〈cid〉［,,〈Maximum bitrate UL〉［,〈Maximum bitrate DL〉］］］

・パラメータ説明

〈cid〉※：1～10

〈Maximum bitrate UL〉※：なし（初期値）または64

〈Maximum bitrate DL〉※：なし（初期値）または384

※：〈cid〉は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～10が登録できます。

次のページへ続く

なお〈cid〉=3にはmopera.netが初期値として登録されています。〈Maximum bitrate UL〉および〈Maximum bitrate DL〉は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

・コマンド実行例

(1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cid が2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2) 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cid が2の場合）
AT+CGEQMIN=2,,64,384
OK

(3) 上り64kbps／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2,,64
OK

(4) 上りすべての速度／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cid が3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,,384
OK

－パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQMIN=〈cid〉：指定された〈cid〉を初期値に設定します。

■コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

・概要
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。

・書式
+CGEQREQ=［〈cid〉［,,〈Maximumbitrate UL〉［,〈Maximum bitrateDL〉］］］

・パラメータ説明
〈cid〉※：1 ～10
〈Maximum bitrate UL〉※：なし（初期値）または64
〈Maximum bitrate DL〉※：なし（初期値）または384

※：〈cid〉は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～10が登録できます。なお〈cid〉=3にはmopera.netが初期値として登録されています。〈Maximum bitrate UL〉および〈Maximum bitrate DL〉は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。

次のページへ続く

なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

・コマンド実行例
上り64kbps ／下り384kbps の速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2,,64,384
OK
－パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQREQ=〈cid〉: 指定された〈cid〉を初期値に設定します。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（NTTドコモ以外のICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが誤っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了（タイムアウト）

次のページへ続く

お知らせ

・ATVｎコマンド（P52）がn=1に設定されている場合は文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。

AT+CPIN?のリザルトコード

FOMA端末の状態	PIN1の状態	PIN2の状態
入力待ち	+CPIN:SIM PIN	+CPIN:SIM PIN2
ロック解除コード入力待ち（ロック状態）	+CPIN: SIM PUK	+CPIN: SIM PUK2
認証済み	+CPIN: READY	+CPIN: READY
不適切なコマンドが入力された状態	+CME ERROR: Operation is not allowed	+CME ERROR: Operation is not allowed
コマンド誤入力	ERROR	ERROR